

MieMu  
みえむ  
2018

三重県総合博物館 年報

Mie Prefectural Museum Annual Report

通  
卷

5

号

## ごあいさつ

三重県総合博物館MieMu(みえむ)は、開館以降三重の自然と歴史・文化に関する大切な資産を保全・継承していくことはもちろんのこと、次代を担う子どもたちをはじめ、県民のみなさんや利用者の方々の学びと交流の場となり、郷土への愛着や誇りを感じることができるように、人づくり、地域づくりに貢献できる博物館を目指して活動しております。また、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動の理念と位置づけ、県民のみなさんや利用者の方々との協創や、多様な主体との連携による博物館づくりを前進させるべく日々活動しております。

ここに、当館の平成30年度の事業概要をまとめた年報を発刊いたします。この年の企画展では、豊かな水辺を有する三重県にふさわしい「貝」、子どもや保護者に親しまれている当館にふさわしい「おもちゃ」、三重県を代表する偉人の一人である北海道の名づけ親「松浦武四郎」、学校教育と博物館の連携で定番となっている「くらしの道具」と、多様なテーマを取り上げることができました。また、個別研究において本格的な研究書の発刊がみられるなど、研究面でもさまざまな業績をかさねております。館の運営を支えてくださった多くの方々に深く感謝を申し上げますとともに、三重県総合博物館への一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和2年9月

三重県総合博物館 MieMu (みえむ)

館長 大野 照文

MieMuとは・・・

「三重」の「ミュージアム」を表現しているとともに、“みえむ”という音は“三重の夢”に通じ、三重への愛着や誇りを持ち、未来への夢を持てるような博物館になりたいという思いを表現しています。



## 目 次

ごあいさつ	1	5.3.1 講座	36
目次	2	5.3.2 フィールドワーク	39
		5.3.3 MieMuの日	40
		5.3.4 情報誌	41
		5.3.5 人材育成支援活動	41
		5.4 他機関・諸団体との交流・連携事業	42
		5.4.1 学校	42
		5.4.2 大学	44
		5.4.3 博物館	47
		5.4.4 文化交流ゾーン	50
		5.4.5 国縣市町など	50
		5.4.6 その他の諸機関・諸団体	51
		5.5 他機関・団体への協力 (職員の諸団体への協力活動)	56
		5.5.1 委員、講師等の依頼	56
		6 企業との連携	61
		6.1 事業の趣旨・目的	61
		6.2 パートナー企業数	61
		6.3 連携事業	61
		7 利用者との協創	63
		7.1 事業の趣旨・目的	63
		7.2 三重県総合博物館 ミュージアムパートナー	63
		7.3 ボランティア	67
		8 広報	67
		8.1 新聞・テレビ・ラジオ	67
		8.2 雑誌	68
		8.3 ホームページ	68
		8.4 Facebook・Twitter	68
		8.5 その他	68
		9 博物館の評価	69
		9.1 評価のしくみ	69
		9.2 平成30年度の戦略目標と戦術の 評価結果	70
		9.3 アンケート結果概要	73
		III 資料	
		1 条例・規則	77
		1.1 三重県総合博物館条例	77
		1.2 三重県総合博物館条例施行規則	84
		1.3 三重県総合博物館協議会評価部会 設置要綱	90
		1.4 観覧料免除要綱	91
		2 事業成果一覧	93
I 博物館の概要	3		
1 使命と理念	3		
2 ビジョンと戦略目標・戦術	4		
3 沿革	5		
4 施設概要	5		
II 平成30年度の取組概要	6		
1 運営管理	6		
1.1 事業体系	6		
1.2 組織体制	6		
1.3 運営状況	7		
1.4 利用者数	8		
1.5 歳入歳出決算	8		
1.6 三重県総合博物館協議会	8		
1.7 三重県総合博物館協議会評価部会	10		
2 調査研究事業	11		
2.1 研究概要	11		
2.2 研究成果一覧	12		
3 資料収集・保存	14		
3.1 資料一覧概要	15		
3.2 資料収集	15		
3.3 歴史的公文書の移管	16		
3.4 資料保存	17		
4 展示	17		
4.1 基本展示	17		
4.2 企画展示	17		
4.2.1 企画展	17		
4.2.2 交流展	26		
4.2.3 トピック展ほか	27		
4.3 こども体験展示室	27		
4.4 三重の実物図鑑	28		
4.5 オオサンショウウオ生態展示	29		
4.6 その他の展示	29		
4.7 野外展示	29		
4.8 移動展示	30		
5 交流創造活動事業	31		
5.1 事業の趣旨・目的	31		
5.2 閲覧レファレンス活動事業	31		
5.2.1 レファレンス活動	31		
5.2.2 資料利用(閲覧・特別利用)	32		
5.3 学習支援活動事業	36		

# I 博物館の概要

## 1 使命と理念

### 1) 使命

#### 1 三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす

三重の自然と歴史・文化に関する資産を、次なる 100 年、200 年に向けて保全・継承するための主要な役割を果たし、三重のありようや履歴を明らかにすることで、地域文化の発展と新たな地域創造につなげます。

#### 2 学びと交流を通じて人づくりに貢献する

MieMu では、三重の未来を担う子どもたちは、世代を越えた交流の場で、楽しみながら、体験的に学びます。こうしたなかで、子どもたちは、三重への理解と愛着を深め、夢や希望あふれる未来を拓くきっかけを得ます。また、県民・利用者のみなさんは、学ぶ充実感を得、知的好奇心を育み、一人ひとりの成長につなげます。

#### 3 地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する

県民・利用者のみなさんが、博物館活動の中で、地域に目を向け地域の魅力を再発見し、内外に発信することにより、地域や三重への愛着と誇りを育みます。また、一人ひとりが、各々の関心や生活課題の解決や、新たな地域づくりに取り組むきっかけを提供します。

### 2) テーマ

#### 三重が持つ多様性の力

MieMu では、三重の特色である「多様性」と「多様性」に秘められた力について、県民・利用者のみなさんとともに探求し、活用、発信するなかで、三重の地域や人に活力をもたらし、「新たな文化を創造する力」、「今をつくり、未来を切り拓く力」を育みます。

##### ・多様性の探求がもたらす力

多様な自然と歴史・文化を探求することで、一人ひとりが三重の魅力を再発見するなかで、三重への愛着と誇りを育み、地域に活力をもたらしします。

##### ・新たな文化を創造する力

多様(=異なるもの)であることにより、可能性と選択の幅が広がります。また、異なるものどうしが融合・反発・刺激しあうことにより新しいものを生み出すことにつながることから、「新たな文化を創造する力」をもたらしします。

##### ・今をつくり未来を切り拓くちから

三重の「多様性」を、みなさんとともに探求・活用・発信することを通じて、地域の相互理解を深め互いの絆を育むとともに、地域や時代の課題解決につなげていけるような、「今をつくり、未来を切り拓く力」をもたらしします。

##### 《三重の多様性とは》

日本列島のほぼ中央に位置する三重は南北に長く、水深 2,000m の深海から標高 1,700m 近くに及ぶ山岳を含んだ多様な自然環境に囲まれ、亜寒帯から亜熱帯までの幅広い生物相を育む日本列島の縮図のような自然を有しています。その豊かで多様性に富んだ自然環境のもとで、人びとの多様なくらい歴史が育まれてきました。また、三重は古くから交通の要衝の地として栄え、東西文化の結節点、海と山との文化の出会い場所として、活発な人やモノの交流、異なる文化の接触がおり、新たな文化、多様な文化を生み出してきました。

### 3) 活動理念

#### ともに考え、活動し、成長する博物館

博物館活動の展開にあたっては、調査研究活動、収集保存活動、活用発信活動の3つの活動を「協創」と「連携」の2つの視点で進めます。これにより、すべての博物館活動において、県民・利用者みなさんが主体的・能動的に活動できる双方向の活動を通して博物館活動を質量ともに発展させ、一人ひとりの成長と地域づくりを支援していくことをめざします。

## 2 ビジョンと戦略目標・戦術

### 1) 活動と運営に係る評価のしくみ

長期にめざす姿(ビジョン)の実現に向けて、戦略的に取り組むための計画とそのマネジメントのしくみを、以下のとおりとしている。なお、戦略目標とは計画期間中、重点的に目的をもって取り組むことであり、戦術をもってして戦略目標達成のために、具体的に取り組むこととした。

### 2) ビジョン

三重は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に長く、水深2,000mの深海から標高1,700m近くの山岳までも含んだ多様な自然環境をもち、亜寒帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の縮図のような自然を有している。

この自然を背景に、伊勢・伊賀・志摩国と紀伊国の一部から成り立つ三重は、それぞれの地域で特色あるくらしや歴史が育まれてきた。また、三重は古くから陸海の交通の要衝にあり、都に近く、信仰と商業の拠点をもったことから、人・モノ・情報が集まり交流が生まれることで、東西文化の結節点となり、多様な文化を生みだしてきた。

三重県総合博物館は、このような三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、県民・利用者みなさんとともに総合力を発揮して探究し、保全・継承し、広くその意義を伝える。このことにより、三重の特徴と素晴らしさに気づき、多様な価値観のもとで、誇りをもって地域をより良くしようとする人々が集う活気ある社会の形成を目指す。

### 3) 戦略目標と戦術

戦略目標		戦術	
1	何度も利用していただくために、展示（基本展示・展覧会）を充実させます（展示）	1	何度も利用していただくため、多様なテーマによる展覧会を開催します
		2	基本展示を何ども利用していただくために、展示の更新や解説などを実施します
		3	親子連れで博物館を楽しんでもらえるように、こども体験展示室の利用を促進します
2	博物館の存在を広く知っていただくために、積極的な広報を展開します（集客）	4	メディアに報道してもらうため、メディア向け説明会や内覧会を行います
		5	博物館の活動を知っていただくために、ホームページ、ツイッター、フェイスブックなどを充実させます
		6	県内の子どもたちに知ってもらうために、教育委員会と連携した広報を行います
3	「ともに考え、活動し、成長する博物館」にするために、博物館の活動と経営への県民・利用者の参画を促進します（連携）	7	博物館を活用した学びを深めるために、ミュージアムパートナーと協働します
		8	活動への企業の参画促進のために、企業との協働による事業を実施します
		9	市民の参画を促進するために、ボランティア活動の活性化を図ります
4	博物館活動の基盤となる資料の劣化を防ぎ、将来活用できるようにするために、収集資料及び地域の文化財等の保存・保全に注力します（資料の保全）	10	収集資料を保存・保全するために、収蔵庫および展示室の定期的な清掃・点検を行います
		11	地域の文化財等を保全するために、相談窓口を用意し、指導助言を行います

戦略目標		戦術	
5	三重に関する資料や、博物館活動の学術的価値づけとその意義を伝えるために、総合博物館の強みを活かした研究に取り組みます（研究）	12	学芸員による研究活動を推進するために、定期的な発表機会を設けます
		13	多様な主体が研究に参画するために、参加型調査を行います
		14	資料の活用を促進するために、収蔵資料データベースの充実を図ります
6	MieMu が利用者にとって知的好奇心を心地よく刺激する場となるように、学習支援機能の向上に努めます（学習支援）	15	利用者の身近な疑問に応えるために、レファレンス業務を行います
		16	学校利用を促進するために、学校や教員を対象とした学習支援プログラムを行います
7	経営資源を効果的に配分するために、評価制度を活用して事業を選択します（経営）	17	事業を日常的に確認し改善するために、定期的に進捗管理を行います

### 3 沿革

年 月	経 緯
平成 25 年 6 月	三重県総合博物館条例公布（平成 26 年 4 月 19 日施行）
平成 25 年 8 月	三重県立博物館からの移転に着手（～平成 26 年 1 月）
平成 26 年 3 月	三重県総合博物館条例施行規則公布（平成 26 年 4 月 19 日施行）
平成 26 年 4 月	開館（18 日：開館記念式典 19 日：グランドオープン）
平成 26 年 6 月	入館者数 10 万人達成（6 月 1 日：開館 39 日目）
平成 27 年 9 月	入館者数 50 万人達成（9 月 22 日：開館 444 日目）
平成 29 年 3 月	三重県総合博物館条例改正（平成 30 年 4 月 1 日施行）
平成 29 年 9 月	入館者数 100 万人達成（9 月 16 日：開館 1055 日目）
平成 30 年 2 月	三重県総合博物館条例施行規則改正（平成 30 年 4 月 1 日施行）

### 4 施設概要

名 称	三重県総合博物館 愛称：MieMu(みえむ)		
種 別	登録博物館(総合)	開 館 日	平成 26 年 4 月 19 日
所 在 地	〒514-0061 津市一身田上津部田 3060		
電 話	059-228-2283(代)	F A X	059-229-8310
メール	MieMu@pref.mie.lg.jp		
ホームページ	<a href="https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/">https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/</a>		
ツイッター	<a href="https://twitter.com/mie_pref_museum">https://twitter.com/mie_pref_museum</a>		
フェイスブック	<a href="https://www.facebook.com/mie.pref.museum">https://www.facebook.com/mie.pref.museum</a>		

#### 【敷 地】

敷地面積	38,884 m <sup>2</sup>
地域地区	第 1 種低層住居専用地域、第 2 種住居地域

#### 【建 物】

建築面積	6,889 m <sup>2</sup>
延床面積	11,705 m <sup>2</sup> (各階延床積 1 階：4,760 m <sup>2</sup> 、2 階：2,125 m <sup>2</sup> 、3 階：4,637 m <sup>2</sup> 、屋上階：60 m <sup>2</sup> )
構 造	SRC 造一部 RC 造、免震構造、3 階建て
設計G L	18m



## II 平成 30 年度の取組概要

### 1 運営管理

#### 1.1 事業体系

##### ●総合博物館管理運営費

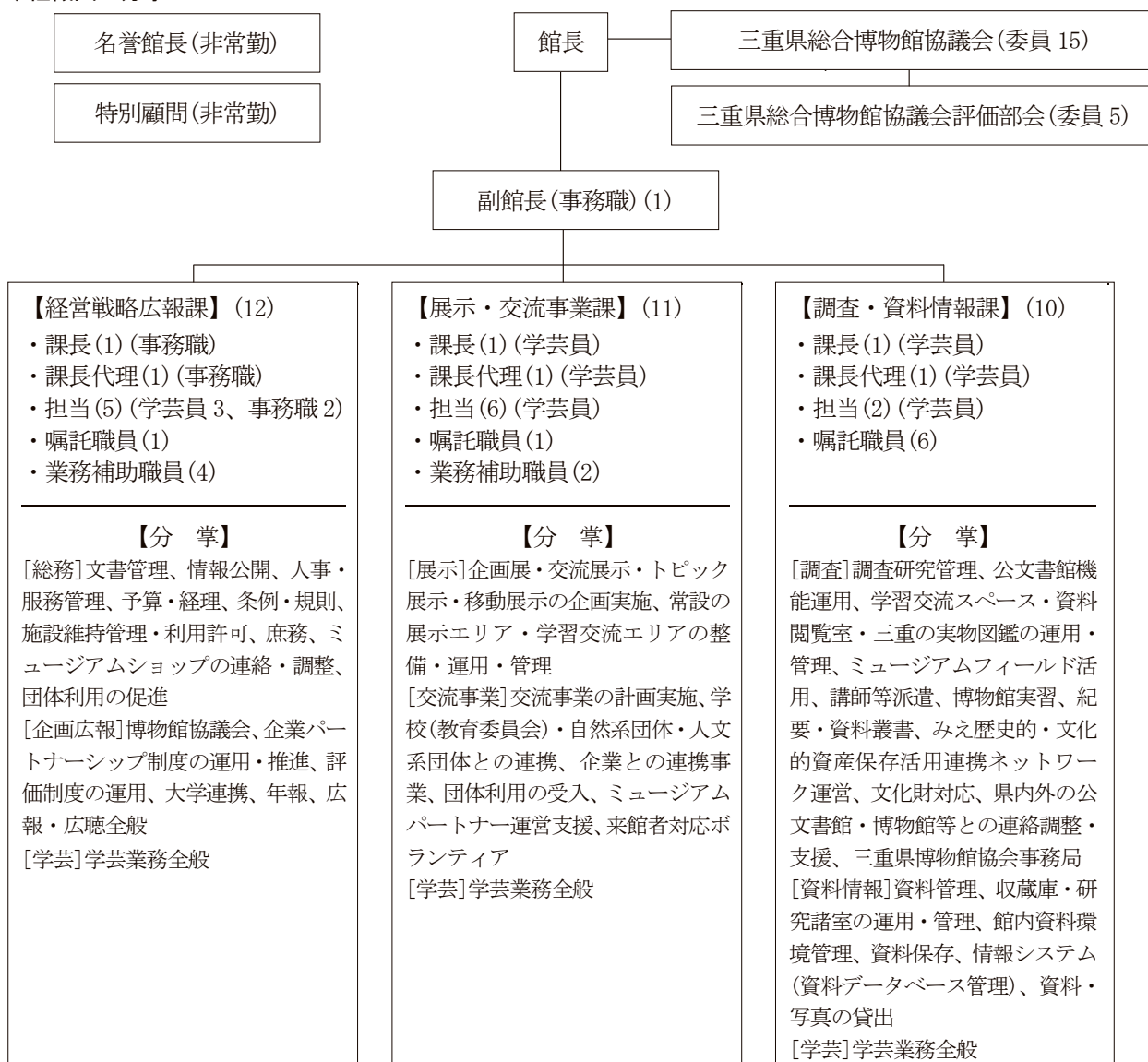
- ・総合博物館管理運営費 施設保守、維持 等

##### ●総合博物館展示等事業費

- ・調査研究費 総合研究、専門研究、共同研究及等の調査研究活動
- ・資料収集管理費 資料収集、資料修復、資料保存環境の管理 等
- ・交流創造活動費 学習交流スペースでのレファレンス活動、ワークショップ 等
- ・展示企画運用費 各種企画展の開催準備 等
- ・アウトリーチ活動費 フィールドワーク等の博物館活動を地域との連携により県内各地で実施
- ・広報宣伝営業推進費 広報宣伝及び企業等への営業活動

#### 1.2 組織体制

##### 1) 組織図・分掌



## 2) 職員名簿(平成31年3月31日時点)

館長 大野 昭文  
副館長 寺本 久彦

名誉館長 野呂 昭彦  
特別顧問 布谷 知夫

経営戦略広報課	展示・交流事業課	調査・資料情報課
課長 小川 知佐子	課長 瀧川 和也	課長 天野 秀昭
主幹(課長代理) 匹田 賢嗣	主幹(課長代理) 宇河 雅之	主幹(課長代理) 藤谷 彰
主幹 山口 嘉章	主幹 星野 利幸	(主査 間渕 創)
主査 村田 光輝	主幹 中野 環	(12月31日退職)
主査 太田 光俊	主幹 大西 到※	主任 森田 奈菜
主査 佐野 明	主査 中川 良平	嘱託学芸員 津村 善博
主任 中村 千恵	主査 大島 康宏	嘱託学芸員 服部 早希
嘱託員 山本 伸一	主任 田村 香里	嘱託員 井上 有希
業務補助職員 加藤 美智子	嘱託学芸員 稲垣 玲弥	嘱託員 山本 梨加
業務補助職員 鈴木 明子	業務補助職員 打田 美紀	嘱託員 植田 佳子
業務補助職員 岸 のりこ	業務補助職員 堀江 真季子	嘱託司書 長崎 恵理子
業務補助職員 上村 友理		

主査 北村 淳一 (文化振興課と兼務)

※4月～9月美濃加茂市民ミュージアム(岐阜県美濃加茂市)に出向

【職員体制】 常勤職員 21(館長1、副館長1、事務4、学芸員15)、嘱託8、業務補助職員6  
学芸員1(育休)

### 1.3 運営状況

・開館時間 [エントランスエリア・交流創造エリアなど、来館者の活動エリア]

休館日を除く全日 9時～19時

[展示エリア]

火～金曜日 9時～17時 土日祝日 9時～19時

※平成30年11月13日(火)から平成31年2月17日(日)まで、開館時間変更の試行として閉館時間を17時とした。

・休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

・観覧料等 [エントランスエリア・交流創造エリアなど、来館者の活動エリア] 無料

[展示エリア] 下表のとおり

		基本展示	企画展示	セット券	年間パスポート
当日券	一般	510円	その都度定める	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,640円
	高校生以下	無料	その都度定める (無料を基本)	設定なし	設定なし
	学生(大学、各種専門学校等)	300円	その都度定める (割引を基本)	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,020円
	障がい者及びその付添者	無料	無料	設定なし	設定なし
	学校、児童福祉施設としての 利用	無料	無料	設定なし	設定なし
	県民の日の記念事業の日	無料	正規価格	設定なし	—
	家庭の日(毎月第3日曜日)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	—
	団体割引 (20名以上)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	設定なし
前売券		設定なし	正規価格の2割引	正規価格の2割引	設定なし



## 1.4 利用者数

平成30年度における当館利用者数は、以下のとおりである。平成30年度の開館日数は308日となっている。

また、詳細な利用者統計に関しては、Ⅲ 資料 2 事業成果一覧 に掲載する。

- 1) 入館者数 206,743人 ※博物館への入館者総数(無料スペースのみの利用者を含む)
- 2) 展示観覧者数 126,581人 ※基本展示及び企画展示の観覧者総数(無料観覧者数を含む)  
(うち、基本展示63,568人 企画展示63,013人)  
[参考(外数)] 交流展示、トピック展示観覧者数3,128人
- 3) こども体験展示室利用者数 65,175人
- 4) 資料閲覧室利用者数 入室者数2,390人 資料閲覧者916人
- 5) 学校による利用者数 200校9,214人(引率者を除く)
- 6) 各種イベント等参加者数 5.3 学習支援活動事業に記載

## 1.5 歳入歳出決算

### ●歳入

単位：円

項目	平成30年度決算額
観覧料収入	20,097,680
企業からの協力(企業パートナーシップ等)	5,333,000
施設活用による収入(ミュージアムショップ等)	3,433,110
その他事業関連収入(資料利用収入等)	961,301
公的団体等からの外部資金の獲得	10,799,000
外部資金を活用した基金からの繰入	9,000,000
県費	375,291,984
合計	424,916,075

### ●歳出

単位：円

項目	平成30年度決算額
事業費(総合博物館展示等事業費)	78,602,469
維持管理費・一般管理費(総合博物館管理運営費)	116,496,077
人件費(職員・嘱託員・業務補助職員)	229,817,529
合計	424,916,075

## 1.6 三重県総合博物館協議会

### 1) 目的

三重県総合博物館協議会は、三重県総合博物館の経営や、調査研究、資料の収集・保存、展示やワークショップなどの博物館活動、並びに、博物館活動を通じた人材育成や地域づくりについて、委員の方々に専門的立場や利用者の観点から意見・提言をいただき、博物館の事業推進に活かすことを目的として設置した。

### 2) 設置根拠

博物館法第20条、三重県総合博物館条例第14条

### 3) 設置年月日 平成26年4月19日(土)

### 4) 委員 県内の大学、経済界、報道機関、文化・教育機関、博物館関係者等で構成。

石川保典 中日新聞社三重総局 総局長  
岩崎奈緒子 京都大学総合博物館 館長

大西かおり NPO 法人大杉谷自然学校 校長〔副会長〕  
岡野友彦 皇學館大学文学部 教授  
川岡加寿子 名張市立桔梗が丘南小学校 校長、三重県小中学校校長会 副会長  
齋藤彰一 株式会社三重銀行 特別顧問  
須田俊明 NHK 津放送局 局長  
染川香澄 ハンズ・オン プラニング 代表  
高井健司 大阪市経済戦略局博物館運営企画室 経営形態担当課長  
田部眞樹子 NPO 法人三重県子ども NPO サポートセンター 理事長  
中尾正己 三重県総合博物館 ミュージアムパートナー  
中村忠明 公益財団法人伊賀市文化都市協会 理事長  
西岡慶子 株式会社光機械製作所 代表取締役社長  
山下治子 株式会社アム・プロモーション 雑誌ミュゼ編集長・常務取締役  
山田康彦 三重大学教育学部 教授〔会長〕 (敬称略：五十音順)

## 5) 協議会

### ① 第 1 回三重県総合博物館協議会

- 1 日時 7月25日(水)13時30分～16時
- 2 会場 三重県総合博物館レクチャールーム
- 3 出席委員 石川保典、岩崎奈緒子、大西かおり、岡野友彦、川岡加寿子、齋藤彰一、須田俊明、染川香澄、中尾正己、中村忠明、西岡慶子、山下治子、山田康彦

#### 4 内容

##### 報告事項

##### (1) 三重県総合博物館の活動と運営

- 1) 前回の協議会でご指摘いただいた課題
- 2) 入館者・展示観覧者の概要及びアンケート結果
- 3) 企画展の開催結果
- 4) 交流創造事業・利用者組織・企業連携・調査研究事業・収集保存事業
- 5) 公文書館機能
- 6) 平成30年度予算について
- 7) 平成29年度内部評価結果

##### 協議事項

##### (1) 三重県総合博物館の運営について

##### その他

- 5 会議の公開 会議は公開で行い、傍聴者は2名

### ② 第 2 回三重県総合博物館協議会

- 1 日時 平成31年1月29日(火)13時30分～16時
- 2 会場 三重県総合博物館レクチャールーム
- 3 出席委員 石川保典、岩崎奈緒子、大西かおり、齋藤彰一、須田俊明、染川香澄、田部眞樹子、中尾正己、中村忠明、西岡慶子、山下治子、山田康彦

#### 4 内容

##### 報告事項

##### (1) 三重県総合博物館の活動と運営

- 1) 前回の協議会でご指摘いただいた課題の対応状況

- 2) 入館者数及び展示観覧者数
- 3) 基本展示観覧者数の推移
- 4) 平成 30 年度企画展の開催結果
- 5) 企画展示観覧者数の推移
- 6) 平成 30 年度 MieMu 展示アンケートの結果
- 7) 交流創造活動事業等
- 8) 企業との連携
- 9) 調査研究事業・収集保存事業
- 10) 公文書館機能
- 11) 収支計画と平成 29 年度決算
- 12) 平成 29 年度外部評価結果

その他

- (1) 開館時間を 17 時までとした試行について
  - (2) 三重県総合博物館の現状及び今後の方向性について
- 5 会議の公開 会議は公開で行い、傍聴者は 0 名

## 1.7 三重県総合博物館協議会評価部会

### 1) 目的

三重県総合博物館協議会に、三重県総合博物館の活動と運営に対して評価を実施するために設置。

### 2) 設置根拠

三重県総合博物館協議会評価部会設置要綱に基づき設置。

### 3) 設置年月日 平成 26 年 9 月 5 日

### 4) 委員

齋藤彰一 株式会社三重銀行 特別顧問  
 高井健司 大阪市経済戦略局博物館運営企画室 経営形態担当課長 [部会長]  
 山下治子 株式会社アム・プロモーション 雑誌ミュゼ編集長・常務取締役  
 外部有識者  
 亀山裕美子 評価士  
 吉岡 基 三重大学大学院 生物資源学研究科 教授

(敬称略：五十音順)

### 5) 評価部会

#### ① 三重県総合博物館協議会評価部会

- 1 日時 8 月 27 日(月)13 時 30 分～16 時 30 分
- 2 会場 三重県総合博物館会議室
- 3 出席委員 齋藤彰一、高井健司、山下治子  
外部有識者 亀山裕美子
- 4 内容
  - 1) 平成 29 年度内部評価結果の説明
  - 2) 各戦略の評価と今後に向けての改善点
  - 3) 活動と運営全体の評価
  - 4) 評価制度の改善点
- 5 会議の公開 会議は非公開で行った。

## ②外部評価報告会

- 1 日時 平成31年1月23日(水)10時15分～11時30分
- 2 会場 三重県総合博物館会議室
- 3 出席委員 高井健司  
外部有識者 亀山裕美子
- 4 内容
  - 1)平成29年度外部評価結果の説明
  - 2)評価士レポートに基づく評価制度の運用状況と課題
- 5 会議の公開 会議は非公開で行った。

## 2 調査研究事業

### 2.1 研究概要

#### 1)事業の趣旨・目的

博物館の使命やビジョンを達成するため、調査研究方針に基づき、調査研究を推進し、その調査研究の成果を、展示をはじめとする博物館の活用発信活動で活用することによって、人づくりや地域づくりに貢献する。

#### 2)事業の概要

平成30年度から館内外の連携・共同によるプロジェクト研究と学芸員がそれぞれ取り組む専門研究の2つのカテゴリーにより研究計画を立てて調査研究を実施している。

##### (1)プロジェクト研究

三重の自然と歴史・文化を総合的に紹介している基本展示で取り上げたテーマのうち、研究を深化させることによって、当館の特色を発揮できるものを調査研究テーマとして設定し、学芸員及び外部研究者が連携・共同して取り組んでいる研究

天野秀昭：基本展示のデータの整備・深化

天野秀昭：雲井コレクション戦時資料に関する調査・研究

藤谷 彰：県内歴史資料の所在確認と災害対応に関する調査・研究

大島康宏：石田氏寄贈資料に関する調査・研究

太田光俊：[基本展示5-4]人の交流の深化・発展

佐野 明：[基本展示3-2]鈴鹿山脈の深化・発展

田村香里：公立学校に保管されている標本資料の状況把握

##### (2)専門研究

学芸員が専門分野や博物館活動に関する研究能力を維持・発展させていくためにテーマを設定して取り組んでいる研究

天野秀昭：伊勢平氏関連伝承の調査

藤谷 彰：津藩家臣団の形成・構造と知行制の基礎研究

稲垣玲弥：こども体験展示室におけるこどもの興味関心についての研究

稲垣玲弥：ミュージアムフィールドにおける鳥類調査・研究

間渕 創：博物館 IPM への ATP 拭き取り検査活用に向けた基礎的な研究

森田奈菜：ボタニカル・デザイン展に関わる調査・研究

中村千恵：子どもと博物館に関する調査・研究

中村千恵・田村香里：「さわって・みる」資料に関する調査・研究

中村千恵・田村香里：子どもたちと協働した地域の魅力に関する調査・研究

大島康宏：昆虫類(特にチョウ目タテハチョウ科)の分類学的研究  
大島康宏：三重県内の昆虫相解明とそれを用いた生物地理学的研究  
大島康宏：昆虫学を活用した普及活動と地域ネットワークの構築  
太田光俊：高田派関係資料の調査・研究  
太田光俊：織豊期宗教勢力の分析手法についての研究  
佐野 明：三重県産哺乳類の生息確認記録データベースの作成  
瀧川和也：仏像展に関わる調査・研究  
瀧川和也・太田光俊：天台真盛宗関連資料の調査・研究  
田村香里：ミュージアムフィールドにおけるフクロウの生態調査・研究  
田村香里・稲垣玲弥：シカの頭骨を活用した学習教材の開発  
津村善博：津市美杉町に産する球状岩についての研究  
津村善博：三重県内の中央構造線の露頭調査研究

### 3) 研究成果の刊行

- ・三重県総合博物館研究紀要 No. 5
- ・三重県総合博物館資料叢書 No. 5(伊賀無足人由緒書)
- ・展覧会図録 三重県総合博物館 第19回企画展  
「知ってる貝！ 見てみる貝！ 貝のヒミツ」
- ・展覧会図録 三重県総合博物館 第20回企画展  
「おもちゃ大好き！ ～郷土玩具とおもちゃの歴史～」
- ・展覧会図録 三重県総合博物館 第21回企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」
- ・展示解説パンフレット「三重会場解説小冊子『武四郎を知る 武四郎と三重を知る』」
- ・展示解説パンフレット 三重県総合博物館第22回企画展「くらしの道具～いま・むかし～」
- ・事業報告書「多様な個性でつむぐ地域の学び創造事業活動の記録」, みえむプロジェクト実行委員会

## 2.2 研究成果一覧

### 1) 発表論文等

- 藤谷 彰**. 2019. 野村増右衛門像の再考. ふびと, 70: 65-77.
- 藤谷 彰**. 2019. 桑名藩の知行制, 三重県総合博物館研究紀要, 5: 27-39.
- Kano, Y., Nakajima, J., Yamasaki, T., **Kitamura, J.** and Tabata, R. 2018. Photo images, 3D models and CT scanned data of loaches (Botiidae, Cobitidae and Nemacheilidae) of Japan. Biodiversity Data Journal, 6: e26265.
- 間瀬 創**・松尾 篤. 2019. 三重県津市大空院所蔵紺紙金字妙法蓮華経における真鍮泥の利用について. 三重県総合博物館研究紀要, 5: 1-5.
- Nagata, N., **Kitamura, J.**, Inaba, O., Kumagai, M., Fujimoto, Y. and Sota, T. 2018. Phylogeography of endangered bitterling *Acheilognathus melanogaster* endemic to Eastern Japan. Zoological Science, 35: 396-401.
- 佐野 明**. 2018. 三重県松阪市で発見されたコキクガシラコウモリの白化個体. 南紀生物, 60: 72-73.
- Wu, L., Chiba, H., Lees, D. C., **Ohshima, Y.** and Jeng, M., 2019. Unravelling relationships among the shared stripes of sailors: Mitogenomic phylogeny of Limenitidini butterflies (Lepidoptera, Nymphalidae, Limenitidinae), focusing on genera *Athyma* and *Limenitis*, Molecular Phylogenetics and Evolution, 130: 60-66.

## 2) 著書・編著等

藤谷 彰. 2019. 近世大名家臣団と知行制の研究, 清文堂出版, 大阪, 280pp.

## 3) 報告・研究ノートなど

中村千恵. 2018. 事例 2 MieMu(みえむ)ー三重県総合博物館の SNS 利用. 本間浩一(編), pp.190-199. ミュージアムのソーシャル・ネットワーク(博物館情報学シリーズ3). 樹村房, 東京.

中野 環. 2019. 三重県総合博物館所蔵 貝類標本目録ーヤツシロガイ科ー. 三重県総合博物館研究紀要, 津, 5: 7-14.

太田光俊. 2018. 思想家の著作と政治の現場ー松浦武四郎と吉田松陰の事例からー, 書物と学問から時代を超える(歴史学フォーラムの記録, 2017), 歴史学フォーラム2017 実行委員会, 大阪. 34-39.

## 4) 普及的著作等

天野秀昭. 2018. 古墳時代の貝塚剥ぎ取り標本. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 5月13日, 21面.

藤谷 彰. 2018. 旅人のパスポート「送り状一札」. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 12月9日, 25面.

星野利幸. 2019. 「東海道五十三次之内桑名」三代歌川豊国. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 3月10日, 11面.

五十嵐聡美・内川隆志・遠藤志保・太田光俊・佐々木利和・鈴木琢也・鈴木幸人・谷本晃久・成澤麻子・三浦泰之・山本 命, 2018. 三重県総合博物館第21回企画展「幕末維新を生きる旅の巨人 松浦武四郎」展覧会図録, 勝毎光風社, 帯広, 160pp.

間瀬 創. 2018. 本物を見てもらうために～国宝・重要文化財を展示する努力～. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 21: 5.

森田奈菜. 2018. 夏の花かんさつ. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 21: 6.

森田奈菜. 2018. ハマボウの標本. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 8月12日, 26面.

中川良平. 2019. ミエゾウ. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 2月13日, 20面.

中川良平. 2019. オクヤマドブガイ. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 2月20日, 16面.

中川良平. 2019. ミエゾウの足跡. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 2月27日, 16面.

中川良平. 2019. ゾウ化石と巨人伝説. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 3月6日, 14面.

中川良平. 2019. ミエゾウ全身骨格. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 3月13日, 14面.

中川良平. 2019. 伊賀粘土層. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 3月20日, 20面.

中川良平. 2019. 樹幹化石. 中日新聞(伊賀版), MieMu 発トピック伊賀, 3月27日, 18面.

中村千恵・稲垣玲弥・堀江真季子. 2018. 武四郎を知ろう！ワークシート(企画展幕末維新を生きる旅の巨人), 三重県総合博物館, 津, 8pp.

中村千恵・田村香里. 2018. 「さわってみるミュージアム」三重県立盲学校移動展示. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 23: 6.

中野 環. 2018. 特集企画展知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 20: 1-2.

中野 環. 2018. 第19回企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」を終えて. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 22: 5.

中野 環. 2019. 海苔粗朶につく生きもの. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 2月10日, 11面.

大西 到. 2018. 美しい貝ツキヒガイ. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 4月8日, 11面.

大島康宏. 2018. ミスジチョウ. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 10月14日, 11面.



**太田光俊**. 2018. 特集企画展幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 22: 1-2.

**太田光俊**. 2018. 武四郎の旅とのりもの. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 22: 3-4.

**太田光俊**. 2018. 武四郎涅槃図. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 9月9日, 29面.

**太田光俊**. 2018. 武四郎涅槃図. 毎日新聞(東海ワイド), Museum, 9月22日, 27面.

尾崎織女・原田悠里・**宇河雅之**・**田村香里**. 2018. 三重県総合博物館第20回企画展「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」展覧会図録, 三重県総合博物館, 津, 64pp.

**佐野 明**. 2019. 暗闇に飛ぶコウモリ. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 1月13日, 21面.

**瀧川和也**. 2018. 伊勢の賽木 郷土玩具. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 7月8日, 9面.

**瀧川和也**・**太田光俊**・**山本伸一**. 2018. 三重県発企業と博物館の新たな連携モデルコーポレーション・デー. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 20: 5-6.

**瀧川和也**・**太田光俊**・**山本伸一**. 2018. 企画展に企業の皆様のご協力をいただきました. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 23: 5.

**田村香里**. 2018. 地域とつながる移動展示「たんけん！はっけん！御浜町」. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 20: 4.

**田村香里**. 2018. さわれる資料の開発. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 21: 4.

**田村香里**. 2018. アカウミガメ. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 6月10日, 23面.

**宇河雅之**. 2018. 特集企画展おもちゃ大好き！郷土玩具とおもちゃの歴史. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 21:1-2.

**宇河雅之**. 2018. 特集第22回企画展くらしの道具～いま・むかし～. みえんしす(三重県総合博物館情報誌), 23: 1-4.

**宇河雅之**. 2018. 「湯たんぼ」戦時中の陶器製. 中日新聞(広域三重), 博物館だより, 11月11日, 27面.

学校法人梅村学園三重中学校・三重高等学校・三重県立水産高等学校・石井智大・石川謙二・**中野 環**・竹内泰介, 2018. 三重県総合博物館第19回企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」展覧会図録, 三重県総合博物館, 津, 64pp.

#### 5) 招待講演・学会発表等

**星野利幸**. 2019. 2. 11. 古代の老志郡について－交通を中心に－. 古代寺院史研究会例会, 津市埋蔵文化財センター.

**森田奈菜**・福田知子・海老原 淳. 2018. 9. 15. 三重県総合博物館収蔵庫へのAPG体系導入. 日本植物学会第82回大会, 広島国際会議場. [ポスター発表]

**中川良平**・浦田健作. 2018. 10. 6-8. 福岡県青龍窟および大分県稲積山の堅穴から産出したヤベオオツノジカの化石. 日本洞窟学会第44回大会, 気仙沼中央公民館. [ポスター発表]

**大島康宏**. 2018. 9. 10. 自然を理解し伝える人材を博物館で育てる：三重県総合博物館での取り組み. 日本昆虫学会第78回大会(昆虫担当学芸員協議会), 名城大学.

**太田光俊**. 2019. 3. 24. 坊主衆から見た織豊期の本願寺の動向. 近世史フォーラム3月例会(三重例会), 橋北公民館.

### 3 資料収集・保存

当館では、前身の三重県立博物館収蔵資料を引継ぎ、三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承するとともに、基本展示室、企画展示等で、三重の自然と歴史・文化に関するさまざまな資料を展示することを目的に資料を収集・保存している。

### 3.1 資料一覧概要

〈自然分野〉 428,256 点		
地学資料	18,836 点	化石（恐竜化石・ほ乳類化石等）、岩石標本、鉱物標本等
動物資料	285,275 点	ほ乳類、鳥類、昆虫類、魚類、両生類、は虫類、貝類、クモ類、カニ類、異尾類・棘皮類、海岸動物など形態:はく製、仮はく製、骨格標本、乾燥標本、液浸標本、含浸標本など ※飼育標本：特別天然記念物オオサンショウウオ 1 匹
植物資料	124,120 点	さく葉標本、コケ植物標本、菌類標本、植物レプリカ、樹脂標本
理工資料	25 点	
〈人文分野〉 160,768 点		
考古資料	514 点	古墳出土資料等
美術工芸資料	2,751 点	絵画書跡、版画（浮世絵ほか）、工芸品（陶磁器）、工芸品（武器・武具など）
歴史資料	77,283 点	古文書類、典籍・古記録類、絵図・地図類、貨幣、引札、絵はがきなど
民俗資料	6,141 点	衣食住関連、信仰関連生業、生産関連、交通・運輸・通信関連、芸能・娯楽関連、社会生活関連、年中行事関連資料など
歴史的公文書	74,079 点	行政文書、絵図地図等、行政刊行物
計 589,024 点		平成 31 年 3 月現在

### 3.2 資料収集

#### 1) 資料購入

平成 30 年度、資料購入は行わなかった。

#### 2) 資料寄贈

平成 30 年度に寄贈を受けた数は 10 件、寄贈者は個人・団体からであった。

寄贈日	資料名	点数	内容	寄贈者
5月25日	図書資料	394 点	日本を代表する近世民衆史の歴史学者である早稲田大学名誉教授深谷克己氏の著作物	個人
10月2日	土蔵内階段	1 点	明治 9 年 12 月の地租改正反対一揆の際のものと伝わる傷痕が残存	個人
平成 31 年 1 月 30 日	歴史資料	1,182 点	津藩領河原田村（現四日市市）に居住し郷士で庄屋を務めた家に伝来した文書群	個人
平成 31 年 2 月 7 日	鉄橋と機関車写真	1 点	昭和 40 年代における宮川鉄橋と鉄橋を走行する機関車写真	個人
平成 31 年 2 月 26 日	植物標本	17 点	平成 30 年度紀勢国道管内環境調査で作成された標本群	団体
平成 31 年 2 月 26 日	植物標本	78 点	中部道路環境調査で作成された標本群	団体
平成 31 年 3 月 30 日	動物標本	1 点	タイマイ（ウミガメ）のはく製標本	個人
平成 31 年 3 月 30 日	動物標本	3 点	アオウミガメとタイマイ（ウミガメ）のはく製標本	個人
平成 31 年 3 月 30 日	動物標本	6 点	アオウミガメ、ニホンジカ角、硫黄島の貝類標本	個人
平成 31 年 3 月 30 日	歴史資料	6,730 点	個人が収集した戦争と戦時下に関する歴史資料	個人

### 3.3 歴史的公文書の移管

#### 1) 当館における公文書館機能

- ① 県の歴史的公文書(原課で作成された期限満了の5年以上の公文書を文化振興課で選別し、総合博物館へ移管した公文書をいう)の受入・整理・修復・保存・閲覧・展示・調査研究
  - ② 行政資料・古文書などの収集・保存・閲覧・展示・調査研究
  - ③ 調査研究成果の発信(HP・研究紀要等刊行物の発刊)
  - ④ レファレンスへの対応
  - ⑤ 学習会・講演会・講習会等の開催
  - ⑥ 歴史的公文書等の保存・活用のための市町等との連携など
- ※②～⑤は博物館機能でもある。①⑥が公文書館独自機能

#### 2) 歴史的公文書の移管の概要

保存期限5年以上の公文書のうち期限が満了した公文書は、原課から環境生活部文化振興課が引き継ぎ、当館アーキビストとともに評価選別が行われる。選別された歴史的公文書は、随時当館へ移管し、整理保存処置を行って公開閲覧に供している。

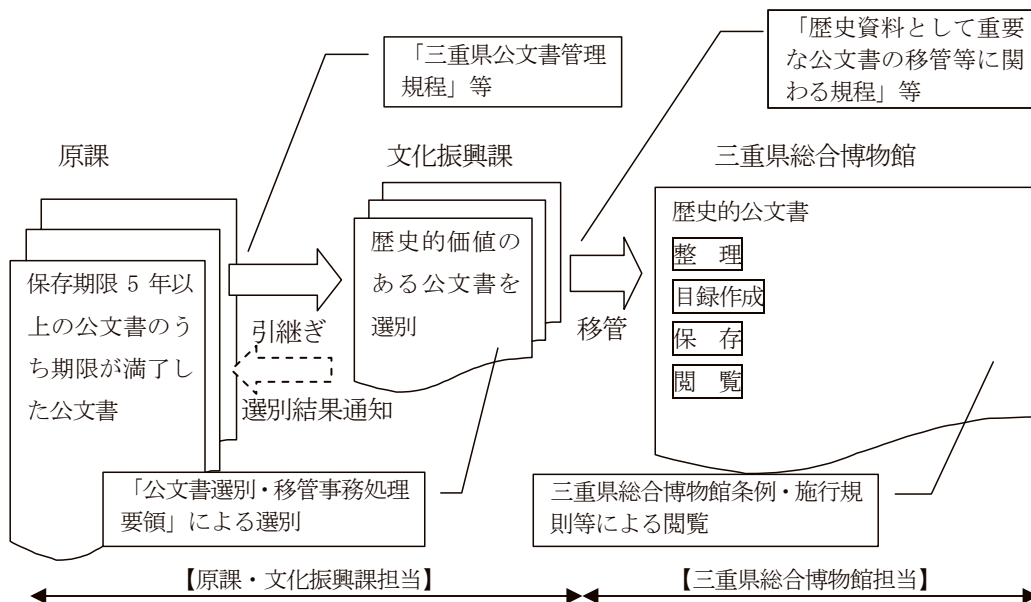


図 移管の手続きの概要

#### 3) 歴史的公文書の移管数

平成30年度に文化振興課から移管された歴史的公文書及び図面の冊数は、以下のとおりである。

平成31年3月移管：668冊

#### 4) 三重県公文書等管理条例(仮称)の検討

平成30年10月の県議会知事答弁の中で、知事は当県での不適切な公文書の管理の状況を是正する措置として、三重県公文書等管理条例(仮称)を制定することを表明した。それを受けて、法務・文書課、文化振興課、当館と協議し、今後、三重県公文書等管理条例検討懇話会という有識者で構成する会議を設置し、検討を進めることとした。また、文化振興課と当館の職員で構成する公文書館機能に関する検討会を随時開催し協議を進めて、12月には、公文書管理条例を制定している鳥取県、香川県へのベンチマーキングを実施し、先進公文書館の情報を収集した。

### 3.4 資料保存

当館では収蔵庫等の定期燻蒸は原則として行わず、目視点検で虫菌害の進行が疑われる、あるいは点検自体が困難である新規収蔵資料等について、収蔵庫搬入直前に殺虫処理を行う方針をとっている。原則として二酸化炭素処理による殺虫、又は酸化エチレンによる殺虫燻蒸(0.5%)を行い、明らかにカビ被害が発生・進行している場合には酸化エチレンによる殺菌燻蒸(1%)を行う。

平成30年度には二酸化炭素処理を1回、酸化エチレンによる殺虫処理を6回、殺菌処理を2回行った。

## 4 展示

### 4.1 基本展示

「基本展示室」と名付けた常設展示では、三重県がどんなところか、三重県の多様で豊かな自然と歴史・文化が持つ多彩な魅力や特色を、360°連続する三重の美しいパノラマに包まれた展示空間の中で一体的に紹介している。“三重がもつ「多様性の力」”をテーマとして、「大地のなりたち」「多様で豊かな自然」「三重をめぐる人・モノ・文化の交流史」「自然とともに生きる」の4つのコーナーで紹介している。

### 4.2 企画展示

#### 4.2.1 企画展

##### 1) 第19回企画展 知ってる貝！ 見てみる貝！ 貝のヒミツ

【会 期】 4月14日(土)～6月17日(日) <開催日数：56日>

【会 場】 企画展示室(800㎡)・交流展示室(200㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【協 力】 船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

【後 援】 三重県博物館協会

【概 要】 貝は、食べるだけでなく、日常道具や美しさを活かした装飾品のほか、あそびの道具としても利用されてきた。また、三重県は真珠やアワビ、カキ、ハマグリなど全国有数の生産地でもあり、私たちに豊かな恵みを与えてくれている。この企画展では、暮らしの中にある貝にスポットをあて、貝の多様性、利用する人々の知恵、背景となる貝のすがたや生態などに関わる展示を行い、思わずだれかに話したくなる貝の世界を紹介した。

(主な資料)

コンボウガキ[京都大学総合博物館蔵]、貝類生態映像、パンダハマグリ[個人蔵]、エントツガイ、オオジャコガイ、アラフラオオニシ、アイスランドガイ、スケネラ(化石)、セイスイガイ[三重大学生物資源学部蔵]、アンモナイト化石、オウムガイ化石、金丸但馬コレクション、阿部茂コレクション、加藤次雄コレクション、松本幸雄コレクション[個人蔵]、中野恒夫コレクション[個人蔵]、中縄遺跡貝塚剥ぎ取り標本、マキカゴ、イカリ、サンザエツキ、カイバサミ、タコ壺等漁具[鳥羽市立海の博物館蔵]、缶詰ラベル、寿司ネタの貝と食品サンプル、築地市場に入荷した外国の貝[個人蔵]、インレイが入ったギター[個人蔵]、和菓子木型[個人蔵]、螺鈿細工5種、手板、工具各種[個人蔵]、貝あわせ、住吉のおもと人形、おふくはまぐり、色絵はまぐり、軍隊膏薬、貝笛、フェーブ(ガレット)[個人蔵]、貝杓子、貝ボタン、材料各種[株式会社トモイ蔵、個人蔵]、貝貨、貝皿、信仰用具、猪猟合図用楽器、墨入れ容器、湯沸し具、首飾り、婚資用具貨、貝紫染め布、貝紫染め用具殻[国立民族学博物館蔵]、胡粉、材料[ナカガワ胡粉絵具株式会社蔵]、日本人形[個人蔵]、碁石[個人蔵]、海からの贈り物 貝ボタン映像資料[川西町商工会蔵]、水田博幸氏作貝工芸「東海道五十七次」[枚方市蔵]、イヤリング、ネックレス、デミ・パリュール・ミキモト・ジュエリー、真珠各種[ミキモト真珠博物館蔵]、パイゴマ各種[個人蔵]、ミヤイリガイ、日本住血吸虫生活環[目黒寄生虫館蔵]、貝千種、奇貝圖譜[個人蔵]

蔵]、環境保全の取り組み資料[三重中学校・三重高等学校]、イカ模型[三重大学教育学部理科教育教室蔵]、貝に関する自由研究[個人蔵]、貝殻標本[個人蔵]、貝類生態水中写真[個人蔵]、真珠養殖道具[三重県立水産高等学校蔵]、水槽生態展示[三重県水産研究所・三重県立水産高等学校協力]、貝類模型各種

展示資料点数 約 20,350 点

【観覧料】 一般 800 円、大学生 480 円、高校生以下無料

【観覧者数】 12,019 人(うち高校生以下：4,150 人)

【関連講座等】

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
ギャラリートーク	4月15日(日)	企画展示室	17	当館職員 中野 環
	5月13日(日)		23	
貝がらを使った工作体験 「ストラップ」	4月22日(日)	学習交流スペース・交流活動室	120	当館副館長 寺本久彦
	6月3日(日)		100	
ワークショップ 「貝のカラダを推理しよう」	4月29日(日・祝)	学習交流スペース・実習室	32	当館館長 大野照文・当館職員 田村香里
貝がらを使った工作体験 「なんちゃって“貝合わせ”」	4月30日(月・振休)	学習交流スペース	126	当館職員 中野 環
	5月4日(金・祝)		117	
県水産研究所出前講座 「海をきれいにする二枚貝のパワーを体験しよう」	5月3日(木・祝)	実習室	70	三重県水産研究所職員・当館職員 田村香里
「中高生が教える」貝がらストラップづくり	5月5日(土・祝)	学習交流スペースおよびウッドデッキ	368	小西伴尚(梅村学園三重中学校・三重高等学校)および生徒
	5月6日(日)		425	
標本づくり講座 「貝の玉手箱づくり」	5月12日(土)	実習室	53	当館職員 中野 環
標本づくり講座 「色鉛筆でネイチャーアート・貝」	5月20日(日)	実習室	8	イラストレーター 清水千佳子
ワークショップ 「貝のカラダを推理しよう」	5月27日(日)	実習室	31	当館館長 大野照文・当館職員 田村香里
	6月10日(日)		35	
貝殻を使った工作体験 「ちいさな貝でアクセサリー」	6月9日(土)	学習交流スペース	98	当館職員 中野 環・加藤美智子
計			1,649	

○三重大学教育学部理科教育教室との連携事業

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
これで二枚貝の体のつくりがわかる！二枚貝の解剖モデルを作ろう	5月27日(日)	交流活動室	32	後藤太郎(三重大学)およびスタッフ

○三重県立水産高等学校との連携事業

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
真珠の見分け方・真珠ペンダント作り教室	5月20日(日)	学習交流スペース	65	筒井 努(三重県立水産高等学校)ほか職員2名および生徒

【刊行物】ポスター(B2版)、チラシ(A4版)、展示図録(A4版64頁)

【担当】中野 環





展示風景



B2 ポスター

## 2) 第20回企画展 おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～

【会 期】 7月7日(土)～9月2日(日) <開催日数：50日>

【会 場】 企画展示室(800㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【特別協力】 日本玩具博物館

【後 援】 三重県博物館協会、歴史街道推進協議会

【助 成】 公益財団法人 岡田文化財団

【概 要】 今も昔も子どもたちの身近な存在である「おもちゃ」にも歴史がある。特に明治時代から現在にいたる、この150年の移り変わりには目を見張るものがある。この企画展では、日本玩具博物館の日本屈指の玩具コレクションを中心に、明治・大正・昭和の各時代のおもちゃや、伊勢地域をはじめとする各地の郷土玩具を展示した。

(主な資料)

伊勢の賽木、伊勢の竹鳴独楽[当館蔵]、将棋駒[奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵]、毬杖の木球[長岡市教育委員会蔵]、羽子板[京都市埋蔵文化財研究所蔵]、津の張子 おぼこ[京都府蔵]、首振り人形[蝙蝠堂蔵]、笙の笛、津の俵牛、三春張子、犬張子、金魚台輪、アケビ細工の鳩車、伏見人形・饅頭喰い、出雲張子、チンチン馬、教育女子置飾り絵、キューピー、セルロイド製犬張子型玩具、洋装のベビードール・さくらビスク、ベーゴマ、フクちゃんの三輪トラック、鉄兜、サーベル、ラッパ、愛国積木、戦争積木、ダンシング・カップルのほかゼンマイ仕掛けの人形、ブタのcockさん、ショウノウ船、MPジープ、リカちゃん人形、ソフトビニール製バルタン星人、ひみつのアッコちゃんのままごとセット、シルバニアファミリー[日本玩具博物館]

展示資料点数 1,080件2,634点

【観 覧 料】 一般900円、大学生540円、高校生以下無料

【観覧者数】 26,497人(うち高校生以下：13,355人)

【関連講座等】

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
ギャラリートーク	7月8日(日)	企画展示室	20	当館職員 宇河雅之
	8月18日(土)		3	



おもちゃの病院出張診療	7月8日(日)	エントランスホール	21	津おもちゃ診療所
	7月28日(土)		24	
	8月12日(日)		39	
記念講演会「近代のおもちゃ文化史～明治・大正・昭和～」	7月14日(土)	レクチャールーム	28	尾崎織女(日本玩具博物館 学芸員)
巨大プラスチックレール鉄道おもちゃ運転会	7月14日(土)	交流展示室	—	鉄道おもちゃ博物館(三重のまんなか・まちかど博物館)
	7月15日(日)			
大人のための知育玩具活用講座	7月16日(月・祝)	レクチャールーム	7	堀田武志(株式会社ロボネット)
ミニ四駆を走らせよう!	7月21日(土)	交流展示室	150	本の王国 文化センター前店
	7月22日(日)		162	
変形合体ネジを組み立てよう!	7月28日(土)	交流展示室	162	有限会社 大河内
	7月29日(日)		135	
楽しいかんたんてづくりおもちゃづくりワークショップ	8月18日(土)	学習交流スペース	78	三重大学教育学部美術教育コース
	8月19日(日)		146	
ボードゲームを楽しもう!	8月25日(土)	交流展示室	70	特定非営利活動法人 津市NPOサポートセンター(SANTAS)
	8月26日(日)		75	
計			1,120	

以下の事業を、企画展示室内で実施した。

「昔からあるおもちゃを動かしてみよう。」

「巨大すごろくが登場。自分がコマになってゴールまで進もう。」

「トリケラトプスの全身骨格レプリカが登場。ブロックで作って記念撮影をしよう。」(協力:株式会社 アーテック・株式会社 ロボネット)

「木のおもちゃがずらり。カタコトカタコト遊んでみよう。」(協力:木工工房 モクスキ・木工房 いやしのコトコト人形)

#### ○タイアップイベント「ミエトイ・キャラバン in MieMu」

三重の木のおもちゃや遊具とのふれあいを通じて、木と親しむ「木育」イベントを同時開催した。木を使った楽しい工作ができる「森の学校」と「わくわく木育ワークショップ」を実施。(三重県農林水産部みどり共生推進課)

※5.4.6 その他の諸機関・諸団体参照

【刊行物】ポスター(B2版)、チラシ(A4版)、展示図録(A4版 64頁)

【担当】宇河雅之、田村香里



展示風景



B2 ポスター

### 3) 第21回 企画展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

【会 期】 9月15日(土)～11月11日(日)＜開催日数：50日＞

【会 場】 企画展示室(800㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【共 催】 松浦武四郎記念館、松浦武四郎展実行委員会

【協 力】 松阪市、北海道博物館

【後 援】 公益社団法人 北海道アイヌ協会、大台町、三重県博物館協会、歴史街道推進協議会

【助 成】 芸術文化振興基金、公益財団法人 岡田文化財団

【概 要】 三重県松阪市出身で、幕末・維新期の激動の日本を見つめた男、松浦武四郎が生誕200年を迎えた。武四郎は「北海道の名付け親」と呼ばれるように6回の北海道踏査を行い、北海道発展の基礎を築いた人物である。北海道とのかかわりだけではなく、吉田松陰や木戸孝允、大久保利通をはじめとする幕末の志士・文人たちと幅広い交友を持ち、当代随一の情報収集家、古物蒐集家としての武四郎の知られざる魅力を紹介した。  
(主な資料)

[重要文化財] 松浦武四郎関係資料(松浦武四郎記念館蔵)より矢立、印章「馬角齋印」、英豪手翰、灰心余赤上・下、四国遍路道中雑志二・三、東奥沿海日誌南・軽・津・部、佐渡日誌上・下、弔北雑志、古鈴図、初航蝦夷日誌三・七・九・十、再航蝦夷日誌七・九・十二・十三、三航蝦夷日誌三・四、野帳辰二・三・五・六、野帳巳第一番・第四番・第五番・第六番、野帳午第一番・第五番・第十三番・外第二番、東部登加知留宇知之誌一・四、西部志礼登古誌坤、燼心余赤六・七・八・九・十四・十五、近世蝦夷人物志二編上・三編下、蝦夷訓蒙図彙、蝦夷山海名産図会、蝦夷人舞蹈之図、蝦夷屏風[右隻の表面]・[右隻の裏面]、蝦夷図寄書、北海道国名撰定上申書[草稿]、北海道郡名撰定上申書[控]、己卯記行地・人、庚辰紀行 三・四、辛巳紀行 二・三、金峯山寺奉納神鏡背面拓本、壬午小記二・三、癸末溟志一・二、甲申日記二・三、乙酉記行一・二、丙戌前記一・二、丁亥前記 一・二、寄書縫付傘、骸骨図縫付傘、武四郎涅槃図、火用心袋、多気志楼蔵泉譜二・三・六・七、洪団扇帖二・三、木片勸進書状二・三 など

[その他] 大台山頂眺望之図(十勝毎日新聞社蔵)、蝦夷漫画(十勝毎日新聞社蔵)、北海道国郡図(高木崇世芝氏蔵)など

展示資料点数 342件 434点 うち重要文化財 167件 183点 県指定文化財 4件 4点

その他、関連展示部分アイヌ民族関係資料(北海道博物館蔵)10件16点

【観覧料】 一般800円、大学生480円、高校生以下無料

【観覧者数】 13,055人(うち高校生以下:5,786人)

【関連講座等】

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
ミニレクチャー&ギャラリートーク「松浦武四郎と大台ヶ原山登山の謎」	9月16日(日)	レクチャールーム	100	大川吉崇(大川学園理事長)
ミニレクチャー&ギャラリートーク「志士たちの書状を読む」	9月30日(日)		10	当館職員 藤谷 彰
ミニレクチャー&ギャラリートーク「三重が生んだ北海道の名づけ親・松浦武四郎の誇り」	10月14日(日)		47	高瀬英雄(元松浦武四郎記念館館長)
記念講演会「旅の巨人松浦武四郎が遺したもの」	10月28日(日)	レクチャールーム	81	佐々木利和(北海道大学客員教授)
ミニレクチャー&ギャラリートーク「近代初期の松浦武四郎」	11月4日(日)	レクチャールーム	37	小玉道明(三重県史編さん専門委員)
幕末維新を三重から語る武四郎鼎談	11月11日(日)	レクチャールーム	88	山本 命(松浦武四郎記念館学芸員)・三浦泰之(北海道博物館学芸員)・当館職員 太田光俊
計			363	

○三重県生涯学習センター×三重県総合博物館連携事業

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
研究成果報告会 松浦武四郎研究の最前線2018	9月29日(土)	三重県総合文化センター 多目的ホール	230	内川隆志(國學院大學博物館教授)・徳田誠志(宮内庁書陵部)・長谷洋一(関西大学文学部教授)・堅田智子(上智大学文学部特別研究員)他
同 ギャラリートーク	9月29日(土)	企画展示室	60	

○展示室内でのワークショップ

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
ヒグマを学ぼう!	開催期間中の土日祝日	企画展示室	236	当館職員 中村千恵・稲垣玲弥・田村香里・佐野 明・太田光俊・星野利幸

○その他の取組み

行事名	開催日時	会場	人数	備考(講師等)
絵本の原画展示	企画展開催期間中	学習交流スペース	—	関屋敏隆「北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検」の原画展示
松浦武四郎への思いを綴った手紙と紙芝居の展示	10月27日(土)～11月11日(日)	学習交流スペース	—	「生誕から200年を迎えた松浦武四郎さんへの思い」をテーマにした小中学生の手紙の最優秀作品と三重県立松阪工業高等学校繊維デザイン科3年生制作の紙芝居「松浦武四郎」の展示

三重県総合博物館 北海道観光プロモーション	9月15日(土)～ 17日(月)	交流展示室	—	北海道・公益社団法人北海道観光振興機構主催による、北海道の観光情報提供の取組
北海道応援取り組み	企画展開催期間中	学習交流スペース他	—	「北海道胆振東部地震」を受けた、応援事業（義援金募金箱の設置、応援メッセージボードの設置、MieMu SHOPでの商品販売、北海道観光のPR）

○楽しく武四郎を学ぼう

以下の事業を、企画展示室内で実施した。

「武四郎ぬり絵」

「アイヌ語をブロックで学ぼう」

「巨大すごろくで武四郎の北海道の旅を体験」

「プロジェクションマッピングで武四郎の旅を知ろう」

○企業連携

武四郎と三重との関わりについてより一層理解を深めてもらうための取組や、子どもたちが武四郎について楽しみながら学べる取組、期間中のコーポレーション・デー開催などに対し協賛を募り、多くの企業・団体に協賛いただいた。

協賛一覧

井村屋グループ株式会社

三重県民共済生活協同組合

株式会社松阪鉄工所

松阪北部商工会

三重交通グループホールディングス株式会社

株式会社赤福

三重県商工会議所連合会株式会社

株式会社えいすう総研

株式会社百五銀行

株式会社第三銀行

その他

北海道命名150年を記念したベビースターラーメン提供 株式会社おやつカンパニー

関係書籍の館内売上寄附 株式会社サイネックス

【刊行物】ポスター(B2版)、チラシ(A4版)、図録(A4判159頁)、解説パンフレット(A4判8頁)、ワークシート(A5判8頁)

※展示図録は北海道博物館、北海道立帯広美術館と共通(株式会社勝毎光風社発行)

【担当】太田光俊、星野利幸



展示風景



B2 ポスター

#### 4) 第22回 企画展 くらしの道具～いま・むかし～ 特集“三重の伝統産業”

【会 期】 12月15日(土)～平成31年2月17日(日)＜開催日数：51日＞

【会 場】 企画展示室(800㎡)

【主 催】 三重県総合博物館

【後 援】 三重県博物館協会

【概 要】 明治時代がはじまって150年、その間に私たちの生活は大きく変化し、豊かで便利なものになった一方で、なくなってしまうのではないかと危惧を抱くものもある。それは、モノを大切にする心や過去から受け継がれてきた技術や伝統である。今回の企画展では、明治時代から平成にかけての様々な生活道具を紹介した。新しい道具の出現や変化が人々の暮らしにどのような変化をもたらしたのか、また、これからはどうあるべきなのかを考えるきっかけづくりの場とした。

さらに今回の企画展では、特集として「三重の伝統産業」を取り上げ、三重が誇る伝統産業の数々を、その作品を通じて紹介した。

(主な展示資料)

竜吐水、水鉄砲、手桶、片手桶、柄杓、五つ玉そろばん、計算尺、手廻し式計算機、電卓、改良カマド、火ふき竹、七輪、火消壺、大鍋、羽釜、せいろ、米揚げ笊、米櫃、湯桶、やかん、すり鉢、壺、お櫃、お櫃入れ、電気炊飯器、ガス炊飯器、保温ジャー、蠅帳、氷冷蔵庫、電気冷蔵庫、まな板、杓子、杓鯉節削り、木製調理器具、おろしがね、ホウロウ皿、ボウル、行平、片口、醤油注し、土瓶、氷かき・アイスクリーム機、かき氷機、パン焼き器、ゆで卵器、トースター、電熱器、あられ煎り、水屋箆笥、ちゃぶ台、黒電話、柱時計、文机、のし板、のし棒、ろうじ、餅切器、押し寿司機、臼、杵、洗濯板、盥、手回し式洗濯機、電気洗濯機、洗い張り板、伸子・絹張、火熨斗、炭火アイロン、裁縫箱、裁ち板、ものさし(鯨尺)、足踏みミシン、燭台、雪洞、行灯、龕灯、石油ランプ、はだか電球、ラジオ、蓄音機、白黒テレビ、蠅取器、乱れ籠、鏡台、夫婦枕(箱枕)、衣桁、衝立、蚊帳、シュロ箆、はたき、置炬燵、行火、寝爐、豆炭行火、懐爐・灰、電気行火、ブリキ製湯たんぼ、陶器製湯たんぼ、練炭、火鉢、火箸、だるま火鉢、炭火おこし、台十能、炭籠、十能、団扇、一合杵、一升杵、斗桶、すりきり棒、ものさし(鯨尺)、箆笥、洋服箆笥、柳行李、長持、階段箆笥、掃除機、ネズミとり、踏み台、煙突掃除ブ



ラシ、染付古便器、手洗器、落とし紙入れ、肥担桶、担棒、肥柄杓、乳母車、棺車、大八車、児童用机、児童用腰掛け、石版、筆箱、ランドセル、謄写版、ヤスリ、鉄筆ほか

(特集) 三重の伝統産業

■伝統工芸品（経済産業大臣指定伝統的工芸品（工芸用具））

四日市萬古焼、鈴鹿墨、伊勢形紙、伊賀くみひも、伊賀焼

■伝統工芸品（三重県指定伝統工芸品）

桑名盆（かぶら盆）、桑名刃物、多度の弾き猿、和太鼓、地張り提灯、日永うちわ、関の桶、阿漕焼、伊勢木綿、なすび団扇、竹細工、松阪の猿はじき、松阪木綿、深野紙、伊勢一刀彫、伊勢春慶、伊勢の神殿、伊勢の提灯、伊勢玩具、伊勢の根付、伊勢紙、擬革紙、和釘、尾鷲わっぱ、那智黒石、熊野花火、市木木綿、火縄 など  
 展示資料点数 442点（くらしの道具 233点、伝統工芸品関係 209点）

【観覧料】 一般500円、大学生300円、高校生以下無料

【観覧者数】 8,582人（うち高校生以下：1,566人）

【関連講座等】

行事名	開催日時	会場	人数	備考（講師等）
「まねしてみよう！ むかしのくらし」 ワークショップ	12月15日(土)	学習交流スペース	75	三重短期大学図書館ボランティア部
	12月16日(日)		115	
ギャラリートーク	12月23日(日・祝)	企画展示室	32	当館職員 宇河雅之
	平成31年 1月19日(土)		10	
	平成31年 2月2日(土)		15	
伊勢根付づくり体験 (2回講座)	平成31年	交流展示室	28	伝統工芸若手職人グループ 常若
伊勢型紙型染め体験 (4回講座)	1月13日(日)	実習室	10	伝統工芸若手職人グループ 常若
漆芸体験(4回講座)	平成31年	実習室	18	伝統工芸若手職人グループ 常若
伊勢一刀彫体験 (4回講座)	1月14日(月・祝)	交流展示室	18	伝統工芸若手職人グループ 常若
かつおぶしを削って 料理をつくろう	平成31年 1月20日(日)	実習室	48	皇學館大学チャレンジプロ ジェクト
伊賀焼絵付け体験 (2回講座)	平成31年	実習室	24	伊賀焼振興協同組合
うちわ絵付け体験 (2回講座)	2月10日(日)	交流展示室	20	株式会社稲藤
萬古焼絵付け体験 (2回講座)	平成31年 2月11日(月・祝)	実習室	34	萬古陶磁器振興協同組合連合 会
鈴鹿墨で手ぬぐい染 め体験 (4回講座)		交流活動室	70	画家 直魅
伊賀くみひも体験 (3回講座)		交流展示室	30	三重県組紐協同組合
計			547	



○三重県総合文化センター×三重県総合博物館連携事業

行事名	開催日時	会場	人数	備考（講師等）
いろいろなアーティストとアーティストになってみよう 透明フィルムに 昔の道具を見て描いて、たくさん発見しよう！	平成31年2月3日(日)	企画展示室 実習室	19	池口友理(画家)

○タイアップイベント「三重グッドデザイン(工芸品等)展」

三重ならではの伝統的な技術をいかして作られた、現代のライフスタイルに合うステキな商品の展示を実施。(三重県雇用経済部三重県営業本部担当課)

※5.4.6 その他の諸機関・諸団体参照

【刊行物】ポスター(B2版)、チラシ(A4版)、展示解説書(A4版)、ワークブック(B5版)

【担当】宇河雅之



展示風景



B2 ポスター

4.2.2 交流展

県民・利用者のみなさんと諸団体など、さまざまな主体と連携して交流展示を行った。

1) 海上保安制度創設 70 周年・灯台 150 周年記念行事 交流展 海上保安庁特別展示

会 期	11月17日(土)～12月2日(日) <開催日数:14日>			
会 場	交流展示室 (200㎡)			
主 催	第四管区海上保安本部			
共 催	三重県総合博物館			
内 容	海上保安庁の業務紹介パネルや巡視船・灯台の模型をはじめ、小笠原諸島西之島の溶岩や伊能地図など貴重な資料を展示した。			
主な資料	灯台模型、3D 海底地形図など			
観覧者数	3,128 人			
関連事業				
行事名	開催日	会場	人数	講師等
海上保安庁の制服試着、海上保安庁イメージキャラクター「うみまる・うーみん」との記念撮影など	期間中の土日祝日	交流展示室	—	第四管区海上保安本部
担 当	瀧川和也			



展示風景



A4 チラシ(表面)

#### 4.2.3 トピック展ほか

##### 1) ミニ企画展「博物館の舞台ウラ ～新着資料が活用されるまで～」※令和元年度までの継続展示

会 期	平成31年3月2日(土)～4月5日(金) 26日 ※平成30年度日数 <会期:30日>
会 場	企画展示室 (200 m <sup>2</sup> )
内 容	学芸員が日頃取り組んでいる博物館の基本業務「資料を収集し、保存処理して整理し、活用するために永久に保存する」過程を紹介するために、実際に収集・寄贈された資料を展示した。また、VR (バーチャルリアリティ) を活用し、資料保存の観点から一般の方が立ち入ることのできない収蔵庫の内部にいるような体験をしていただくことで、県民の財産である資料の保存管理の様子を紹介した。
主な資料	岩石・鉱物コレクション (個人からの寄贈資料)、平倉演習林昆虫調査コレクション (三重大学からの寄贈資料) 地租改正反対一揆に関する資料群 (個人からの寄贈資料および歴史的公文書)、東海道に関する浮世絵資料 (当館収蔵資料)
観覧者数	2,860人 ※平成30年度観覧者数
担 当	大島康宏



展示風景



A4 チラシ(表面)

#### 4.3 こども体験展示室

こども体験展示室は小さな子どもでも博物館を身近に感じ、楽しみながら学びを得られる展示室である。展示室の中は、やってみるコーナー、しらべるコーナー、つたえるコーナー、未就学児コーナーの4つのコーナーにわかれており、それぞれの場所で子どもたちが自ら展示を探してみつけ、興味をもったものを調べ、

発見したことを発表できる。この一連の流れは博物館の学芸員の仕事の調査・研究・展示発表と同じであり、その体験ができるようになっている。

平成30年度は第19回企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」にあわせて「海の生きもの」、夏から秋にかけて「骨格標本」、冬に「冬にみられる鳥」の展示を行った。

#### 4.4 三重の実物図鑑

昆虫や植物、動物、伝統工芸品など三重の自然と歴史・文化に関する基本的な資料を、図鑑のようにじっくりと間近で見ることができる展示室。

##### 1) 自然分野

自然に関する資料は、図鑑のような分類展示を意識し、動物、植物、岩石・鉱物、化石ごとに展示している。また、映像やグラフィック、触れる標本など、生物の生態を伝える展示手法を加えて、身近な三重の魅力を再発見できるよう展示している。

平成30年度は、常設の展示に加えて、次の取組を行った。

【昆虫】 県民とともに実施しているミュージアムフィールドの昆虫調査において、参加者が各自のテーマで調査した成果をドイツ箱にまとめて展示した。

【脊椎動物】 平成31年の干支である亥にちなみ、1月にイノシシのはく製と頭骨を展示した。

【植物】 平成31年の干支である亥にちなみ、和名に「イノシシ」に関連する植物を展示した。

【貝類】 「今週の貝」として、ミニ資料カード・解説を設置して紹介(随時)

【岩石・鉱物】 話題性のある資料について、パンフレット等を設置して紹介(随時)

##### 2) 人文分野

三重の歴史と文化に関する資料を、出土したモノ、受け継がれたモノ、継承されるワザ、愛用されたモノ、受け継いでいくキロクといった分類で展示し、受け継がれてきた経緯とともに、資料の特徴を際立たせるようにしている。資料保存の観点や季節・企画に応じた展示替えを行った。合わせて、4つの特集展示を行った。

##### 【展示一覧】

コーナー	展示期間	展示資料
出土したモノ	4月1日(日)～5月13日(日)	夏見廃寺(丸瓦・平瓦・埴仏など)
	6月26日(火)～10月22日(日)	夏見廃寺(丸瓦・平瓦・埴仏など)
受け継がれたモノ	4月1日(日)～5月13日(日)	耕作図巻(早春)(田起、耒蒔き、代掻き、田植え)
	6月26日(火)～10月22日(日)	耕作図巻(夏・秋)(草取・稲刈)
継承されたワザ	4月1日(日)～5月13日(日)	伊勢型紙4点(縞彫「養老寄稿小紋」(S38)、道具彫「市松柄」(S28)、道具彫「さや形柄」(S28)、錐彫「波柄」(S29))
	6月26日(火)～10月22日(日)	伊勢型紙4点(縞彫「養老寄稿小紋」(S38)、道具彫「市松柄」(S28)、道具彫「さや形柄」(S28)、錐彫「波柄」(S29))
愛用されたモノ	4月1日(日)～5月13日(日)	志摩の婚礼道具(三三九度盃、テビキ)
	6月26日(火)～10月22日(日)	青大皿2枚
受け継いでいくキロク	4月1日(日)～5月13日(日)	明治時代の地籍図(伊勢国安濃郡足坂村全図/伊勢国安濃郡五百野村全図資料2点)
	6月26日(火)～10月22日(日)	明治時代の地籍図(伊勢国安濃郡足坂村全図/伊勢国安濃郡五百野村全図資料2点)

## 【特集展示】

事業名	展示期間	展示資料
明治初期の三重の できごと～明治維 新 150 年企画～	5 月 15 日（火）～ 6 月 24 日（日）	平成 30（2018）年が明治維新から 150 年にあたるため、明治初期の三重で起こった事件やできごとに関する資料を紹介した。明治 2～11 年のもので、①版籍奉還と諸藩の治政、②廃藩置県と諸県の統合、③三重県の誕生、④大区小区制、⑤明治初期の村絵図、⑥地租改正の実施、⑦地租改正反対一揆の広がり、⑧地租改正反対一揆の被害状況の構成とした。
三重の縄文時代	10 月 23 日（火）～ 12 月 16 日（日）	三重県埋蔵文化財センターが保管する考古資料の中から、縄文人の道具や食生活、お墓にまつわる出土品約 120 点を展示した。新徳寺遺跡（多気町）や大鼻遺跡（亀山市）などから出土した暮らしにかかわる縄文土器、粥見井尻遺跡（松阪市）や木造赤坂遺跡（津市）から出土した矢じりや斧・槍などの石器、天白遺跡（松阪市）から出土した祭祀に用いた土偶や石棒、上ノ垣外遺跡（多気町）や小牧南遺跡（四日市市）から出土した装身具、また石の矢じりや縄文土器などから交流の広がりを示した。県指定有形文化財となった天白遺跡の出土品 30 点も展示した。（三重県埋蔵文化財センターと共催）
亥年にちなんで	12 月 18 日（火）～ 平成 31 年 1 月 27 日（日）	亥年にちなんで、当館の収蔵資料から「イノシシ」に関連した資料を展示した。イノシシの剥製標本のほか、「イノシシ」の名がつく植物や、浮世絵、絵画、陶磁器、典籍、しめ縄など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を展示した。人文系資料として、「猪狩図（富士巻狩図）」「色絵花鳥文猪形土瓶」「和漢三才図会」「伊勢暦」「猪鹿狩飯米下付願」「花札」「蚊やり豚」「おたふく図」「萬歳図」「しめ縄 10 種」などを展示した。
津町の形成と津藩 の町方統治～津町 年寄伊藤又五郎家 文書より～	平成 31 年 1 月 29 日（火） ～ 4 月 14 日（日）	津町は、慶長 13（1608）年に藤堂高虎が伊予国から伊賀・伊勢国へ入封し、藩庁を津に置いたことで、政治経済の中心となった。藩の加判奉行のもとに、町人である惣年寄、各町年寄を置き、法令を發布して津の町を統制した。惣年寄であった伊藤又五郎家の資料群の中から、津藩政下の津町の様相、津町の運営、年寄の職制などを示す、富田氏判物、藤堂高虎書状、進物之覚、町方定書、伊藤家由緒書、町方 21 か条目、岩田町図などを展示した。

### 4.5 オオサンショウウオ生態展示

館内の観察水槽にてオオサンショウウオのさんちゃんを飼育し生態展示を行っている。このオオサンショウウオ(さんちゃん)は平成 4 年に名張市美旗の小波田川にて保護し、当館の前身にあたる県立博物館で飼育していたものを平成 26 年 2 月に現施設に移動し飼育している。

奇数月の第 2 土曜日の午前 11 時からおよび偶数月は不定期にて給餌公開を実施した。参加人数等は 5.3.1 講座 を参照。

### 4.6 その他の展示

学習交流スペースなどを利用し、小規模の展示活動などを行った(その他の団体との協働による展示活動については 5.4.6 その他の諸機関・諸団体)。

なお、学習交流スペースは、交流創造エリアの中心的な役割を果たすスペースで、交流創造エリアの諸室や展示エリアとも機能連携しながら、三重に関する興味や関心、目的に応じた県民・利用者のみなさんの学習や研究、グループ・団体等の活動と交流の舞台となっている。

### 4.7 野外展示

#### 1) ミュージアムフィールド

基礎データ 面積 ミュージアムフィールド全体 約 28,400 m<sup>2</sup>

(観察の林 約 18,800 m<sup>2</sup>、交流の広場 約 4,370 m<sup>2</sup>、駐車場ゾーン 約 5,230 m<sup>2</sup>)



#### (1) 観察の林

三重県総合博物館の建設に際して、周辺地域でも開発等で減少している里山残存林を、博物館活動での活用を目的として保存した。里山残存林であったため放置され、藪山となっていた林床の下草等を刈り取る最低限の手を加えた状態で管理している。

主な構成樹種	高木層	ツブラジイ、コナラ、アベマキ、ヤマザクラ、ヤマモモ、ハゼノキ
	亜高木層	シロダモ、カクレミノ
	低木層	ミミズバイ、ネズミモチ、ヒサカキ、アオキ
	草本	ネザサ、ベニシダ、ヤブミョウガ

#### (2) 交流の広場

植栽した芝生の広場を中心とするエリア。周辺には「木のずかん」と称するゾーンを設けて、屋内展示等で紹介している三重の植生やくらしにかかわりのある樹木を植栽。また、県内産の岩石や各河川の砂利を用いた通路等を設置している。

##### ・交流の広場の植栽

ドングリのなかま	ウバメガシ、ウラジロガシ、シリブカガシ、ツクバネガシ、スダジイなど
葉になる植物	ニッケイ、キハダ、ナツメ、クコ、カリン、テンダイウヤクなど
布などを染める植物	クチナシ、シャリンバイなど
くらしの中の植物	ミツマタ、コウゾ、キリ、シナノキ、トチノキ、カキ、ザクロなど
マツやスギのなかま	スギ、ヒノキ、モミ、ツガ、カヤ、イヌガヤ、コウヤマキ、イチイなど
虫があつまる植物	カラタチ、マグワ、イボタノキ、シダレヤナギなど
サクラのなかま	カンヒザクラ、エドヒガン、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、カスミザクラ
ツツジのなかま	アカヤシオ、シロヤシオ、ヤマツツジ、ヒカゲツツジ、コアブラツツジ、ベニドウダン、サツキ、モチツツジなど

- ・県内産岩石を用いた石のベンチ
- ・県内河川礫を用いた階段洗い出し
- ・モウソウチクの残置林
- ・野外学習スペース

### 4.8 移動展示

県内各地域において、三重の多様で豊かな自然と歴史・文化や当館の楽しみ方を知っていただく機会をつくるために移動展示を開催している。平成30年度は三重県立盲学校と紀北町で開催した。

#### 1) さわって みる ミュージアム

会 期	11月10日(土) <開催日数:1日>			
会 場	三重県立盲学校(三重県津市高茶屋4-39-1)			
主 催	みえむプロジェクト実行委員会・三重県総合博物館・三重県立盲学校			
共 催	三重県総合博物館ミュージアムパートナー ユニバーサルミュージアムグループ			
内 容	三重県立盲学校の文化祭で、当館所蔵の触れる資料とともに、小学部児童による自由研究成果品を「さわって面白いモノ」として合同展示した。また、当館ミュージアムパートナー ユニバーサルミュージアムグループによるさわって岩石の違いを観察するワークショップも開催した。			
主な資料	三重県立盲学校の小学部児童の自由研究作品「さわって面白いモノ」、三重の触地図、鳥類はく製、哺乳類の肩甲骨、岩石・鉱物			
観覧者数	113人			
関連事業				
行事名	開催日	会場	人数	講師等
ワークショップ「さわって石をみわけよう」	11月10日(土)	三重県立盲学校	61	当館ミュージアムパートナー ユニバーサルミュージアムグループ
	計		61	
担 当	田村香里、中村千恵、大西到、稲垣玲弥			

## 2) たんけん！はっけん！紀北町

会 期	平成 31 年 2 月 23 日（土）～ 2 月 24 日（日） <開催日数：2 日>			
会 場	紀北町東長島公民館（三重県北牟婁郡紀北町東長島 915 番地 2）			
主 催	みえむプロジェクト実行委員会・三重県総合博物館			
後 援	紀北町教育委員会			
協 力	紀北町立紀北中学校、三重県立盲学校、三重県総合博物館ミュージアムパートナーユニバーサルミュージアムグループ			
内 容	紀北町周辺地域や離島の動植物や、県内の街道と旅の道具に関する資料、三重県出身で東紀州を拠点に多くの貝を収集した中野恒夫氏のコレクションを展示した。また、紀北町立紀北中学校 1 年生の生徒が紀北町の魅力について調べ、自分の興味があるものを集め制作した「マイミュージアムボックス」を展示した。三重県立盲学校の協力のもと開発した「三重の触地図」や「森のカケラ」などのさわって学ぶ教材もあわせて紹介した。加えて、VR 映像で MieMu の基本展示室を仮想体験できるコーナーを設置した。当館学芸員が離島と大台ヶ原を調査した成果を速報展として紹介した。本展では、紀北町周辺地域の自然と歴史・文化について紹介することで、地域の特徴や魅力を再認識してもらうことを目的とした。			
主な資料	紀北中学校 1 年生生徒のマイミュージアムボックス、旅の道具、東紀州の貝、海浜植物、東紀州の昆虫など			
観覧者数	357 人			
関連事業				
行事名	開催日	会場	人数	講師等
セミナー「貝と海の学び」	平成 31 年 2 月 23 日（土）	東長島公民館 研修室	16	中野優子（伊勢市立御園中学校生徒）・亀井勇希（三重県教育委員会）・山本和彦（尾鷲市）・高重 博（東京都）・当館職員 中野 環
さわって石をみわけよう！	平成 31 年 2 月 24 日（日）	東長島公民館	94	当館ミュージアムパートナー ユニバーサルミュージアムグループ
ワークショップ「MieMu の館長と調べる三葉虫のひみつ」	平成 31 年 2 月 24 日（日）	東長島公民館 研修室	34	当館館長 大野照文
計			144	
担 当	田村香里、中村千恵、大西 到			

## 5 交流創造活動事業

### 5.1 事業の趣旨・目的

三重の自然と歴史・文化に関する知りたい、学びたい、調べたいなどのさまざまなニーズに対応するとともに、県民・利用者、諸団体、館の相互交流の場となることにより、新たな創造や発信へとつなげるために、観覧レファレンス活動事業、学習支援活動事業、諸団体との交流・連携事業を展開する。

### 5.2 観覧レファレンス活動事業

#### 5.2.1 レファレンス活動

今年度からレファレンスカウンターに学芸員が常駐することを廃止し、資料閲覧室をはじめメールや電話で三重の自然と歴史・文化、博物館利用に関する質問や疑問、相談に応じている。廃止に伴う相談件数に大きな変化はなく、利用者が展示を楽しむだけでなく、さまざまな分野の専門家と出会うことができる場を用意し、利用者と情報交換できる場となっている。



## 5.2.2 資料利用(閲覧・特別利用)

公文書館機能をもつ当館では、資料閲覧室において、歴史的公文書をはじめとする収蔵資料の閲覧に対応している。資料閲覧室には、三重の自然と歴史・文化に関する参考図書、三重県行政文書複製物(一部閉架)、三重県公報複製物(一部閉架)等が配架されており自由に閲覧可能である。収蔵庫の収蔵資料、書庫の収蔵図書の閲覧については、事前予約が基本となるが閲覧することができる。また、所定の手続きを行うことにより、収蔵資料の写真掲載等の資料特別利用や資料貸出についても対応を行っている。

### 1) 資料閲覧室の利用内訳

	区分	資料内容	利用者数	閲覧点数
閉架収蔵資料閲覧内訳	自然分野	動物 / 植物 / 鉱物その他	21	486
	人文分野	考古資料 / 絵図・地図 / 刷り物 / 絵葉書 / 歴史資料 / 絵画・墨蹟 / 陶磁器 / 民俗その他	34	194
		写真資料 / 映像資料	0	0
		古文書 (一紙物・整理済文書群 / 典籍類)	25	151
		歴史的公文書 (行政文書・選別移管公文書 / 絵図・地図等) [うち行政利用 (原課職員による業務閲覧) 8人 81点]	97	377
	歴史的公文書 (行政刊行物)	3	4	
	図書	図書 (閉架図書)	28	85
① 閉架収蔵資料閲覧 (利用者数は資料内容毎の重複を差し引いた値)			180	1,297
② 開架資料閲覧		図書 / 複製物 (三重県行政文書・三重県公報) / 映像等	736	
③ その他利用 ※			1,474	
資料閲覧室入室者数合計 (①+②+③)			2,390	

※その他利用：レファレンスサービス、室内展示観覧、室内見学等のみの利用

### 2) 資料特別利用一覧

	資料名	点数	申請者	利用目的	利用内容	申請日
1	三重県水産図解 (鰯漁揚繰網仕方図)	1	団体	出版物等への掲載、デジタル資料への掲載	転載	4月2日
2	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	テレビ放送等	転載	4月4日
3	長田三郎兵衛改津御城下分間絵図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	4月5日
4	内宮天照皇太神宮御祓大麻 / 大神宮御祓大麻	2	団体	学術上の調査研究、教育活動	画像データ	4月12日
5	木型成作藍釉茄子型寄印急須	1	団体	テレビ放送等	画像データ	4月17日
6	刀剣 村正 (寄託資料)	1	団体	学術上の調査研究	熟覧、撮影	4月18日
7	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	4月21日
8	三重県下頑民暴動之事件	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	5月2日
9	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	5月18日

10	三重県水産図解	22	団体	展示資料	画像データ	5月25日
11	三重県下頑民暴動之事件	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	5月26日
12	広重 伊勢参宮 宮川の渡し	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	6月6日
13	常滑産陶器 甕	1	団体	教育活動	画像データ	6月8日
14	安濃津模型	1	団体	教育活動	撮影	6月8日
15	伊勢参宮名所図会 (明星・宮川東岸) / 豊饒御蔭参之図	3	団体	テレビ放送等	画像データ	6月21日
16	小学少年双六	1	団体	出版物等への掲載	転載	6月21日
17	三重県議会関係資料	54	個人	学術上の調査研究、 教育活動	撮影	7月1日
18	伊勢参宮名所図会 (宇治橋)	1	団体	テレビ放送等	画像データ	7月5日
19	ヨコヅナサシガメ / ギンヤンマ / ネ アカヨシヤンマ	36	個人	学術上の調査研究	DNA 利用	7月12日
20	木造阿弥陀如来立像 (寄託資料)	1	団体	出版物等への掲載	撮影	7月16日
21	ニホンカモシカ	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	7月17日
22	木造阿弥陀如来立像 (寄託資料)	1	団体	出版物等への掲載	撮影	7月17日
23	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	7月30日
24	伊勢名所 (宇治橋)	1	団体	テレビ放送等	画像データ	8月7日
25	アンモナイト	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	8月8日
26	一志郡町村分合下調書類関係 / 鈴鹿 安芸河曲安濃一志郡町村分合取調書 付録 / 三重県天甲号達 / 町村制実施 取調書一志郡役所第一課 / 一志郡戸 木村地籍図 ほか	13	個人	教育活動、出版物等 への掲載	撮影	8月8日
27	国貞 勢州鮑取ノ図	1	団体	テレビ放送等	画像データ	8月10日
28	郭外官地絵図 安濃郡津 贅崎砲台	1	団体	テレビ放送等	画像データ	8月13日
29	岩戸神楽の起頭	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月7日
30	山海愛度図絵伊賀煙草入 / 江戸富士 十景之内するが町 / 富士五節句睦月 駿河町	3	団体	出版物等への掲載	画像データ	9月12日
31	鉱物標本 / 化石標本	15	団体	出版物等への掲載	撮影	9月14日
32	床次竹次郎より (員弁) 天春文衛あ て / 有田知事より天春文衛あて / 暴 動一件書類 鎮撫掛 (暴動災害景況 編冊 第五大区、暴奪品并焚出米届 第五大区二三小区)	3	団体	ネットメディアへの 掲載	画像データ	9月16日
33	豊饒御蔭参之図	1	団体	教育活動	画像データ	9月19日
34	豊饒御蔭参之図	1	団体	展示資料	画像データ	9月21日

35	長田三郎兵衛改津御城下分間絵図	1	団体	教育活動、出版物等への掲載	熟覧、画像データ、撮影	9月23日
36	市町町施行（鳥羽市）	1	団体	訴訟用書類への掲載	撮影	9月28日
37	豊饒御蔭参之図	1	団体	学術上の調査研究、教育活動、配布資料への掲載	画像データ	10月11日
38	三重県水産図説（鮫漁蟹婦之図）	1	団体	教育活動	画像データ	10月16日
39	小学少年双六	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	10月23日
40	県境のまち紀和町／ぼくらの憩 熊野少年自然の家／あすをひらく東紀州／ヤーヤー祭尾鷲／健やかな人々みかんの里熊野市	5	団体	テレビ放送等	16mmフィルムのデジタル化	10月24日
41	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	教育活動、出版物等への掲載	画像データ	10月25日
42	モナズ石／黄銅鉱	2	団体	教育活動	画像データ	10月29日
43	豊饒御蔭参之図	1	個人	学術上の調査研究	画像データ	11月7日
44	衣蓋埴輪	2	団体	出版物等への掲載	熟覧、撮影	11月11日
45	三重県下頑民暴動之図／浮絵駿河町呉服屋図／豊饒御蔭参之図	3	団体	教育活動	画像データ	11月13日
46	長田三郎兵衛改津御城下分間絵図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月15日
47	谷家文書 国長・国近道者売券（定永代売渡申道者之事）	1	個人	学術上の調査研究、出版物等への掲載	熟覧、撮影	11月26日
48	分部光嘉書状／吉沢文書／諸家文書	3	団体	学術上の調査研究	熟覧、撮影	11月26日
49	三重郡朝日村地籍図 伊勢国朝明郡小向村全図／同 伊勢国朝明郡柿村全図／同 伊勢国朝明郡埋縄村全図／同 伊勢国朝明郡繩生村全図	4	団体	出版物等への掲載	画像データ	11月27日
50	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	転載	11月29日
51	通常県会原議録昭和18年／県参事会会議録昭和18～19年／県参事会原議録昭和18年／県参事会原議録昭和18～19年	4	団体	業務上の調査	熟覧、撮影	11月29日
52	三重県水産図解	5	団体	教育活動	画像データ	12月4日
53	伊勢参宮名所図会（中川原）	1	団体	テレビ放送等	画像データ	12月4日
54	知事引き継ぎ書（昭和20年）	1	団体	業務上の調査	熟覧、撮影	12月7日
55	浮絵駿河町呉服屋図	1	団体	講演資料への掲載	画像データ	12月14日
56	ウメチビタムシ（大川コレクション）	2	団体	学術上の調査研究	撮影	12月16日
57	谷氏旧蔵文書／九鬼文書／坂口茂旧蔵文書／九鬼守隆書状／内藤忠重書状／藤堂高次書状／大般若波羅蜜多経巻第224	21	団体	学術上の調査研究	熟覧、撮影、施設内での画像公開	12月25日
58	豊饒御蔭参之図	1	団体	教育活動、出版物等への掲載	画像データ	平成31年1月16日

59	三重郡楠村地籍図 伊勢国三重郡吉崎村図 / 同 伊勢国三重郡北五味塚村全図 / 同伊勢国三重郡南五味塚村全図 / 同伊勢国三重郡南川村図 / 同伊勢国北一色村全図 / 同伊勢国三重郡本郷村地籍図面 / 同伊勢国三重郡小倉村図	7	団体	学術上の調査研究、出版物等への掲載	画像データ、複製・複写、撮影	平成31年 1月21日
60	外宮御宮地区図	1	団体	展示資料	撮影	平成31年 1月25日
61	三重郡千種村地籍図	1	個人	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 1月30日
62	ヒメクダヒゲガニ液浸標本	2	個人	学術上の調査研究、出版物等への掲載	熟覧、撮影	平成31年 2月6日
63	北条義時書状	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 2月7日
64	納所道場関係資料（寄託資料）	1	団体	業務上の調査	熟覧	平成31年 2月12日
65	三重県水産図解（鰯漁揚繰網仕方図）	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 2月13日
66	魚類絶滅危惧種標本 ほか	110	団体	学術上の調査研究	熟覧	平成31年 2月14日
67	一志郡町村分合下調書類 / 三重県甲号達	2	個人	出版物等への掲載	撮影	平成31年 2月19日
68	鳥羽城之絵図	1	団体	テレビ放送等	撮影	平成31年 2月19日
69	光氏磯辺遊の図	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 2月20日
70	志摩郡鏡浦地籍図 石鏡村全図 / 志摩郡長岡村地籍図 国崎村全図	2	個人	学術上の調査研究、出版物等への掲載	撮影	平成31年 2月23日
71	三重郡朝日村地籍図 伊勢国朝明郡小向村全図 / 同 伊勢国朝明郡柿村全図 / 同 伊勢国朝明郡埋縄村全図 / 同 伊勢国朝明郡縄生村全図	4	団体	出版物等への掲載	複製・複写、撮影	平成31年 2月27日
72	三重県水産図解（蛸婦焚火ニ躰ヲ温タメ休息ノ圖・鮑漁之圖） / 三重県水産図説（鰯漁蛸婦之圖）	3	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 2月28日
73	豊饒御蔭参之図	1	団体	出版物等への掲載	転載	平成31年 3月4日
74	ミエゾウ全身骨格標本（復元）	1	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 3月8日
75	衣蓋埴輪	2	団体	出版物等への掲載	画像データ	平成31年 3月8日
	合計	382				

### 3) 資料貸出一覧

	資料名	点数	申請者	目的	貸出期間
1	三重県植物誌（上・下）	2	兵庫県人と自然の博物館	学術上の調査研究	5月15日 ～6月30日
2	庚辰游記 / 乙酉掌記 / 乙酉後記 / 丙戌前誌 / 丙戌後記 / 丁亥前記 / 丁亥後記 / 木片勸進	8	北海道博物館	特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」における展示	6月14日 ～9月4日

3	衣蓋埴輪 ほか	6	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市考古博物館開館20周年記念特別展「三重のはにわ大集合」における展示	6月25日 ～10月19日
4	三重県水産図説 / 三重県水産図解	6	名古屋市博物館	特別展「海たび 尾張・知多の海とひとびと」における展示	6月26日 ～9月26日
5	郡町村分合取調帳 飯高・飯野・多気・度会 / 多気郡三和町設置に関する綴 / 多気郡斎明村設置に関する綴	3	斎宮歴史博物館	企画展「斎宮のまわりにも魅力がいっぱい-斎宮で自由研究2-」における展示	7月3日 ～9月14日
6	刀剣 村正 (寄託資料)	1	桑名市博物館	特別企画展「村正Ⅱ-桑名ゆかりの刀剣-」における展示	7月6日 ～11月29日
7	コウガゾウ/エラスモサウルス/トパリュウ(上腕骨・尾椎) レプリカ/アンハングエラ	6	読売新聞大阪本社科学事業推進事務局	「メガ恐竜博2018-巨大化の謎にせまる-」における展示	7月23日 ～9月14日
8	ランドセル	1	志摩市教育委員会	志摩市歴史民俗資料館企画展「戦時下の子どもくらし」における展示	7月25日 ～10月上旬
9	光氏磯辺遊の図 / 二見浦曙図 / 二見ヶ浦之光景 / 伊勢の海士長鮑制之図 / 伊勢古市備前屋踊りの図	5	宇治市源氏物語ミュージアム	リニューアルオープン記念特別企画展「宇治の名所と旅する光氏」における展示	9月4日 ～11月30日
10	鳥居古墳出土資料	19	松戸市立博物館	市制施行75周年・開館25周年記念特別展「ガンダーラ-仏教文化の姿と形-」における展示	9月7日 ～12月18日
11	ヒアリ / アライグマ剥製 ほか	5	伊勢市環境生活部環境課	「伊勢市環境フェア」における展示	10月5日 ～10月9日
12	庚辰遊記 / 乙酉掌記 / 乙酉後記 / 丙戌前誌 / 丙戌後記 / 丁亥前記 / 丁亥後記 / 木片勸進	8	北海道立帯広美術館	特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」における展示	12月7日 ～平成31年 2月28日
13	三重県漁村風景生写真 方座浦(南島町) / 同 南勢町贅浦(度会郡贅浦) / 同 古和浦(南島町) / 同 三重県須賀利 / 同 槌柄浦(鶴倉村) / 北牟婁郡	6	三重県立美術館	企画展「パララドスケープ“風景”をめぐる想像力の現在」における展示	12月15日 ～平成31年 3月31日
	合計	76			

### 5.3 学習支援活動事業

博物館の利用者に、三重の自然と歴史・文化や博物館の活動に対する興味・関心を持つきっかけや深める機会を提供することを目的として、講座やワークショップ、フィールドワークなどの学習支援活動を実施している。

#### 5.3.1 講座

##### 1) 学芸員フリートーク

当館の学芸員がそれぞれの専門分野について講演する講座。平成30年度は全6回開催。

行事名	開催日	会場	人数	講師
紀州藩伊勢国領の行政のしくみ	5月26日(土)	レクチャールーム	15	当館職員 藤谷 彰
三重の幕末と松浦武四郎	7月7日(土)		25	当館職員 太田光俊
こどもと博物館	9月22日(土)		4	当館職員 中村千恵
源平争乱と伊勢・伊賀国	11月24日(土)		31	当館職員 天野秀昭
文化財防火デー／文化財の防災について	平成31年 1月26日(土)		6	当館職員 瀧川和也
身近な作物の魅力を紹介します	平成31年 3月23日(土)		3	当館職員 大西 到
計			84	

## 2) 基本展示スポットガイド

隔月で基本展示の1コーナーを担当学芸員が展示解説する講座。平成30年度は全6回開催。

行事名	開催日	会場	人数	講師
東西交流のさまざまな姿：海路	4月14日(土)	基本展示室	7	当館職員 瀧川和也
大杉谷と大台ヶ原	6月9日(土)		15	当館職員 森田奈菜
文化の交流：武四郎展を前に	8月11日(土・祝)		18	当館職員 太田光俊
鈴鹿山脈	10月13日(土)		21	当館職員 大島康宏
東西交流のさまざまな姿：陸路	12月8日(土)		6	当館職員 星野利幸
三重の大地のなりたち	平成31年 2月9日(土)		29	当館職員 中川良平
計			96	

## 3) 館長と調べる三葉虫のひみつ

行事名	開催日	会場	人数	講師
館長と調べる三葉虫のひみつ	4月28日(土)	実習室	20	当館館長 大野照文
	8月25日(土)		23	
	12月22日(土)		10	
計			53	

## 4) 同定会

海や山、自宅や学校で見つけた動物、植物、化石などの標本を持ち寄って、各分野の専門家と一緒に名前を調べるイベント。

行事名	開催日	会場	人数	講師
標本の名前を調べてみよう (平成30年度同定会)	8月19日(日)	レクチャールーム	67	[昆虫] 乙部 宏(三重昆虫談話会)・当館職員 大島康宏、 [植物] 当館職員 森田奈菜、 [貝類] 当館職員 中野 環、 [脊椎動物] 当館職員 田村香里・佐野 明、[岩石・鉱物] 当館職員 津村善博、[化石] 当館職員 中川良平



## 5) さんちゃんのお食事会

館内で飼育しているオオサンショウウオの給餌を公開し、観察する講座。毎月1回開催。

行事名	開催日	会場	人数	講師
さんちゃんのお食事会	4月14日(土)	オオサンショウウオ 観察水槽前	68	当館職員 田村香里・稲垣 玲弥
	5月12日(土)		53	
	6月9日(土)		60	
	7月14日(土)		94	
	8月14日(土)		119	
	9月8日(土)		73	
	10月21日(日)		56	
	11月10日(土)		39	
	12月23日(土)		36	
	平成31年1月12日(土)		50	
	平成31年2月10日(土)		63	
	平成31年3月9日(土)		59	
	計			

## 6) わくわくワークショップ

1ヶ月に1回程度実施する自由参加型の講座。

行事名	開催日	会場	人数	講師
はまぐりで貝合わせにチャレンジ	4月15日(日)	学習交流 スペース	147	当館職員 稲垣玲弥
フィールドサインをさがそう	5月20日(日)		29	当館職員 稲垣玲弥
葉っぱのこすりだし図鑑をつくろう	6月17日(日)		162	当館職員 稲垣玲弥
つくって とばそう リングひこうき	7月15日(日)		197	ミュージアムパートナー おもしろ博物館グループ
オリジナル昆虫をつくろう	8月26日(日)		47	当館職員 稲垣玲弥
ばたばた鳥をつくろう	9月16日(日)		100	当館職員 稲垣玲弥
どんぐり図鑑をつくろう	10月21日(日)		68	ミュージアムパートナー おもしろ博物館グループ
ころころどんぐり～芽を出せるかチャレンジ!～	11月18日(日)		35	当館職員 稲垣玲弥
まつぼっくりでX`mas ツリーをつくろう	12月2日(日)		83	当館職員 稲垣玲弥
伊勢型紙でポストカードをつくろう	平成31年 1月20日(日)		80	当館職員 稲垣玲弥
つくってとばそう 空飛ぶおもちゃ	平成31年 2月17日(日)		80	ミュージアムパートナー おもしろ博物館グループ
伊勢型紙でポストカードをつくろう	平成31年 3月17日(日)		72	当館職員 稲垣玲弥
計			1,100	

## 7) おとなのためのコケ講座

コケについての座学とともに、ミュージアムフィールドで採集したコケを顕微鏡で観察し、同定方法などを学ぶ講座。

行事名	開催日	会場	人数	講師
おとなのためのコケ講座	10月20日(土)	実習室および ミュージアム フィールド	10	当館職員 森田奈菜・大島康宏・ 稲垣玲弥・博物館実習生

## 8) 正月かざりづくり体験

ミュージアムパートナーおもしろ博物館づくりグループとの連携イベントで、縄をなうところからしめ縄状の正月かざりをつくる体験講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
正月かざりをつくる	12月16日(日)	交流活動室	15	ミュージアムパートナーおもしろ 博物館グループ・当館職員 宇 河雅之・中村千恵

## 9) 春休みはMieMuへ！「MieMu わくわく♪ウィーク」

平成30年3月24日(土)から4月1日(日)開催の春休み期間中の日替わりイベント

行事名	開催日	会場	人数	講師
こども忍者衣装体験	4月1日(日)	レクチャールーム	52	当館職員 太田光俊
ホネパズルと毛皮しらべ		学習交流スペース	145	当館職員 田村香里・稲垣玲弥
計			197	

## 10) 夏休みはMieMuへ！「わくわく2 Days」

夏休みの自由研究に役立つ簡単な工作体験や昆虫の展示会を開催

行事名	開催日	会場	人数	講師
木片を使った工作体験	8月16日(木) 8月17日(金)	交流展示室	345	当館職員 佐野 明 協力：株式会社オオコーチ
カブトムシ・クワガタムシの展示会(生体および標本)		交流活動室	432	当館職員 大島康宏
世界最重のカブトムシ幼虫観察			72	
テントウムシぬり絵		学習交流スペース	155	当館職員 稲垣玲弥
貝がらを使った工作体験	8月17日(金)		203	当館職員 寺本久彦
計			1,207	

## 11) 貝のストラップづくり

三重県産の貝でストラップづくりをする。

行事名	開催日	会場	人数	講師
副館長の貝ストラップづくり	10月21日(日)	学習交流スペース	80	当館副館長 寺本久彦

## 5.3.2 フィールドワーク

### 1) 貝を探してみよう

伊勢湾沿岸に生息する貝の観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
貝を探してみよう	5月19日(土)	松阪市松名瀬町	26	当館職員 中野 環・佐野 明

## 2) さがしてみよう！磯の生物

熊野灘沿岸の磯にすむ生物の観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
さがしてみよう！磯の生物	9月23日(日・祝)	志摩市志摩町片田	12	当館職員 中野 環

## 3) 文化財探訪

学芸員や専門家と一緒に、県内の文化財を訪ね歩く行事

行事名	開催日	会場	人数	講師
松浦武四郎生家をたずねて	11月10日(土)	松浦武四郎記念館 松浦武四郎誕生地など	11	当館職員 星野利幸・中川良平

## 4) 雲出川の石を調べよう

川にあるさまざまな石を観察し、山脈をつくる岩石を考察する自然観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
雲出川の石を調べよう	12月2日(日)	津市雲出川流域	27	当館職員 中川良平・津村善博

## 5) 身近な冬鳥を観察しよう

鳥類の剥製を館内でじっくり観察してから、博物館周辺の野外で鳥類を観察する自然観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
身近な冬鳥を観察しよう	12月9日(日)	当館館内および 当館周辺の池	17	平井正志(日本野鳥の会三重)・ 木村京子(三重県環境情報学習 センター)・当館職員 田村香里・ 稲垣玲弥
	平成31年 3月10日(日)	当館館内および 安濃川河口	40	

## 6) 尾鷲層群の化石をたずねて

地層の様子や採集した化石を観察し、地層のでき方を考察する自然観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
尾鷲層群の化石をたずねて	平成31年 2月3日(日)	尾鷲市向井の岡ノ川流域	30	当館職員 中川良平・津村善博

### 5.3.3 MieMu の日

開館日である4月19日を「MieMuの日」と銘打ち、毎年「MieMuの日」前後の日曜日に記念イベントを実施し、利用者の皆さんや地域の方々に日頃の感謝を伝える取組を行っている。平成30年度は次の催しを行った。

- 1 実施日時 4月15日(日)午前9時から午後7時まで
- 2 当日の特典 「家庭の日」にあたるため、すべての展示を2割引
- 3 イベント

行事名	会場	概要	人数
オレンジグッズを着て、MieMuに行こう！	エントランスホール	オレンジグッズを身に付けてきた方に缶バッジをプレゼントする。	—
ゆめはまちゃんと学ぼう「知りたい貝？〇×クイズ」	学習交流スペース	企画展「貝のヒミツ」にちなみ、はまぐりのまち桑名のご当地キャラクター「ゆめはまちゃん」と、意外と知らない貝のヒミツを〇×クイズで学ぶ。	57
貝の魅力発見☆ワードラリー	基本展示室 企画展示室	基本展示および企画展を観覧し、貝にまつわる言葉を集めてキーワードを完成させる。	—

季節のワークショップ 「こいのぼりをつくってMieMu にかざろう」	学習交流スペース	当館のこども体験展示室に飾るこいのぼりをつくる。	64
--	----------	--------------------------	----

### 5.3.4 情報誌

博物館の展示や資料、活動に関する情報を発信するために、博物館情報誌「みえんしす」を刊行した。

- ・三重県総合博物館情報誌「みえんしす」(第21号～第24号)

21号(7月4日発行)	特集 第20回企画展	おもちゃ大好き 郷土玩具とおもちゃの歴史
22号(9月11日発行)	特集 第21回企画展	幕末維新を生きた旅の巨人
23号(12月11日発行)	特集 第22回企画展	くらしの道具～いま・むかし～
24号(平成31年3月19日発行)	特集 第23回企画展	ボタニカル・デザイン—植物のかたち、その観察—

### 5.3.5 人材育成支援活動

#### 1) 博物館学芸員実習

各大学における「博物館学芸員資格」の必須科目である「博物館実習」を希望する学生の受け入れを行った。

##### ①A コース

[ 実習生 ] 三重大学(4名)、皇學館大学(4名)、同志社女子大学(2名)、中京大学、立正大学、立命館大学、愛知淑徳大学、愛知大学、龍谷大学、大阪国際大学(各1名)

日 程	概 要
8月15日(水)	ガイダンス、博物館の概要、総合博物館のおもしろさ、館内見学、保存科学入門、博物館学入門、課題発表会
8月16日(木)	収蔵庫の見学、公文書整理作業
8月17日(金)	自然史資料とその取り扱い、骨格標本の作製
8月18日(土)	歴史資料の取り扱い、文書の目録作成
8月19日(日)	「同定会」補助、ワークショップ補助、企画展動向調査

##### ②B コース (三重大学との相互協定による連携事業として実施)

[ 実習生 ] 三重大学(13名)

脊椎動物(学芸員1名)、海産生物(学芸員2名)、昆虫・植物(学芸員2名)、地学(学芸員1名)の4班にわかれ、各学芸員の指導の下、それぞれ5日間の実習を行った。

#### 2) インターンシップ

博物館での就業経験を希望する学生の受け入れを行った。

[ 実習生 ] 三重大学(1名) 8月15日(水)～9月2日(日)の内5日間

日 程	概 要
8月30日(木)	施設の概要説明、館内案内、企画展の紹介
8月31日(金)	来館者対応(子ども対応)
9月1日(土)	展示資料の撤収時の調査との突合せ作業、リストチェック
9月3日(月)	展示資料の撤収時の調査との突合せ作業、リストチェック
9月4日(火)	展示資料の撤収時の調査との突合せ作業、リストチェック

## 5.4 他機関・諸団体との交流・連携事業

博物館活動の基本的な活動の視点である「協創」と「連携」に基づき、他機関・諸団体との交流と連携を深め、新たな創造と発信の機会とするために、連携のための協議、連携・協力による講演会や各種ワークショップ、展示、博物館の活用等を実施した。

### 5.4.1 学校

#### 1) 遠足・社会見学等の利用

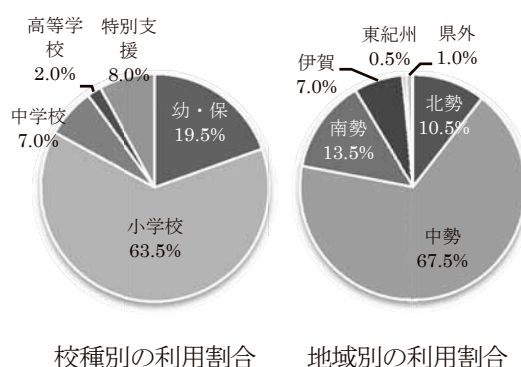
平成30年度の学校利用については幼稚園（所）39園、小学校127校、中学校14校、高等学校4校、特別支援学校16校の計200校であった。また、地域別の利用状況については、北勢地区21校、中勢地区135校、南勢地区27校、伊賀地区14校、東紀州地区1校、県外2校であった。また、小学校3年生で学ぶ「昔のくらし」の学習時期に合わせて企画展「くらしの道具」を開催し、会期中に展示見学のために来館した小学校16校に、学芸員が道具の使用体験を交えた解説対応を行った。

校種別の利用数

	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援
実数	39	127	14	4	16
割合 (%)	19.5%	63.5%	7.0%	2.0%	8.0%

地域別の利用校数

	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	県外
実数	21	135	27	14	1	2
割合 (%)	10.5%	67.5%	13.5%	7.0%	0.5%	1.0%



#### 2) 教職員研修

博物館と学校教育との連携の観点から、教職員の方々に博物館の活動や施設等について知っていただき、学校教育における博物館活用を促進するために講師派遣、教員研修（個人・団体）の受入を行った。

<教員研修>

8月9日（木） 教員のための博物館の日 19名（総合教育センター研修講座も兼ねる）

8月18日（土） 津市教育研究会理科部会

<教員研修（社会体験研修）>

小学校5校、中学校2校、合計7校の受入を行った。

津市立明合小学校 8月2日（木）・5日（日） 1名

津市立一身田小学校 8月4日（土）・5日（日） 1名

津市立一志東小学校 8月2日（木）・5日（日） 1名、8月3日（金） 2名

津市立藤水小学校 8月2日（木）・3日（金） 1名

津市立南が丘小学校 8月2日（木）・5日（日） 2名

津市立一身田中学校 8月2日（木） 3名、8月3日（金） 1名、8月5日（日） 4名

津市立朝陽中学校 8月2日（木）・5日（日） 1名

#### 3) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業への協力

三重県立津高等学校 SSH 探求活動として学芸員2名が講座を担当した。

古代中世の住所について 担当：星野利幸 8月2日（木）

仏像の種類とかたちについて 担当：瀧川和也 8月3日（金）

#### 4) 中学生の職場体験

7校の受入れを行った。

津市立西郊中学校 2年生 3名 9月5日(水)～9月7日(金)  
津市立南郊中学校 2年生 1名 9月11日(火)～9月13日(木)  
津市立久居東中学校 2年生 3名 9月12日(水)～9月14日(金)  
津市立南が丘中学校 2年生 3名 9月12日(水)～9月14日(金)  
津市立一身田中学校 2年生 3名 9月12日(水)～9月14日(金)  
津市立朝陽中学校 2年生 2名 9月12日(水)～9月14日(金)  
津市立橋南中学校 2年生 3名 9月19日(水)～9月21日(金)

#### 5) 高校生の職場体験

2校の受入れを行った。

三重県立聾学校 2年生 1名 6月13日(水)～6月15日(金)  
三重県立みえ夢学園高等学校 2年生 2名 7月25日(水)～7月29日(日)

#### 6) クラブ活動

三重中学・三重高等学校科学技術部 「中高生が教える貝がらストラップ作り」5月5日(土)・6日(日)  
高田高校科学部 「科学体験講座」 7月21日(土)・22日(日)

#### 7) 学校への移動展示

三重県立盲学校移動展示「さわって みる ミュージアム」 11月10日(土) ※4.8 移動展示参照

#### 8) みえ科学探究フォーラム2018

三重県教育委員会が主催したもので、高等学校の生徒が、小学校、中学校の児童・生徒に科学を体験する講座を行うことで、児童・生徒が持つ自然科学・社会科学・人文科学に対する興味・関心をさらに高める機会を提供。平成31年2月16日(土)

#### 9) 学校への出前授業

津市立片田小学校「松林池・尾ヶ峰周辺の自然観察活動(3～6年生)」 6月13日(水)  
紀北町立紀北中学校「館長と調べる三葉虫のひみつ」7月2日(月)  
三重県立盲学校「さわってみる博物館資料(電話機・とうみ)」7月3日(火)  
四日市市立富田小学校「館長と調べる三葉虫のひみつ」7月11日(水)・12日(木)  
津市立美杉小学校「東大寺大仏について」9月26日(水)  
津市立大三小学校「東大寺大仏について」9月27日(木)  
南伊勢町立南島中学校「体験学習」12月1日(土)  
鈴鹿市立一ノ宮小学校「館長と調べる三葉虫のひみつ」12月18日(火)、19日(水)  
津市立南立誠小学校「くらしの道具」平成31年1月24日(木)  
津市立高茶屋小学校「くらしの道具」平成31年1月30日(水)  
津市立藤水小学校「くらしの道具」平成31年2月1日(金)  
津市立養正小学校「くらしの道具」平成31年2月5日(火)  
松阪市立松江小学校「くらしの道具」平成31年2月5日(火)  
東員町立三和小学校「くらしの道具」平成31年2月6日(水)  
津市立敬和小学校「くらしの道具」平成31年2月14日(木)  
津市立修成小学校「くらしの道具」平成31年2月15日(金)



## 10) 職員の長期研修

美濃加茂市民ミュージアムに博学連携についての長期研修を実施。職員 1 名を派遣。(4月1日(日)～9月30日(日))

## 5.4.2 大学

### 1) 三重大学

三重大学とは、「三重県総合博物館と国立大学法人三重大学との相互協力協定」(平成26年2月締結)に基づき、三重の自然と歴史・文化などのかけがえのない地域資源を活かし、文化振興と地域づくりに寄与することを目的として、相互協力による連携事業に取り組んでいる。また、連携の協議機関として、連絡調整会議を設置し、定期的に事業調整・協議を行っている。

#### ① 連携事業

##### (1) 研究

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
ウミガメ類の研究	平成27年度～(継続中)	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したウミガメ類の研究(担当:標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)	—	生物資源学部三重大学サークル「かめっぷり」・吉岡 基(生物資源学部)
スナメリ類の研究	平成27年度～(継続中)	三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾に漂着したスナメリ類の研究(担当:標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存) ※平成30年度～スナメリネットワークの活動も含む。	—	生物資源学部三重大学サークル「かめっぷり」・吉岡 基(生物資源学部)

##### (2) 博物館実習

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
博物館実習 A コース	8月15日(水)～8月19日(日)	当館	学芸員資格取得にかかる実習	4	当館職員 中野 環
博物館実習 B コース	8月5日(日)～12月9日(日)	当館	学芸員資格取得にかかる実習	13	当館職員 中野 環

##### (3) インターンシップ

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
インターンシップ	8月15日(水)～9月2日(日)	当館	博物館での就労経験	1	当館職員 宇河雅之・太田光俊

##### (4) 博物館学芸員養成課程授業 [授業協力]

事業名	期間等	会場	内容	参加学生数	担当者
博物館概論	5月13日(日)	当館	博物館の展示等活動についての講義及び施設見学	—	岡野智子(教育学部非常勤講師)
博物館実習	5月16日(水) 6月13日(水) 7月11日(水)	当館	①バックヤード等の施設見学、②保存環境に関する施設・設備見学、③歴史資料の資料取扱の研修	—	清水みき(人文学部非常勤講師)

## (5) その他

事業名	期間等	会場	内容	参加 学生数	担当者
地域連携ゾーン文化観光交流研究会	平成 29 年～(継続中)	高野尾花街道朝津味	伊勢別街道を中心とする文化・観光振興のための会議	—	磯野 拓(教育学部)
教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「日本理解特殊講義 三重の歴史と文化」ゲストスピーカー	4 月 25 日(水)	当館	三重県の地学概説、博物館基本展示室の詳細説明	16	鈴木幸子(地域人材教育開発機構)
日本学会議 サイエンスカフェ	5 月 8 日(火)	三重県立熊野古道センター	「南海トラフを考える」を話題にした講演、木村学東京大学名誉教授「南海トラフと海洋掘削」、津村善博三重県総合博物館嘱託学芸員「東紀州ジオパーク構想」	61	春山成子(生物資源学部)
施設見学(教養教育院)	5 月 13 日(日)	当館	教養科目を受講の 1 年生 11 名を対象	—	福田智子(教養教育院)
これで二枚貝のからだのつくりがわかる 二枚貝の解剖モデルをつくろう	5 月 27 日(日)	当館	教育学部理科教育コースの学生によるモデル作成体験。企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」関連連携事業	32	後藤太郎(教育学部)
教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「三重学 食と観光実践」における博物館見学対応	6 月 17 日(土)	当館	博物館見学と展示のトピックの詳細説明(学生 9 名、教員 4 名、他に四日市大学、鈴鹿大学、皇學館大学の学生・教員も受講)	—	鈴木幸子(地域人材教育開発機構)
教育実地研究基礎	7 月 7 日(土)～9 月 2 日(日)	当館	教育学部社会科教育コース 1 年次教育実地研究基礎受講生による来館者対応の補助体験	19	藤田達生(教育学部)
楽しいかんたんてづくりおもちゃワークショップ	8 月 18 日(土)・19 日(日)	当館	教育学部美術教育コースの学生による、おもちゃ工作体験。企画展「おもちゃ大好き」関連企画	224	山田康彦(教育学部)
三重県総合博物館協議会 評価部会の外部委員	8 月 27 日(月)	当館	三重県総合博物館の活動と運営について、2017 年度の取組実績をもとに評価を行う。	—	吉岡 基(生物資源学部)

子どものための科学の祭典	11月3日(土)、4日(日)	三重大学講堂	インゲンチャク、巻貝の捕食方法の観察	—	後藤太郎(教育学部)
教育特別研究 I B (大学院講義)での展示見学	平成31年1月12日(土)	当館	教育学研究科の各専攻生が三重県総合博物館を見学し、基本展示等を活用した授業案を考案し、発表する。	9	平賀伸夫(教育学部)
ジュニアドクター育成塾	平成30年度～	—	小学校5・6年生および中学生を対象に特別な教育プログラムを提供し、その能力等の更なる伸長をめざすもの。※平成30年度については、広報協力のみ	—	後藤太郎(教育学部)

## ②連絡推進会議

三重大学博学連携推進室 加納 哲、山田康彦、塚本 明、大井隆弘、吉岡 基、萩 誠一  
 当館 大野照文、小川知佐子、天野秀昭、宇河雅之、中野 環、太田光俊、中村千恵、寺本久彦(オブザーバー)

- ・第1回 日時 4月25日(水) 会場 当館会議室
- ・第2回 日時 10月26日(火) 会場 当館会議室
- ・第3回 日時 平成31年3月22日(金) 会場 三重大学附属図書館

※特に今年度は今後の博学連携におけるインターンシップ事業活用について協議した。

## 2) 皇學館大学

皇學館大学とは、「三重県総合博物館と皇學館大学との相互協力協定」(平成25年2月締結)に基づき、三重の地域振興のため、双方の知的資産を活用して連携し、三重に関連する地域資源を探求・保存継承・活用発信を行うとともに、地域に伝わる伝統や文化を尊重し、次世代に活躍する人材を育成することを目的として、相互協力による連携事業に取り組んでいる。また、連携の協議機関として、連絡調整会議を設置し、定期的に事業調整・協議を行っている。

### ①連携内容

#### (1) 共同研究

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
皇學館大学 佐川記念神道博物館の所蔵資料を用いた調査・研究	平成29年度～(継続中)	当館	神道博物館所蔵の鏡鑑類コレクションの科学的分析などの共同研究	—	当館職員 間渕 創

#### (2) 博物館実習

事業名	期間等	会場	内容	人数	担当者
博物館実習	8月15日(水)～8月19日(日)	当館	学芸員資格取得にかかる実習	4	当館職員 中野 環

### (3) 博物館学芸員養成課程授業

事業名	期間等	会場	内容	参加 学生数	担当者
博物館実習	7月7日(土)～ 9月2日(日)	当館	展覧会監視業務及び教育 普及事業の補助	16	当館職員 太田光俊
学芸員養成課程授業科 目：「博物館資料論」	12月16日(日)	当館	博物館資料保存論	16	当館職員 間瀬 創・ 天野秀昭
	平成31年 2月19日(水)	当館	博物館資料論	16	

### (4) 授業などでの施設利用・その他 (探求・保存継承・活用発信)

事業名	期間等	会場	内容	参加者	担当者
ワークショップ「寄生 バチはどうやって昆虫 を食べるか観察・実験 してみよう」	8月12日(日)	当館	生物学ゼミ生による昆虫 ワークショップ	240	中松 豊(教育学部)・ 当館職員 大島康宏
参拝見学にともなう博 物館見学	11月1日(水)	当館	—	269	—
ワークショップ「か つおぶしを削って料 理をつくろう」	平成31年 1月20日(日)	当館	家庭科ゼミ生による食に 関するワークショップ。 昔ながらのかつおぶし削 り器を使ってかつおぶし を作り、おにぎりとおお さ汁を作り、試食。企画 展関連行事。※4.2.1企 画展参照	10組 3回	駒田聡子(教育学部)
当館資料を用いた古 文書調査	平成31年 2月20日(水) ～22日(金)	当館	当館所蔵の古文書等の取 扱い、整理方法等の講義 及び実習	20	岡野友彦(文学部)

### ②連絡推進会議

- 皇學館大学研究開発推進センター 大島信生、中松 豊、大平和典、浦野綾子、大井恵子  
当館 大野照文、小川知佐子、瀧川和也、藤谷 彰、太田光俊、中村  
千恵
- ・第1回 日時 7月5日(水) 会場 当館会議室
  - ・第2回 日時 11月21日(水) 会場 皇學館大学佐川記念神道博物館会議室

### 5.4.3 博物館

県内博物館の多くの施設が加盟する三重県博物館協会の事務局が当館に置かれていることから、県内博物館との全体的な連携は主に同協会事業を兼ねて行っている。

また、県外の博物館との関係では、全国組織である日本博物館協会、同近畿支部、全国科学博物館協議会、全国歴史民俗系博物館協議会に加盟している。また、岐阜県博物館との連携事業を実施した。

## 1) 三重県博物館協会

三重県博物館協会は、昭和 48 年に三重県内の博物館園等の相互連携を密にし、博物館事業等の普及発展を図り、三重県の文化の進展に寄与することを目的として設立され、平成 30 年度には県内博物館の 50 機関 66 施設が加盟している。当館館長が理事に選任され、また、当館が協会事務局を引き受けている。

### 1 総会・理事会・運営委員会

事業名	開催日	会場	人数	内容
第 1 回運営委員会	4 月 27 日(金)	当館会議室	—	平成 29 年度事業報告・決算、平成 30 年度事業計画・予算、三博協 50 周年事業、規約等の制定・改正 等
第 1 回理事会	5 月 23 日(水)	当館会議室	—	平成 29 年度事業・決算報告、平成 30 年度事業計画・予算(案)、三博協 50 周年事業、規約等の改正 等
総会	6 月 27 日(水)	当館 レクチャールーム	39 館、個人会員 1 名	平成 29 年度事業・決算報告、平成 30 年度事業計画・予算 等
第 2 回運営委員会	8 月 29 日(水)	当館会議室	—	平成 30 年度事業、規約類の制定・改定 等
第 2 回理事会	9 月 5 日(水)	当館交流活動室	—	平成 30 年度事業計画、三博協の運営体制、三博協 50 周年事業 等
第 3 回運営委員会	12 月 6 日(木)	当館会議室	—	規約等の改定、平成 30 年度事業、災害時の連絡網 等
第 3 回理事会	平成 31 年 1 月 16 日(水)	真珠博物館	—	規則・規定類の制定と改定、来年度の東海三県博物館協会研究交流会(三重県)、災害時の連絡網、運営体制、50 周年事業の準備体制、理事・運営委員の改選 等
第 4 回運営委員会	平成 31 年 2 月 27 日(水)	当館会議室	—	規約等の改定、平成 31 年度事業 等
第 4 回理事会	平成 31 年 3 月 14 日(木)	当館会議室	—	規則・規定類の制定と改定、運営体制、理事・運営委員の改選、来年度の東海三県博物館協会研究交流会(三重県)、平成 31 年度事業、50 周年事業の準備体制 等

### 2 研修事業

事業名	開催日	会場	人数	内容
会員館ネットワーク強化事業 情報交換会	6 月 27 日(水) ※総会終了後に実施	当館 レクチャールーム	28	—
会員館スキルアップ研修 技術研修(展示研修)	10 月 4 日(木)	斎宮歴史博物館	9	(斎宮歴史博物館職員の展示設営を实地見学)
会員館スキルアップ研修 技術研修(展示研修)	10 月 26 日 (金)	鈴鹿市考古博物館	9	(鈴鹿市考古博物館職員の展示設営を实地見学)
会員館ネットワーク強化 事業施設見学会	11 月 9 日(金)	澄懷堂美術館	8	—
マネジメント研修 「博物館を元気にするために～身近なデータの分析・評価から改善～」	平成 31 年 1 月 23 日(水)	四日市市立博物館	22	高井健司(大阪市経済戦略局博物館運営企画室経営形態担当課長)
会員館スキルアップ研修 技術研修(梱包研修)	平成 31 年 3 月 6 日(水)	当館レクチャールーム	10	日本通運株式会社三重支店職員
計			86	



### 3 三重県博物館協会教育普及事業

事業名	開催日	会場	人数	講師
公開講座「ミュージアム・トーク みえものがたり」「生誕 200 年 松浦武四郎と幕末の伊勢・志摩」	平成 31 年 2 月 11 日(月・祝)	鳥羽市商工 会議所	40	山本 命 (松浦武四郎記念館)
計			40	

#### 4 博物館関係情報共有事業

三重県博物館協会より第 66 回全国博物館大会(東京)へ会員館園職員 1 名を派遣。平成 29 年第 65 回全国博物館大会(大分)に参加した当館職員中村千恵の研修報告を平成 30 年度総会終了後に実施

#### 5 三重県博物館協会広報 PR 事業

県内外への発信活動として、理事が中心となり、休眠状態になっていた協会のブログを再度展開する取組を検討

#### 6 東海三県博物館研究交流会

愛知県博物館協会・岐阜県博物館協会・三重県博物館協会が主催

日時：10 月 19 日(金)

会場：飛騨高山まちの博物館 1階 研修室(岐阜県高山市)

テーマ：①ミュージアムレスキューの現状と今後

事例報告「三重県における自然災害時の博物館等によるネットワークの現状」

発表者：間渕 創 (当館職員)

テーマ：②小規模館だからこそできる取り組み

事例報告「松阪市立歴史民俗資料館の取り組みー立地を活かしてー」

発表者：杉山 亜沙佳 (松阪市立歴史民俗資料館 学芸員)

#### 7 災害発生時の相互協力事業

○台風等の災害発生時の情報調査

災害発生時に、県教育委員会社会教育・文化財保護課、環境生活部文化振興課県史編さん班、三重県博物館協会事務局(当館)の三者で情報集約と相互共有を行った。

○災害時の連絡網整備

平成 30 年度総会資料 現在の一斉メールでの連絡体制についてや、各地域で拠点となる館を決めて小エリアにおける連携についても検討した。

○災害時の対応マニュアル作成

「災害時の相互協力、その他機関、団体との連絡及び協力に関する規約」をもとに、災害時の対応マニュアル作成について検討した。

○災害対応の物資備蓄

昨年度に続き、災害対応物資の追加備蓄を実施した。

### 2) 岐阜県博物館交流企画

三重県総合博物館と岐阜県博物館において、相互の資料貸借、連携企画事業の実施、講座講師の相互派遣、情報の相互発信などの連携を行うことにより、相互の魅力アップを図るとともに利用者にとって魅力的な博物館づくりを協働して推進する。

事業名	開催日	会場	人数	講師
「世界最大の二枚貝～シカマイアとは何～」	6 月 3 日(日)	当館レクチャールーム	25	松本正樹 (岐阜県博物館 地学担当職員)
「お伊勢参りの今昔～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる～」	10 月 6 日(土)	岐阜県博物館	60	当館職員 太田光俊
計			85	

#### 5.4.4 文化交流ゾーン

三重県では、三重県総合文化センター(三重県文化会館・三重県生涯学習センター・三重県男女共同参画センター)、三重県立図書館、三重県立美術館及び当館を含む地域を文化交流ゾーンと捉え、全体としての魅力を高めることで、より多くの人が訪れ、さまざまな文化に接し、感性を高めることができる場の形成をめざしている。

このため、文化交流ゾーン各館に斎宮歴史博物館を加えた県立文化施設では、各館長による文化交流ゾーン関係館長会議、また、その実務レベルの文化交流ゾーン関係施設課長等会議を毎月定期的に行い、連携強化を図っている。会議では、各館の運営や事業に関する情報の交換・共有をはじめ、文化交流ゾーンの利用促進に向けた全体広報、社会見学の受入や企画展・講座・イベントなどかかわる連携について協議を行い、個々の連携事業の実施につなげている。また、特に、隣接する三重県総合文化センターとは事務連絡会議、駐車場会議を開催し、相互の円滑な日常的運営に努めている。

##### 1) 総合文化センター

8月5日(日)に三重県総合文化センターで開催されたM祭の一会場として、下記の事業を連携して実施した。

- ・わくわくワークショップ 「さるはじき」をつくろう！ 会場：学習交流スペース  
参加者数：306名
- ・ミュージアムパートナーフェスタ MieMu であそぼう！ 参加者数：700名

##### 2) 県立図書館

企画展の開催に合わせ、相互利用の促進を図るための取組を行った。主に、図書館から博物館へ来館する人の流れを生み出すことを意図して、図書館内での企画展に関するPR展示と関連図書の展示などを行った。

《実施内容》

- ・第19回企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」 図書館内PR展示
- ・第20回企画展「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」 図書館内PR展示
- ・第21回企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」 図書館内PR展示
- ・第22回企画展「くらしの道具 ～いま・むかし～特集“三重の伝統産業”」 図書館内PR展示

#### 5.4.5 国縣市町など

##### 1) 三重県歴史的・文化的資産保存活用連携ネットワーク（みえ歴史ネット）

県・市町・関係諸機関が連携し、地域の歴史的文化的資産の保存と活用を図ることを目的とし、平成23年6月、県内25市町32機関と県3機関が加入して「三重県歴史的・文化的資産保存活用連携ネットワーク」が発足した。その後、加盟機関が変化し、平成31年3月末現在、県内26市町29機関、県3機関が加入している。平成30年度は、下記のとおり2回の会議を実施した。

第1回 三重県歴史的・文化的資産保存活用連携ネットワーク会議

日時：7月13日（金）

会場：当館 レクチャールーム

主な内容：今年度の取り組み、所蔵確認調査・現況確認調査等の依頼。

第2回 三重県歴史的・文化的資産保存活用連携ネットワーク会議

日時：平成31年3月14日（木）

会場：当館 レクチャールーム

主な内容：第1回会議以降の進捗状況等確認。今後のネットワーク活動。

## 2) 公文書館関係

公文書館関係機関開催の会議等へ参加した。

全国公文書館長会議 日時：6月7日(木)～8日(金) 会場：東京都

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)近畿部会総会

日時：6月22日(金) 会場：京都市

東海北陸地区公文書等保存利用事務協議会 日時：10月19日(金) 会場：名古屋市

公文書館ベンチマーキング 日時：12月6日(木)～7日(金) 会場：鳥取県立公文書館、香川県立文書館

## 3) 文化財保存についての地域協力

地域にある文化財の保存・活用への協力は当館の使命としており、文化財の保存や修復方法に関する問い合わせへの回答・助言を行うとともに、必要に応じて当館の保存科学担当者が環境調査や資料分析を行った。

主な内容としては、収蔵施設等の施設設備や文化財防災に関する助言・講演、温度/湿度・化学物質・生物被害等についての測定と管理についての助言及び、X線透過撮影や蛍光X線による文化財の分析であり、平成30年度は次の対応を行った。

環境調査及び文化財調査の対応件数 18件

環境管理についての助言等の件数 8件

### 5.4.6 その他の諸機関・諸団体

機関・団体名	事業名	期間	会場	概要	人数
双翅目談話会	双翅目談話会 第23回総会	4月7日(土)	実習室	双翅目の同定および講演会	25
桑名市	ゆめはまちゃんと学ぼう「知りたい貝?〇×クイズ」	4月15日(日)	学習交流スペース	MieMuの日関連イベント	57
三重県水産研究所	「海をきれいにする二枚貝のパワーを体験しよう」	5月3日(木・祝)	実習室	※企画展関連事業4-2を参照	70
梅村学園三重中学校・三重高等学校	「中高校生が教える」貝からストラップづくり	5月5日(土・祝)	学習交流スペースおよびウッドデッキ	※企画展関連事業4-2を参照	368
		5月6日(日)			425
三重県農林水産部みどり共生推進課	三重県野生生物保護啓発ポスターコンクール作品展	5月10日(木)～5月23日(水)	学習交流スペース	三重県野生生物保護啓発ポスターコンクール作品11点	—
三重県農林水産部みどり共生推進課	ミエトイ・キャラバン in MieMu	7月7日(土)～9月2日(日)	交流展示室	三重の木のおもちゃ遊具とのふれあいイベント	32,627
津おもちゃ診療所	おもちゃの病院出張診断	7月8日(日) 7月28日(土) 8月12日(日)	エントランス	※企画展関連事業4-2を参照	84
三重県農林水産部みどり共生推進課	木のスプーンとフォーク作り	7月14日(土)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。用意された木の型からスプーンやフォークを作る。(指導：三重森林インストラクター会)	51
鉄道おもちゃ博物館	巨大プラスチックレール 鉄道おもちゃ運転会	7月14日(土) 7月15日(日)	交流展示室	※企画展関連事業4-2を参照	—
三重県立図書館	実践! 大人も楽しむ虫の調べ方講座	7月15日(日)	実習室	100年以上前の図鑑や、年代や経験によって活用が異なる	35

				図鑑等を座学で紹介。また、参加者がミュージアムフィールドで実際に見つけた昆虫について、図鑑を使って調べた。	
三重県農林水産部 みどり共生推進課	「鳥寄せ笛」作り	7月15日(日)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。バードコールとことり笛を作る。(指導:手づくり木工房「春と木の風」)	18
三重県農林水産部 みどり共生推進課	草木染め	7月16日(月・祝)	実習室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。フジの葉から染料を作りハンカチを染める。(指導:奥川次郎氏)	33
株式会社ロボネット	大人のための知育玩具活用講座	7月16日(月・祝)	レクチャールーム	※企画展関連事業4-2を参照	7
ウミガメネットワーク	ウミガメ学習会	7月16日(月・祝)	交流活動室	平成29年3月30日開催した環境学習会の発表内容の報告	8
三重県農林水産部 みどり共生推進課	ウエルカムボード作り	7月19日(木)	交流展示室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。好きな色の板と文字を選び、オリジナルのボードを作る。(指導:クラフトクラブ・ゴリサン)	63
		7月20日(金)			43
三重県戦略企画部 戦略企画総務課	平和への想いを次の世代へ～平和に関する企画展2018～	7月21日(土)～29日(日)	学習交流スペース	平和に関する企画展2018	—
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木製あんどん作り	7月21日(土)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重で育った木を使って行灯を作る。(指導:馬場建具店)	中止
		7月22日(日)			2 午後 中止
本の王国 文化センター前店	ミニ四駆を走らせよう!	7月21日(土) 7月22日(日)	交流展示室	※企画展関連事業4-2を参照	162
高田高等学校	高田高校サイエンスショー	7月22日(土)～23日(日)	実習室	高校生によるサイエンスショー	200
三重県農林水産部 みどり共生推進課	葉っぱを見てみよう	7月24日(火)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。葉っぱの分類シート作り、間伐材を使った工作、木の板に絵を描く。(指導:藤川和彦氏)	9
	間伐材の工作				20
	親子でお絵かき				15
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木のおもちゃ「さいころとぶんぶんゴマ」作り	7月25日(水)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。さいころとぶんぶんゴマを作る(指導:森の研究所 FOREST MANAGEMENT LABO)	66
三重県農林水産部 みどり共生推進課	三重の木の「おはし」作り	7月26日(木)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重の木を使ったお箸を作る。(指導:三重県農林水産部森林・林業経営課木材利用推進班)	88
三重県農林水産部 みどり共生推進課	昆虫のはなし	7月27日(金)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。自由研究に活かせる昆虫標本のまとめ方を学ぶ(指導:刀根定良氏)	31

三重県農林水産部 みどり共生推進課	森の木からのコースター作り	7月28日(土)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。伝統的な木工技術「組子」のコースターを作る。(指導:馬場建具店)	52
三重県水産研究所	夏休み特別企画「三重県水産研究所ってどんなところ？」	7月28日(土)	実習室	三重県水産研究所の成果発表	340
三重県戦略企画部 戦略企画総務課	県内戦争体験者との座談会	7月28日(土) 7月29日(日)	レクチャールーム	平和に関する企画展2018 関連行事	—
有限会社大河内	変形合体ネジを組み合わせよう!	7月28日(土) 7月29日(日)	交流展示室	※企画展関連事業4-2を参照	
三重県農林水産部 みどり共生推進課	カホン作り	7月29日(日)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重の木で打楽器カホンを作る。(指導:株式会社木神楽)	19
三重県農林水産部 みどり共生推進課	葉っぱをみてみよう	7月31日(火)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。葉っぱの分類シート作り、間伐材を使った工作、木の板に絵を描く。(指導:藤川和彦氏)	9
	間伐材の工作				28
	親子でお絵かき				47
三重県農林水産部 みどり共生推進課	流木とあそび	8月3日(金)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。流木や木の実を使った自由創作。(指導:山根由士氏)	63
		8月4日(土)			36
津駅前郵便局	絵手紙体験教室	8月4日(土)	学習交流スペース	絵手紙制作のワークショップ	70
三重県農林水産部 みどり共生推進課	森のかけら標本箱作り	8月7日(火)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。森の実や葉を箱に貼り付けて標本箱を作る。(指導:kicoris キコリス)	51
	アトラクション				自由参加
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木のおもちゃ「ぼっくり」作り	8月8日(水)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。木材を磨き、ぼっくりを作る。(指導:森の研究所 FOREST MANAGEMENT LABO)	54
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木のアルファベットパズル作り	8月9日(木)	交流展示室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重の木でパズルを作る。(指導:三重県林業研究所)	38
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木の実と貝殻でフォトフレーム作り	8月10日(金)	交流展示室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。木の実や貝殻を使ってフォトフレームを作る。(指導:三重県環境学習情報センター)	52
三重県農林水産部 みどり共生推進課	鍋しき作り	8月18日(土)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。日本の木から選んでオリジナルの鍋敷き、実際に乗れるキッズバイクを作る(指導:中井木工)	8
	キッズバイク作り				0
三重大学美術教育 コース	楽しいかんたんてづくりおもちゃワークショップ	8月18日(土)	学習交流スペース	※企画展関連事業4-2を参照	224
		8月19日(日)			



三重県農林水産部 みどり共生推進課	植物標本「森のハーバリウム」作り	8月21日(火)	交流展示室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。森の素材を使ってハーバリウムを作る。(指導：森の研究所 FOREST MANAGEMENT LABO)	42
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木のプランター作り	8月23日(木)	交流展示室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重の木の板を釘で打ってプランターを作る。(指導：三重県木材協同組合連合会)	延期
三重県農林水産部 みどり共生推進課	ミエトイ 木で遊ぶスポーツ 「クップ」体験	8月25日(土)	学習交流スペース	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。木でできた道具を使う、スウェーデン生まれのスポーツ「クップ」を体験する。(指導：三重県クップ協会)	214
		8月26日(日)			391
連合三重・北方領土返還要求三重県民会議	平和パネル展	8月25日(土)～9月11日(火)	学習交流スペース	連合三重平和展示	-
連合三重・北方領土返還要求三重県民会議	映画上映会 アニメ「ひめゆり」	8月25日(土)	レクチャールーム	平和パネル展関連行事	58
三重県農林水産部 みどり共生推進課	木のプランター作り	8月29日(水)	交流活動室	ミエトイ・キャラバン in MieMu 関連事業。三重の木の板を釘で打ってプランターを作る。(指導：三重県木材協同組合連合会)	55
三重県指定文化財等所有者連絡協議会	理事会、総会	8月30日(木)	レクチャールーム		
三重県環境学習情報センター	環境学習指導者養成スキルアップ講座 生態学シリーズ「共存と絶滅」第1回	9月8日(土)	レクチャールーム	環境学習指導者養成講座	25
読売新聞中部支社	第62回日本学生科学賞 三重県展	10月1日(月)～10月9日(火)	レクチャールーム	中・高校生の理科学習に基礎をおいた作品展示	350
三重県農業研究所	キミはイネより強いのか～未来の研究者きっかけプロジェクト～	10月6日(土)	実習室・エントランス	三重県農業研究所の研究成果発表、親子参加型イベント	205
三重県医療保健部 薬務感染症対策課	平成30年度薬物乱用防止ポスター入賞作品展	10月19日(金)～10月24日(水)	学習交流スペース	平成30年度薬物乱用防止ポスター入賞作品36点の展示	—
コウモリの会	コウモリ・フェスティバル in 三重	10月20日(土)～10月21日(日)	レクチャールーム・交流活動室・エントランスほか	コウモリの生態等に関する講演会、コウモリに関する展示とワークショップ	391
三重県医療保健部 食品安全課	平成30年度動物愛護の絵・ポスター入賞作品展	10月24日(水)～10月30日(火)	学習交流スペース	平成30年度動物愛護の絵・ポスター入賞作品11点の展示	—
三重県総務部人事課	三重県職員内定者向け交流会	10月28日(日)	レクチャールーム	採用内定者を対象とした交流会	113
特定非営利活動法人 クロスポイント	第9回三重県高校生スイーツコンテスト	11月3日(土・祝)	交流展示室	第9回三重県高校生スイーツコンテスト表彰	—



三重県立盲学校	盲学校移動展示「さわってみるミュージアム」	11月10日(土)	三重県立盲学校	三重県立盲学校文化祭における博物館移動展示	113
京都大学	京都大学・みえむ未来創成フォーラム「学びの力で未来を拓け」	11月17日(土)	レクチャールーム	「好奇心と学び」「人とのつながり」「地域で育てる学びの力」という3つの観点から、未来を拓く学びの力とは何かを考える講演会	40
ウミガメネットワーク	ウミガメ報告会	11月18日(日)	レクチャールーム	その年に確認されたウミガメの上陸と産卵数、ふ化・脱出個体の数などの報告	45
三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク	第13回子育て応援！ワクワクフェスタ	11月23日(金・祝)	輪中ドーム	昆虫ぬり絵に挑戦しよう	30
三重県教育委員会、三重県指定文化財等所有者連絡協議会、三重県総合博物館	第36回三重県文化財講習会「歴史的建造物の修理と活用」	11月30日(金)	レクチャールーム	県内の文化財に携わる団体等を対象とした講習会	96
三重県環境学習情報センター	環境学習指導者養成スキルアップ講座 生態学シリーズ「共存と絶滅」第2回	12月1日(土)	レクチャールーム	環境学習指導者養成講座	24
全日本博物館学会	全日本博物館学会博物館教育研究会	12月1日(土)	実習室	「展示で伝えられること」をテーマとして、来館者研究や展示開発の事例発表を実施	31
三重昆虫談話会	三重昆虫談話会例会	12月2日(日)	レクチャールーム	三重昆虫談話会による研究発表会	37
三重県下水道公社	第31回下水道ポスターコンクール入賞作品展示	12月4日(火)～16日(日)	エントランス	下水道普及をテーマとした小学生のポスター入選作品展示	—
三重県雇用経済部 三重県営業本部担当課	三重グッドデザイン(工芸品等)展	12月15日(土)～平成31年2月17日(日)	交流展示室	三重ならではの伝統的な技術をいかして作られた、現代のライフスタイルに合うステキな商品の展示を実施	—
三重県環境学習情報センター	地球温暖化防止啓発ポスターコンクール	12月19日(水)～平成31年1月16日(水)	学習交流スペース		—
伊賀市・三重県	伊賀市新庁舎記念イベント MieMu 出前展示「おかえり！ミエゾウ」	平成31年1月24日(木)～3月11日(月)	伊賀市役所1階エントランスホール、三重県伊賀庁舎2階県民ホール	ミエゾウに関するパネル、資料の展示 平成31年2月19日(火)には、MieMu 館長講演会と展示解説を実施	—
三重県総合文化センター	いろんなアーティストになってみよう	平成31年2月3日(日)	実習室	連携事業「透明フィルムに昔の道具を描いて、たくさん発見しよう！」	19
ウミガメネットワーク	ウミガメ報告会	平成31年2月9日(土)	交流活動室	平成30年度に確認されたウミガメの上陸と産卵数、ふ化・脱出個体の数などの報告	19
三重生物教育会	三重生物研究発表会	平成31年2月9日(土)	レクチャールーム	生物分野における実験・観察・調査等の研究記録発表	124
三重県教育委員会	みえ科学探究フォーラム2018(科学体験講座)	平成31年2月16日(土)	実習室、学習交流スペースほか	三重県教育委員会が主催の科学実験講座。県内高等学校が参加	616

公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会	自然と人間の共生フェスタ in 三重	平成 31 年 3 月 2 日(土)	レクチャールーム、学習交流スペース	発表会では、「民俗・文化」、「海」、「里・山」のセッションに分かれ、地元で活動する 10 団体が口頭発表、20 団体がポスター展示を行った	120
三重昆虫談話会	三重昆虫談話会総会	平成 31 年 3 月 3 日(日)	レクチャールーム	三重昆虫談話会による総会、研究発表会	38
三重県農林水産部みどり共生推進課	展示・体験イベント「三重の森林づくり×SDGs」	平成 31 年 3 月 12 日(火) ～3 月 17 日(日)	交流展示室、エントランス	森林や林業への関心を高めるための展示、体験イベント	—
三重県児童相談センター	里親制度普及啓発パネル展示	平成 31 年 3 月 20 日(水) ～4 月 9 日(火)	エントランス	里親制度普及啓発のためのパネル展示と啓発パンフレットの配布	—
中部電力	電気ポスター展示	平成 31 年 3 月 20 日(水) ～3 月 31 日(日)	学習交流スペース	省エネ月間にちなんだ小学生の電気ポスター入選作品展示	—
中部電力	春休み親子電気実見教室	平成 31 年 3 月 30 日(土)	実習室	発電の仕組みを学ぶ、実験、工作の親子教室	95

## 5.5 他機関・団体への協力（職員の諸団体への協力活動）

他機関や団体から依頼を受けて各種委員や講師依頼等を受けて実施した講演や講座について学芸員ごとに講演、講座などの内容（テーマ）、依頼元、開催場所、実施日について記載した。

### 5.5.1 委員、講師等の依頼

大野照文（三重県総合博物館館長）

[賞]

京都市教育功労者

[委員等]

1. 京都大学 名誉教授
2. 三重県博物館協会 理事
3. 三重県立津高等学校のスーパーサイエンスハイスクール研究開発に係る運営指導委員会 委員
4. 三重県立松阪高等学校のスーパーサイエンスハイスクール研究開発に係る運営指導委員会 委員
5. 四日市市文化振興審議会 委員
6. 公益財団法人益富地学会館 理事
7. 公益財団法人体質研究会 理事
8. 公益財団法人日本博物館協会 参与
9. 公益財団法人稲盛財団第 1 回「こども科学博」 企画監修者
10. 京都府 社会教育委員
11. 福井県立恐竜博物館運営協議会 委員
12. 京都国立近代美術館新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業実行委員会 委員
13. 愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業 外部委員
14. 京都大学と京都府教育委員会の連携事業検討委員会 委員
15. 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学運営諮問会議 委員
16. 京都市立堀川高等学校 学術顧問
17. 京都市立日吉ヶ丘高等学校 学術顧問
18. 兵庫県立尼崎小田高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会 委員

[大学講師]

1 放送大学「博物館概論」担当講師

[講師等]

1. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (4月28日)
2. ワークショップ「館長と調べる三葉虫のひみつ」講師, 三重県総合博物館 (4月28日)
3. ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」講師, 三重県総合博物館 (4月29日)
4. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (5月25日)
5. ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」講師, 三重県総合博物館 (5月27日)
6. 放送大学面接授業「探究型古生物学」講師, 放送大学三重学習センター (6月2日-3日)
7. ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」講師, 三重県総合博物館 (6月10日)
8. 岐阜聖徳学園大学教育学部集中講義「博物館概論」講師, 三重県総合博物館 (6月16日-17日)
9. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師, 四日市市立富田小学校 (7月11日-12日)
10. 免許更新講習講師, 京都造形芸術大学 (7月31日)
11. 京都府教育委員会平成30年度小学校教員理科研修講師, 京都大学 (8月1日-8月3日)
12. 京都大学総合博物館夏休み学習教室「体験 EXP02018' 夏」ワークショップ「大人のための学習教室『貝体新書』」講師, 京都大学総合博物館 (8月4日)
13. 平成30年度津市教職員研修会「好奇心リフレッシュ講座」講師, 津市美里社会福祉センター (8月7日)
14. 教員のための博物館の日ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」講師, 三重県総合博物館 (8月9日)
15. 三重県総合博物館博物館実習講義「博物館のおもしろさ」講師, 三重県総合博物館 (8月15日)
16. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (8月24日)
17. ワークショップ「館長と調べる三葉虫のひみつ」講師, 三重県総合博物館 (8月25日)
18. 福井県立大学 集中講義「地圏環境学」講師, 福井県立大学 (8月27日~8月30日)
19. 国際教育学会 (ISE) 公開シンポジウム「学びと創造性」パネルディスカッション「何が創造を生むのかー創造的問題解決」モデレーター, 京都大学百周年時計台記念館交際交流ホール III (9月1日)
20. 平成30年度ミュージアム・エデュケーター研修「貝体新書: おとなが学ぶ二枚貝ー参加者が経験をもとに科学的推理をするプログラム」講師, 東京国立博物館附属黒田記念館 (9月20日)
21. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (9月28日)
22. 平成30年度博物館長研修 講義「三重県総合博物館の経営戦略 現実から夢へ」講師, 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター (10月3日)
23. 講演「対話で築く、強くしなやかな組織~『間違い』を拾って、つなげるコミュニケーション~」講師, 奈良県警察本部 (10月9日)
24. 2018Kyoto University International Forum on Advanced Future Studies organized as a Parallel Session of International Conference on Applied Physics and Mathematics 2018 Chair, Narita Radisson Hotel (10月23日)
25. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (10月26日)
26. 京都大学未来創成フォーラム 講演「学びって何? ~進化を活用してみよう~」講師, 京都大学百周年時計台記念館 (10月27日)
27. 一般社団法人「M-EMS 認証機構」平成30年度「環境セミナー」講演「弄山・武四郎・竹斎: 我々は三重の先人たちを大きく超えられるか?」講師, アストホール (11月7日)
28. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師, 京都府立洛東高等学校 (11月9日)
29. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師, 宇治田原町立田原小学校 (11月12日)
30. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演, 三重テレビ (11月23日)
31. 明治大学博物館・南山大学人類学博物館連携事業シンポジウム基講演講師, 南山大学人類学博物館 (11月26日)
32. 明治大学博物館・南山大学人類学博物館連携事業体験学習プログラム「貝体新書」講師, 南山大学人類学博物館 (11月26日)
33. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師, 鈴鹿市立井田川小学校 (11月27日)
34. みさとの丘学園と田原小学校との交流校外学習講師, みさとの丘学園 (11月30日)

35. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師，津市立北立誠小学校（12月5日）
36. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師，津市立白塚小学校（12月6日）
37. 科学ヘジヤンプイン東京2018 ワークショップ「サワッテ ミル カイ」講師，筑波大学附属視覚特別支援学校（12月16日）
38. ワークショップ「サワッテ ミル カイ」講師，筑波大学附属視覚特別支援学校（12月17日）
39. ワークショップ「三葉虫を調べよう」講師，鈴鹿市立一ノ宮小学校（12月18～19日）
40. 平成30年度ミュージアム・マネジメント研修ワークショップ「大人の学習教室『具体新書』 答えはひとつではない」講師，東京国立博物館附属黒田記念館（12月21日）
41. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演，三重テレビ（12月28日）
42. 免許更新講習 講師，京都造形芸術大学（平成31年1月14日）
43. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演，三重テレビ（平成31年1月25日）
44. グローバルリーダー育成セミナー「化石も恐竜も未来もよくわからないから面白い」講師，三重県総合博物館（平成31年2月10日）
45. グローバルリーダー育成セミナーパネルディスカッション「英語でディスカッション」講師，三重県総合博物館（平成31年2月10日）
46. 大阪市教育委員会事務局指導部大阪市教育委員会理科ワーキング会議報告講師，大阪市役所（平成31年2月13日）
47. みえ科学探究フォーラム2018 講演「疑問から始まる科学の楽しみ」講師，三重県総合博物館（平成31年2月16日）
48. 伊賀市新庁舎開庁記念イベント関連事業 MieMu 館長講演会「ミエゾウが伝える学びの楽しみ」講師，三重県伊賀庁舎（平成31年2月19日）
49. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演，三重テレビ（平成31年2月22日）
50. ワークショップ「館長と調べる三葉虫のひみつ」講師，三重県総合博物館（平成31年2月24日）
51. 四日市市熟年大学修了式記念講演会講演「一生楽しめる学びのやりかた教えます?!」講師，四日市市総合会館（平成31年3月15日）
52. 三重テレビ放送「とってもワクドキ」出演，三重テレビ（平成31年3月22日）

#### 瀧川和也（課長・学芸員）

[委員等]

- 1 四日市市文化財保護審議会 委員
- 2 鈴鹿市文化財調査会 委員
- 3 亀山市文化財保護審議会 委員
- 4 津市文化財保護審議会 委員
- 5 伊賀市文化財保護審議会 委員
- 6 名張市文化財調査会 委員

[講師等]

- 1 「ふるさと三重が生んだ写真師 田本研造、堀江敏次郎を語る 写真師たちが見たNIPPON～幕末から明治初期まで～」，クロストークスピーカー，三重県生涯学習センター（6月23日）
- 2 三重県立津高等学校SSH，三重県総合博物館（8月3日）
- 3 「小天狗清蔵についてーその活動と天正伊賀の乱後の復興ー」ハイトピア伊賀（8月18日）
- 4 「伊賀の仏たち」青山讃頌舎（9月9日）
- 5 「東大寺大仏について」津市立美杉小学校（9月26日）
- 6 「東大寺大仏について」津市立大三小学校（9月27日）
- 7 「片田と円空」志摩市片田区（12月2日）
- 8 「三重県行政文書に見る森有節の事績について」四日市市立博物館（12月8日）
- 9 「熊野勲心十界曼荼羅の役割とその芸術性～物語としての人生絵図そして地獄絵～」山形県村山市最上徳内記念館（12月15日）
- 10 「伊賀の修験者小天狗清蔵について」ハイトピア伊賀（平成31年2月2日）

### 藤谷 彰 (主幹(課長代理)・学芸員)

[講師等]

- 1 「久居藩の成立と家臣団形成」箕田公民館講座 (11月9日)
- 2 「藤堂藩の陪臣団について ―藤堂采女家臣沢家を事例に―」有造館ゼミナール (11月22日)

### 中野 環 (主幹・学芸員)

[委員等]

- 1 河川水辺の国勢調査アドバイザー (国土交通省三重河川事務所)
- 2 三重県生物多様性保全検討委員会委員 (三重県農林水産部)

[講師等]

- 1 水生生物の総合学習[主催：津市立片田小学校] (6月13日)
- 2 津市立東観中学校 第2学年進路学習 キャリア教育職業講話[主催：津市立東観中学校] (7月5日)
- 3 松阪市行政チャンネル番組「松名瀬海岸の生き物」出演 (7月24日撮影)
- 4 大紀町教育振興会研修会「理科等の授業で活用できる講座」(8月6日)
- 5 南島中学校体験学習, 南伊勢町立南島中学校 (12月1日)

### 太田光俊 (主査・学芸員)

[講師等]

- 1 「フォーラム 松浦武四郎研究のこれまでとこれから」パネリスト 北海道博物館 (8月26日)
- 2 「古文書講座」鳥羽市立図書館 (10月5日・11月16日・12月21日・平成31年1月18日・2月15日)
- 3 交流企画講演会「お伊勢参りの今昔～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる～」岐阜県博物館 (10月6日)
- 4 「歴史講座 幕末の津藩と伊勢湾海防～吉田松陰と松浦武四郎を通じて～」津市教育委員会 (10月20日)
- 5 「松浦武四郎について―藩校有造館の人脈との関係―」有造館ゼミナール (10月26日)
- 6 「武四郎を育んだ江戸時代の三重」北海道立帯広美術館 (12月15日)

### 佐野 明 (主査)

[委員等]

- 1 絶滅の恐れのある野生生物の選定・評価検討委員会委員 (環境省)
- 2 希少野生動植物種保存推進員 (環境省)
- 3 三重県生物多様性保全アドバイザー (三重県農林水産部)
- 4 日本哺乳類学会保護管理専門委員会委員 (日本哺乳類学会)
- 5 日本哺乳類学会和文誌編集委員会委員 (日本哺乳類学会)

### 中川良平 (主査・学芸員)

[委員等]

- 1 日本洞窟学会事務局員

### 大島康宏 (主査・学芸員)

[委員等]

- 1 日本鱗翅学会自然保護委員
- 2 自然史レガシー継承・発信実行委員会 実行委員
- 3 蜻蛉研究会編集委員
- 4 希少野生動植物種保存法推進員(環境省)



[講師等]

- 1 図書館×博物館「すばらしき虫図鑑の世界-実践！大人も楽しむ虫の調べ方講座-」、三重県立図書館・三重県総合博物館(7月15日)
- 2 自然史系学芸員と行く自然観察会「海の日に、御在所山へ行こう」三重県総合博物館ミュージアムパートナー(7月16日)
- 3 昆虫博士といっしょに夜の昆虫観察に出かけよう！、伊賀の里モクモク手作りファーム(8月15日、8月16日、8月29日、8月30日)
- 4 アサギマダラマーキングと答志島たんけん！、三重県総合博物館ミュージアムパートナー(10月14日)
- 5 JSR親子自然観察会 in 築山緑地、JSR株式会社(11月4日、雨天中止)

### 間瀬 創 (主査・学芸員)

[委員等]

- 1 文化財保存修復学会災害対策調査部会拡大委員
- 2 文化財保存修復学会第40回大会プログラム作成委員

[講師等]

- 1 「三重県総合博物館におけるIPM」, 文化財保存修復学会公開シンポジウム「博物館におけるIPMのこれから」, 九州国立博物館(4月8日)

### 北村淳一 (主査・学芸員)

[委員等]

- 1 木曾川水系イタセンパラ保護協議会委員 (国土交通省中部地方整備局河川部河川環境課)
- 2 利根川下流部自然再生モニタリング委員会委員 (国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所)
- 3 榎田川自然再生推進会議委員 (国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所)
- 4 農業農村整備事業環境アドバイザー協議会委員 (三重県農林水産部農業基盤整備課)
- 5 祓川環境保全全体会議座長
- 6 祓川環境美化推進協議会推進委員
- 7 希少野生動植物種保存推進員 (環境省)
- 8 自然史レガシー継承・発信実行委員会 実行委員
- 9 亀山市ネコギギ保護指導委員 (亀山市教育委員会)

[講師等]

- 1 総合学習 (水生生物調査), 明和町立齋宮小学校 (6月5日)

### 森田奈菜 (主任・学芸員)

[委員等]

- 1 希少野生動植物種保存推進員 (環境省)

[講師等]

- 1 自然史系学芸員と行く自然観察会「海の日に、御在所山へ行こう」三重県総合博物館ミュージアムパートナー(7月16日)
- 2 アサギマダラマーキングと答志島たんけん！、三重県総合博物館ミュージアムパートナー(10月14日)
- 3 「親子自然観察会」, 講師, JSR株式会社 四日市工場 (11月4日, 雨天により中止)

### 津村善博 (嘱託学芸員)

[委員等]



1 三重県環境影響評価委員（三重県環境生活部）

2 津市文化財保護審議会 委員

3 松阪市文化財保護審議会 委員

[講師等]

1 三重大学・教養教育・教養統合科目「三重の歴史と文化」講師 三重大学（4月25日）

2 日本学術会議サイエンスカフェ「南海トラフを考える」熊野古道センター（5月8日）

3 都市環境ゼミナール6月例会「東紀州ジオパーク構想」三重県総合博物館（6月23日）

4 川づくり会議みえ「川原の石から地域の地質を考える」三重県総合博物館（7月1日）

5 出前講座「先志摩地域の地質について」志摩文化会館（9月11日）

## 6 企業との連携

### 6.1 事業の趣旨・目的

博物館活動の基本的な活動の視点の一つである多様な主体との連携を進めるにあたり、三重県の経済・産業・雇用・文化などの面で大きな役割を担っている企業・団体との交流と連携に取り組んでいる。金銭的な支援だけでなく、新たな創造と発信の機会とするために、講演会や各種ワークショップ、パネル展示等を共催して実施している。

- ・寄附 企画展示の充実や、展示・収蔵資料の保存や修繕など、博物館の活動全般に対する金銭的な支援
- ・企業パートナーシップ 一定額を会費として支払うことにより、博物館の利用に関する各種の特典を受けられる。
- ・コーポレーション・デー 任意の日在一定額の協賛をすることで、その日の来館者全員の基本展示観覧料が無料になり、合わせて企業PRなどができる。

### 6.2 パートナー企業数

- ・寄附支援企業 84社
- ・企業パートナーシップ会員 166社（平成31年3月末）※重複あり

### 6.3 連携事業

#### 1) コーポレーション・デー

企業名・団体名	実施日	主なイベント
一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会	6月16日(土)・17日(日)	学会活動の紹介展示、白衣を着て写真撮影等、手裏剣で忍者体験、飛び出すおもちゃづくり、葉っぱのこすりだし図鑑等
株式会社 ケーブルコモンネット三重	6月24日(日)	こどもテレビ局アナウンサー体験、ディスカバリーキッズ科学実験館、キャラクター“ぬり絵コンテスト2018”、プログラミング体験ブース等
一般財団法人 三重県環境保全事業団	9月8日(土)	事業団の事業内容パネル展示、分光器で虹を見よう、ごみの分別を学ぼう！、親子で楽しめる工作コーナー、外来生物を釣ろう！知ろう！等
井村屋グループ 株式会社	9月22日(土)・23日(日)	松浦武四郎が旅した北海道のあずき地図と十勝日誌の展示、あずきの由来～あずきの成長過程をパネルと動画で紹介、デザインの仕事を体験しよう！、アズキキングと一緒に写真を撮ろう、井村屋クイズラリー等
国土交通省中部運輸局三重運輸支局 一般社団法人 三重県自動車会議所	9月29日(土)	“みえ交通安全・環境フェスタ2018” 白バイと記念撮影！、楽しい工作をしよう！（交通安全

一般社団法人 日本自動車連盟三重県支部 他		ワークショップ)、バスの絵作品表彰式と作品展示、お絵かきバス、交通安全、危険予知トレーニング 等
松阪北部商工会	10月14日(日)	郷土の偉人！松浦武四郎でつなぐ 観光特産物 開発事業PR イベント開催、ブリザード フラワーのハーバリウムを作ろう、ファスナーでス トラップを作ろう、松阪北部商工会事業所紹介コー ナー等
三重県民共済生活協同組合	11月3日(土)・4日 (日)	“子ども体験フェスタ” 制服を着て警察官になろう、ワンちゃん・ネコちゃ んへプレゼントづくり、元なでしこジャパン那須選 手とボールで遊ぼう！、紙ねんどでかわいいスイー ツ作り、自衛隊災害救助体験等
三重県トラック協会青年部会	11月11日(日)	“トラックフェスタ 2018 in MieMu” スタンプラリー、よさこいステージ、トラック網引 体験、トラック乗車体験等
富士通株式会社	12月22日(土)	富士通株式会社の歴史について(パネル展示と映像)、 富士通スポーツを知ろう！体験しよう！、タブレッ トパソコンを使って勉強しよう！、手づくり乾電池 を作成してみよう！等
株式会社百五銀行	平成31年 1月19日(土)	金融・通貨の昔と今(パネル展示と映像)、ボールを 使わないかんたんトレーニング、野球部によるスト ラックアウト、○×クイズ等

※コーポレーション・デー:多くの方に博物館に親しんでいただくきっかけとして、企業等の協賛により、特定の日の基本展示観覧料を無料化。協賛企業等は、チラシの配布など自らの広報活動を実施できる制度。

## 2) 展示

企業・団体名	展 示 名	実施期間	主なイベント内容
株式会社ケーブル コモンネット三重	キャラクターぬり絵の応 募作品展示	6月24日(日)～7月1 日(日)	キャラクターぬり絵入選作品147点 (応募作品729点)の展示
公益社団法人三重 県バス協会	バスの絵 入選作品の展示	9月29日(土)～10月 10日(水)	お絵かきバスに絵を書こう！ バスの絵表彰式及び入選作品33点の 展示

## 3) イベント

企業・団体名	展 示 名	実施期間	主なイベント内容
株式会社 伊賀の 里 モクモク手づ くりファーム	親子で夏の夜の昆虫観察 会(事前調査)	8月15日(水)・16日 (木)・29日(水)・30 日(木)	親子で夏の夜の昆虫観察会 “観察フィールドにて夜の昆虫観察”

## 4) 講話

企業名・団体名	講話日	講話内容(テーマ)
三重県商工会議所連合会	5月23日(水)	出前講話、第21回企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松 浦武四郎」の見どころ
松阪商工会議所	6月25日(月)	
株式会社光機械製作所	平成31年 2月10日(日)	館内講話、グローバルリーダー育成セミナー 第1部 化石も恐竜も未来もよく分からないから面白い 第2部 英語でディスカッション
上野商工会議所	平成31年 3月5日(火)	出前講話、三重の子どもたちの育成について

## 5) ショップ関係

	概要
MieMu オリジナル商品	MieMu あられ・キャンディー、関の戸、さんちゃんタオル、クッキー等
企画展商品	カモシカせんべい・ワッフル・ドロップ、ロープウエイTシャツ・スイートパイ・ゴンドラフィギュア・松浦武四郎に関する本・アイヌのポストカード・レターセット・クリアファイル・武四郎ようかん等
夏休みの共催イベント ゴリさんの木工教室	8月1日(水)、4日(土)、25日(土)、26日(日)、計184名参加
夏休みの共催イベント 化石さがし体験	8月2日(木)、3日(金)、9日(木)、10日(金)、23日(木)、24日(金)、30日(木)、31日(金)、計255名参加※8月23日(木)は台風接近のため中止
第21回企画展「幕末維新を 生きた旅の巨人 松浦武四郎」 共催イベント 勾玉づくりワークショップ	10月27日(土)、28日(日)、計52名参加

## 7 利用者との協創

### 7.1 事業の趣旨・目的

三重県総合博物館の基本的な活動の視点である「県民・利用者との協創」に基づく取組として、旧県立博物館時代の「サポートスタッフ」を発展的に継承し、開館とともに活動を開始した「三重県総合博物館ミュージアムパートナー」の活動への支援、平成27年度から展開する「みえむボランティア」活動を継続して行った。

### 7.2 三重県総合博物館ミュージアムパートナー

旧県立博物館時代の平成18年度に結成され新博物館整備活動にもかかわった「サポートスタッフ」を母体に、博物館とともに活動し、支える外部団体として「ミュージアムパートナー」が発足した。当館学芸員が活動を支援し、独自の講座・観察会を実施し、三重の自然と歴史・文化について調査・観察、情報発信する活動を行っている。また、サポートスタッフ時代から様々な分野で活動していたグループ活動を引き継ぎ、5グループが活動を行っている。

#### 1) 会員数

157組 273名（平成31年3月31日現在）

#### 2) 主な活動内容

- ・会員を対象とする講座、フィールドワーク等の事業を実施
- ・会報を発行
- ・博物館活動への参加・協力、博物館との連携によるワークショップ等の実施
- ・仲間とともに興味・関心を深めることができるグループ活動(歴史、民俗、染織、おもしろ博物館、ユニバーサルミュージアムの5グループ)
- ・総会(年1回)、事務局会議(月1回)、役員会(会長が招集)、グループ代表者会議を開催

#### 3) 活動内容

企画展内覧会・展示解説会

行事名	開催日	会場	人数	担当職員
第19回企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」	4月13日(金)	企画展示室・ レクチャールーム	17	当館職員 中野 環
第20回企画展「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」	7月6日(金)		13	当館職員 宇河雅之
第21回企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」	9月19日(水)		24	当館職員 太田光俊
第22回企画展「くらしの道具～いま・むかし～ 特集“三重の伝統産業”」	12月14日(金)		16	当館職員 宇河雅之
計			70	

自然史系学芸員と行く自然観察会

行事名	開催日	会場	人数	講師
今年も海の日に御在所山へ行こう	7月16日(月・祝)	菰野町内	27	当館職員 中川良平・大島康宏・森田奈菜・佐野 明・津村善博
答志島の自然とアサギマダラマーキング	10月14日(日)	鳥羽市内	23	当館職員 大島康宏・森田奈菜
神島の自然をたずねて	12月1日(土)	鳥羽市内	9	当館職員 中川良平・津村善博
計			59	

鉱物さがし、化石をたずねて

行事名	開催日	会場	人数	講師
紀州の鉱物	11月11日(日)	熊野市内	10	当館職員 中川良平・津村善博
伊賀の化石※	平成31年 1月27日(日)	伊賀市内	—	当館職員 中川良平・津村善博
計			10	

※降雪のため中止

学芸員ミニ講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
マツ枯れとナラ枯れ	5月13日(土)	レクチャールーム	19	当館職員 佐野 明
五感で石を見分けよう	9月9日(土)		20	当館職員 津村善博
伊勢参りの今昔 ～織田豊臣の時代へさかのぼる～	12月23日(土)		24	当館職員 太田光俊
貝がらで探る人の知恵の進化	平成31年 2月11日(日・祝)		7	当館館長 大野照文
計			70	

バックヤードツアー

行事名	開催日	会場	人数	担当職員
MieMuの資料保存	8月19日(日)	当館バックヤード	10	当館職員 間瀬 創
MieMuの防災	10月28日(日)		3	当館職員 中村千恵
計			13	

ナイトミュージアム

行事名	開催日	会場	人数	担当職員
ナイトミュージアム～夜のMieMuを探検してみよう～	7月21日(土)	当館館内	16	当館職員 中村千恵
計			16	

博物館めぐり

行事名	開催日	会場	人数	担当職員
JT生命誌研究館	10月7日(土)	高槻市内	7	当館職員 中川良平
志摩マリンランド	平成31年 2月17日(日)	志摩市内	12	当館職員 中川良平・佐野 明
計			19	

初心者のための博物館資料取扱講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
自然系 植物標本	6月2日(土)	実習室ほか	3	当館職員 森田奈菜
人文系	11月25日(日)	資料閲覧室	2	当館職員 宇河雅之
計			5	

こだわり講座

行事名	開催日	会場	人数	講師
栗真と白子の起源	5月27日(日)	レクチャールーム	14	清水重久
鈴鹿の山の修験道場 三嶽寺	9月23日(日)	交流活動室	10	吉田経二郎
遺跡出土木材の名前を調べてわかる古環境	平成31年 1月20日(日)	交流活動室	17	布谷知夫
計			41	

まちあるき歴史ウォーク

行事名	開催日	会場	人数	担当職員
伊賀街道を歩く (河芸) 上野・津の巻	平成 31 年 3 月 17 日(日)	津市内	15	当館職員 藤谷 彰
計			15	

ミュージアムパートナーフェスタ “MieMu であそぼう！”

行事名	開催日	会場	人数	備考
オープン展示 ミュージアムパートナー紹介, ワードラリー	8 月 5 日(日)	当館 2・3 階 のオープン スペース 実習室 交流活動室	610	当日入館者数 3,621 人
ワークショップ おもしろ博物館グループ「つくってとばそう リングひこうき」			617	
展示・体験 歴史グループ「風雲！大河内城」			519	
ワークショップ 染織グループ「藍の生葉でたたき染めをしよう」			48	
展示 民俗グループ「あんな菓子 こんな菓子 おかしな話」			—	
展示・体験 ユニバーサルミュージアムグループ「みて きいて さわってみよう」			98	
地球探検隊			—	
ほね探 (ホネくらべ)			573	
個人展示			—	
計			2,465	

ホネ探

行事名	開催日	会場	人数	備考
ホネパズルと毛皮しらべ	4 月 1 日(日)	学習交流スペース	145	春休みは MieMu へ「MieMu わくわく♪ウィーク」
ホネ組み立てと実演と骨パズル	8 月 19 日(日)	学習交流スペース	125	同定会にあわせて実施
計			270	

総会・会議等

行事名	開催日	会場	人数	備考
総会	4 月 8 日(日)	レクチャールーム	145	
事務局会議	4 月 8 日(日)・5 月 13 日(日)・6 月 10 日(日)・7 月 8 日(日)・8 月 12 日(日)・9 月 9 日(日)・10 月 7 日(日)・11 月 11 日(日)・12 月 9 日(日)・平成 31 年 1 月 20 日(日)・2 月 11 日(月)・3 月 10 日(日)	交流活動室など	—	原則毎月第 2 日曜日に実施
定期発送作業	毎月第 4 木曜日			
グループ代表者会議	適宜開催	—	—	—
ミュージアムパートナーフェスタ “MieMu であそぼう” 実行委員会	適宜開催	—	—	—

## グループ活動

### <ユニバーサルミュージアムグループ>

ワークショップや実践的な活動を通じて、障がいをお持ちの方とともに博物館を楽しむための方法について考えている。平成30年度は、当館が建設準備段階から各障がい者団体にご意見をいただき取り組んできた、バリアフリーの施設設備を紹介するパンフレットを作成した。これは公共施設について学ぶ小学四年生が来館した際や、夏休みの自由研究でバリアフリーをテーマにする小・中学生への配付を目的とするものである。

また、目の不自由な方に博物館の魅力を伝えるに取組も継続的に行い、博物館が実施している盲学校での移動展示や紀北町で開催した移動展示において様々な種類の石を触るワークショップを開催した。また館内においては、企画展における触れる展示に点字を施すなどの活動を行った。

### <民俗グループ>

毎月第1土曜日に例会を開くほか、月3回ほど活動している。8年に及ぶ三重県内の伊勢講聞き取り調査の成果「三重伊勢講の今 一民俗グループによる調査報告」の編集作業を継続的に行っている。また平成30年度からは三重県内のお菓子調査にも取り組んでいる。さまざまな行事に振る舞われるお菓子、そこにしかないお菓子、今はもう見られなくなったお菓子など、できる限り多くのお菓子を探し、聞き取り調査をして、各地のお菓子を味わいながら議論している。

### <おもしろ博物館グループ>

博物館で子どもから大人まで楽しむことができる体験学習やモノづくり教室の企画や運営を行うグループである。平成30年度の主な活動は、毎月第3日曜日午前中に活動打合せを行い、7月・2月の第3日曜日に当館事業「わくわくワークショップ」において簡単な工作教室等を実施した。その他にも、8月には県総合文化センターで行われたM祭!で「つくって とばそう リングひこうき」を実施した。12月には恒例となっている当館事業「正月かざりをつくろう」を行った。

### <歴史グループ>

毎月第1土曜日に輪読会を開催した。江戸時代の版本『北畠物語』をテキストとした輪読を行い、各自の古文書読解能力の向上を図るとともに、各自の興味関心に基づく研究報告を行った。毎週木曜日は文書整理の会を開催した。ここでは、宮崎家文書の整理を中心に未整理資料の整理を進めつつ、古文書読解能力及び目録作成能力の向上を図り、あわせて館蔵資料の整備にも資するように活動した。

### <染織グループ>

かつて伊勢木綿、松阪木綿と呼ばれ全国的に有名であった三重県の織物や藍染めなどについて、多くの方に知っていただくことをめざしている。博物館の里山で藍などを栽培し、それをを用いた染色に力を入れている。また、「染める」や「織る」という現代では馴染みの薄い作業を身近に感じてもらうため、体験講座を開催している。メンバー各々が自分の研究や興味を深め、グループ内で発表しあうことや、染めの実験もしている。

※この他にも、グループ活動の一環として博物館資料の整理等(歴史グループによる古文書整理、民俗グループによる民俗資料整理など)に取り組んでいる。

## 学芸員の調査研究補助

### <みんなでつくろう！ミュージアムフィールドの実物昆虫図鑑>

ミュージアムフィールドの昆虫相解明を目指し、学芸員の調査研究の補助をしている。平成30年度の参加者は33名。月に2回の調査では、自然環境ごとに設定した10のルート歩きながら、確認したチョウの種、その個体数を記録するチョウのルートセンサスを実施している。チョウの他にも確認した昆虫を記録し、採集した個体は標本にして博物館へ収蔵している。この調査の成果は、当館の展示室「三重の実物図鑑」内に展示しているほか、参加者はこの調査に関連したテーマで学会等にお



いて発表している。平成30年度は、9月9日(日)に日本昆虫学会「昆虫じまん」に6件(高校1年生1件、中学2年生1件、小学6年生2件、小学3年生2件)を出展した。担当学芸員の発表は2.2研究成果一覧を参照。

担当学芸員：大島康宏(昆虫担当)

#### <地球探検隊>

県内の化石産地・鉱物産地等の現状を確認することを目的として、ミュージアムパートナーから募集したメンバーと月1回程度の活動を行った。

担当学芸員：中川良平・津村善博(地学担当)

#### <ホネ探>

当館学芸員とともに、哺乳類や鳥類を中心に剥製標本や骨格標本を作成している。平成30年度は月に1回程度、哺乳類の骨格標本と毛皮標本作成を行った。その他、春休みわくわくウィークでの「ホネパズルと毛皮しらべ」(4月1日(日))や同定会にあわせて「ホネ組み立て実演と骨パズル」(8月19日(日))などのイベントを実施した。

担当学芸員：田村香里(脊椎動物担当)

## 7.3 ボランティア

### 1) ボランティアの概要

「ともに考え、活動し、成長する博物館」をめざし、県民のみなさんとの「協創」として、平成26年末に「みえむボランティア」を募集し、博物館のスタッフとして職員とともに博物館活動を支える活動を行っている。平成30年度は以下の3つのグループに分かれて活動した。

- ・来館者対応ボランティア 7名(平成31年3月31日現在)
- ・ミュージアムフィールドボランティア 5名(平成31年3月31日現在)
- ・保存環境ボランティア 9名(平成31年3月31日現在)

### 2) 各グループの活動状況

#### <来館者対応ボランティア>

来館者の案内(展示室・飲食場所・トイレ・ロッカー・交通手段など)、ミエゾウ・オオサンショウウオのさんちゃん・実物図鑑ルームなどの案内、学校見学の際の対応、ワークショップ・講座などの補助、チラシ・ポスターなどの配布協力、企画展「知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ」・企画展「おもちゃ大好き！」の体験コーナーの補助などを行った。

#### <ミュージアムフィールドボランティア>

ミュージアムフィールドの除草作業や植栽管理作業を月1回の頻度で実施している。今年度はおもに、竹林の整備作業を行った。

#### <保存環境ボランティア>

IPMの一環として2か月に1回程度の頻度、粘着トラップの設置・回収と実体顕微鏡下で文化財害虫の観察・計数を行うこととしたが、今年度は活動を実施できなかった。

## 8 広報

### 8.1 新聞・テレビ・ラジオ

#### 1) 新聞

平成30年度における新聞への掲載実績は、127件であった。

特に、武四郎展では、さまざまな主体と連携も行ったことから、取材されることも多かった。

#### 2) テレビ

平成30年度におけるテレビでの報道実績は、69件であった。

館長が毎月コメンテータとして出演している番組で告知などを行うなど、ニュースのみに限らず様々な形で情報発信することができた。

#### 3) ラジオ

平成30年度におけるラジオでの報道実績は、40件であった。※広報班関係以外2件

## 8.2 雑誌

### 1) 雑誌・フリーペーパー

平成30年度の掲載実績は、雑誌が16件、フリーペーパーが108件の計124件であった。

県内各地で発行されるフリーペーパーでは、定期的に情報を掲載していただける関係ができており、今後も継続していく。また読者プレゼントとして、各企画展の招待券を提供する場合もあった。

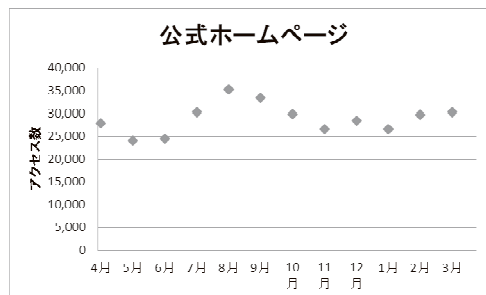
### 2) 社内報等その他の発行物

社内報や業界誌など、その他の発行物への掲載実績は、9件であった。

## 8.3 ホームページ

### 1) 月間アクセス数

月	アクセス数 (単位：回)	月	アクセス数 (単位：回)
4月	27,837	10月	29,932
5月	24,068	11月	26,557
6月	24,500	12月	28,471
7月	30,310	1月	26,616
8月	35,261	2月	29,661
9月	33,493	3月	30,329

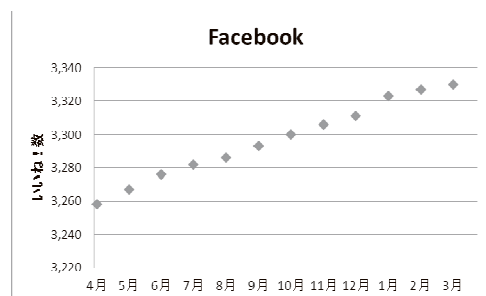


## 8.4 Facebook・Twitter

当館では、博物館を身近に感じより親しんでいただくことを目的として、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・システム）のうちFacebookとTwitterの運用を行っている。

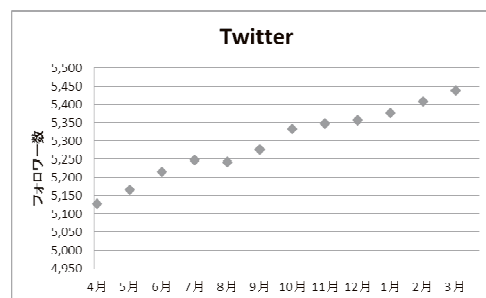
### 1) Facebook 月間の「いいね！」数

月	いいね！数	月	いいね！数
4月	3,258	10月	3,300
5月	3,267	11月	3,306
6月	3,276	12月	3,311
7月	3,282	1月	3,323
8月	3,286	2月	3,327
9月	3,293	3月	3,330



### 2) Twitter 月間のフォロワー数

月	フォロワー数	月	フォロワー数
4月	5,128	10月	5,334
5月	5,165	11月	5,348
6月	5,215	12月	5,357
7月	5,248	1月	5,377
8月	5,242	2月	5,408
9月	5,277	3月	5,438



## 8.5 その他

ウェブマガジンや観光三重のウェブサイトとの連携により、企画展の展示レポートなどを掲載していただいた。また、JAF(一般社団法人日本自動車連盟)の機関誌にも案内や読者プレゼントを提供した。

## 9 博物館の評価

### 9.1 評価のしくみ

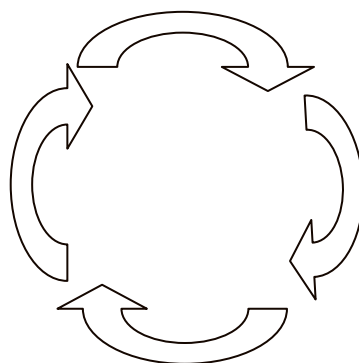
三重県総合博物館の活動を県民・利用者みなさんと、「ともに考え、活動し、成長させていく」ため、最も重要な基盤となるのが「博物館マネジメント」である。

三重県総合博物館では、「博物館マネジメント」として、毎年の活動と運営を「計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Act)」のサイクルとして展開していく評価と改善のしくみを構築している。

#### 【博物館マネジメントのイメージ図】

##### ④改善 (Act) 段階

- ・ みんなでつくる博物館会議
- ・ 三重県総合博物館協議会で以下の意見をいただく
  - (1) 前年度の評価結果
  - (2) 本年度の取組報告
  - (3) 次年度の年次計画



##### ①計画 (Plan) 段階

- ・ 戦略目標と戦術 (3年間)
- ・ 年次計画 (1年間)

##### ③評価 (Check) 段階

- (1) 館職員による自己点検内部評価 (4月)
- (2) 館内部評価委員会での内部評価 (5月)
- (3) 三重県総合博物館協議会評価部会での外部評価 (6月)

##### ②実施 (Do) 段階

- ・ 戦略目標と戦術に基づき、年次計画を実施

#### 1) 計画段階

##### ① 短期計画 (3年間)

「三重県総合博物館協議会」や「みんなでつくる博物館会議」などに意見を求めながら、短期 (3年間) の戦略目標と戦術を作成、公表する。

戦略計画は3年間、重点的に目的をもって取り組む戦略目標、戦略目標達成のために具体的に取り組む戦術を決め、戦略や戦術の成果を評価する指標とその目標値を定める。

##### ② 年次計画

短期計画のプロセスと同様に、1年間の事業計画を作成し、概要は、「三重県総合博物館年報」に掲載して公表する。

#### 2) 実施段階

実施にあたっては、来館者アンケートを分析し、利用者による評価を集約する。

利用者数、満足度など、博物館の状況を表す数値データなども集計する。

#### 3) 評価段階

実施段階で得たアンケート等のデータを活用し、段階的に①自己点検評価、②内部評価、③外部評価を組み合わせた総合評価を行う。

①自己点検評価：前年度の戦略と戦術に基づいて実施された活動と運営について、各活動と運営を担当した職員が成果指標のデータ分析を行い、活動と運営の成果について事実確認とともに、評価と改善点を含んだ総括を行う (4月)。

②内部評価：館職員による内部評価委員会を設置し、自己点検評価者とともに、各事業について事実確認とともに、評価と改善点を含んだ総括を行う (5月)。

③外部評価：内部評価委員会でまとめた事実確認と評価、改善点を元に、外部評価として設置した三重県総合博物館協議会の評価部会（委員5名）が、前年度の活動と運営の成果について評価をし、改善点を付す（6月）。

また、事業を日常的に確認し改善するために、内部において毎日朝夕2回の「日常点検報告会(5分)」と定期および臨時の戦略会議をもつ。定期戦略会議としては、第1休館日に全職員による「MieMu ミーティング(1時間)」と館常勤職員による「運営ミーティング(3時間)」を開催している。また、毎週初めに課長代理以上の職員による「トップミーティング(2時間)」を開催している。

#### 【評価と改善のしくみの構築】

先行事例を調査し、自己評価と外部評価(県民・利用者参加型の評価を含む)を効果的に取り入れ、目標・指標の設定から事実確認、評価、改善策の打ち出しまで一連の制度の構築に向けて県民のみならず博物館評価を専門とする外部有識者とともに検討している。

#### 4) 改善段階

前年度の活動と運営に対する評価結果と本年度の取組について、来館者アンケート三重県総合博物館協議会などでいただいた意見を参考に、次年度の年次計画や次期3年間の戦略目標や戦術を構築させていく。

### 9.2 平成30年度の戦略目標と戦術の評価結果

平成30年度の評価結果は、次の日程で実施した。

館職員の自己点検内部評価は、平成31年4月中旬に各戦略と戦術の担当者が評価シートをまとめた。内部評価委員会は令和元年5月22日(水)、5月28日(火)、5月30日(木)に実施し、外部評価は令和元年6月27日(木)に三重県総合博物館協議会評価部会を実施した。評価結果の概要は以下のとおりであり、各戦略目標と戦術の詳細な評価結果については、巻末の事業成果一覧に掲載した。

#### ①内部評価結果(概要)

・三重の自然と歴史・文化をテーマに展覧会を計5本(企画展・交流展)開催した。広報では、きめ細かい発信を行った結果、報道数や県内の知名度(80%)などが目標を達成したが、観覧者数・利用者数・利用学校数は達成できなかった。特に、基本展示は年々減少し、開館年度(平成26)の34%となっている。集客に向けた展示・広報内容の強化・改善が求められるが、類似する他館と比較して集客は良く、次期5年間で向現状にあった現実的な目標と計画をつくる必要がある。

・多様な主体との連携では、企業との連携数は41社と平成26年度から着実に増加し、極めて高い達成率が続いているが、ミュージアムパートナー(273人)とボランティア(21人)の登録者数は目標を達成することができなかった。特にボランティアは活動自体が停滞していることから、活動分野と内容を再検討し活性化につなげる必要がある。

・収蔵資料においては、定期的に収蔵庫の点検を実施したことにより、早期に害虫を発見(1件)し、適切に対処することができた。一方、データベースへの新規登録による公開は極めて少なく(57件)、年々減少傾向にあり、データベースの閲覧回数(4,347回)は目標の9割だった。登録公開業務の取組が強く求められる。

・調査研究活動では、学芸ゼミを毎月開催し、14件の成果を論文等で公表できたが、公表件数は年々減少傾向にあり、公表している学芸員にもやや偏りがある。すべての学芸員の研究成果が公表につながる取組が求められる。

・四半期で進捗を管理し10件の課題が明らかになり、3件が解決し、7件が改善中であるが、1件(資料のデータベース登録公開)の改善への取組が弱かった。さらに、評価部会からの指摘である評価指標の再考ができなかった。課題がわかっていながら改善が進まない取組があり、職員の意識改善をしなければな

らない。

・効率的な運営のため、開館時間、レファレンスカウンター業務の廃止、企画展開催回数を少なくし、調査研究や資料整理の時間を確保して基幹業務の充実に努めることができた。

## ②外部評価結果(概要)

・展覧会事業について、基本展示の観覧者数、企画展示の総観覧者数の双方において、目標の人数に到達していない。特に、基本展示(63,568人)は、初年度(184,981人)の34%にまで減少しており、他館との比較の上でも、憂慮すべきである。また、企画展示は、「松浦武四郎」展では目標を上回る観覧者を得たが、総数(60,153人)は昨年度(79,411人)をかなり下回る結果となった。リピーターの数は、特に企画展示(76%)でかなり高い割合を得ており、「何度も利用してもらう」という戦略目標は、企画展示では達成できたと判断できるが、基本展示における値(56%)は、むしろ、新規来館者が期待できることを示している。

・広報活動については、メディアへの働きかけや、今日的な手法である SNS を使った活動を積極的に展開することで、目標とした結果(アウトプット)を達成できた。あわせて、県民の認知度(初年度 67%)も毎年向上し、今年5月の調査で80%にまで達したことは、地道な活動の成果と評価できる。

・博物館活動への県民や利用者の参画について、毎年、企業等への積極的活動が成果を上げてきた反面、ミュージアムパートナーの登録者数は2年続きで目標に届かず、ボランティアの登録者数は、平成29年度の39人から今年度は21人、活動回数も178回から92回と大幅に減じている。いずれも放置できない状況にあり、改めて、取組の見直しが求められる。

・収蔵資料や地域の文化財等の保存・保全にあたっては、残念ながら一部で虫害が発生したが、早期に適切な処理ができた。地域の文化財等を保全するため、各種の相談や指導に当たる活動については、目標の相談件数(60件)を超える対応(67件)ができた。また、適切な指導・助言を通じて資料の寄贈・寄託に繋げるなど、公立館としての役割が果たせた。

・研究活動については、ようやく改善の兆しが見える。学芸ゼミでは目標の12件を達成でき、参加型調査でも目標(60人)や昨年度(89人)を上回る参加者(123人)を得たことは評価できる。一方で、県民等への成果公開の一環であるデータベースの新規公開登録が57件(昨年度513件)に留まったことは、アクセス数が目標に達しなかったこと(目標5,000回、実績4,347回)と合わせて、改善が求められる。

・利用者の学習支援については、レファレンスカウンターへの職員の常駐が見直されたが、資料閲覧室での対応などを通じて、384件の相談に対応できたことは、学習支援とともに県民サービスの面でも評価できる。また、学校や教員向けのプログラムについては、さまざま工夫を凝らして活動を展開している。児童生徒や学校数が減る状況で、過去や前年度実績との単純比較はできない。

・評価制度を活用した経営資源の効果的配分(業務改善)について、この間指摘された「進捗管理」が、四半期ごとにできたことは評価できる。また、時間外勤務時間がかなり減り安定化してきたことや、過去に何年も指摘された調査・研究業務の時間を確保することが、少しずつではあるができてきていることは、経営資源の適正な配分が進みつつあると評価したい。

## 【まとめ】

昨年度(平成29年度)の本外部評価結果(概要)では、「平成30年度はさらに業務の見直しを行い、経営資源の適正な配分による偏りのない博物館活動をめざすこと」に努めることを求めた。

その結果、レファレンスカウンターへの職員の常駐を見直すとともに、交流展示及びトピック展示を一時休止することにした。また、機能向上に向けた開館時間の見直しの調査を行い、今年度後半からは開館時間を17時(従前は19時)までに短縮する方向で調整している。実態に即した対応への英断に敬意を評するとともに、今後も、こうした見直しの成果を、経営資源の効果的配分の観点からも、インセンティブの



付与の観点からも、ぜひ、有効活用して欲しい。あわせて、研究費の確保や職員の意識高揚のためにも、科学研究費補助金の研究機関指定に向け、積極的に取り組まれない。

さて、平成30年度の評価結果を、改めて表1にまとめた。毎年、館がおかれた環境(社会環境、地域の動向、県の行財政方針など)が同じとは言えないため、単純に数値の増減に一喜一憂はできないが、結果は一定の傾向を示していると言える。

まず、展示に関する事項で低下が目立つ。主因は観覧者数の減少によるもので、特に基本展示では、一旦上向いた対前年度比が89%⇒93%⇒83%と減少に転じたことは、注意を要する。企画展示も含め、まず原因をしっかりと分析すること、さらに分析結果に基づく対策を早急に講じることを求めたい。

また、戦略3の「利用者等の活動への参画」において評価が下がった。戦術8の「企業の参画促進」が毎年、優れた成果を上げていることに比べ、ミュージアムパートナーやボランティアの参画・活動が低調である。前述の通りミュージアムパートナーの登録者目標(280名)は平成29年度も不達成(272名)で、昨年度も「新たな登録者の獲得に向けた努力が求められる。」と指摘したところである。また、ボランティアは登録者数と活動回数がともに大幅に減っている。改めて制度の内容、活動における満足度の向上など、再検討が急がれる。

次に、改善が進んだ部分として、調査研究に関する戦術12(学芸ゼミ)と戦術17(進捗管理)が指摘できる。これは、少なくとも戦術17(進捗管理)が定期的に行われるようになり、【まとめ】の冒頭でも触れたように、昨年度辺りから徐々にではあるが、改善の具体的手立てが打たれて来たことによる効果と判断できる。

このように、開館後5年が経過する中で、当館の業務改善は徐々にではあるが軌道に乗り、成果が出つつあると考えられる。こうした経過や経験を生かして、上記で指摘した観覧者の確保や、利用者参画事業の見直しに努めることで、さらに利用者や県民に対するサービス向上が図られることを期待します。

#### 【付記】

今年度の評価において、3年の期中であるが、評価の目標値が館側の事情で変更となった。

また、戦術の評価において、「結果」と「成果」の双方で判定することによる矛盾を来す例が散見され、当部会からは昨年度も改善を指摘した。

そこで、今年度の本外部評価では、戦術は「結果」のみに依拠し、新たに変更となった目標値を念頭に評価を下したことを付記します。

最後に改めて、使命や計画に基づく矛盾の無い戦略・戦術の策定、適正な評価指標の選定、妥当な目標値と達成期間の設定をお願いしたい。

表1 評定点の推移(平成29～31年度)

戦略	平成29年度	平成30年度	平成31年度	差	戦術	平成29年度	平成30年度	平成31年度	差
戦略1 (展示)	4	3		-1	戦術1	4	2		-2
					戦術2	2	2		0
					戦術3	4	2		-2
戦略2 (広報)	4	4		0	戦術4	4	4		0
					戦術5	4	4		0
					戦術6	4	4		0
戦略3 (市民参画)	4	2		-2	戦術7	3	2		-1
					戦術8	4	4		0
					戦術9	4	1		-3



戦略4 (資料保全)	4	3		-1	戦術10	4	2		-2
					戦術11	4	4		0
戦略5 (調査研究)	3	3		0	戦術12	1	4		3
					戦術13	4	4		0
					戦術14	4	2		-2
戦略6 (学習支援)	4	4		0	戦術15	4	4		0
					戦術16	2	2		0
戦略7 (業務改善)	3	3		0	戦術17	2	4		2
合計	26	22		-4		58	51		-7
百分比	93%	79%				85%	75%		

「差」とした2列の値は、平成29年度と平成30年度の比較

### 9.3 アンケート結果概要

#### 1) 目的

博物館利用者の意見と要望、ニーズ、満足度、与えた影響を把握しながら、今後の施設利用や接遇、展示活動、交流創造活動、広報のあり方などを検討・改善し、利用しやすく地域の役に立つ博物館づくりを進めるために来館者アンケートを実施している。さらに、ビジョンや戦略目標、戦術における毎年の達成度を評価するためのデータ収集も目的としている。

#### 2) 実施方法

展示観覧者に対するアンケートは、基本展示室、企画展示室の各展示室出口付近に机と椅子を置き、アンケート記入コーナーを設置した。机の上には、大人用と子ども用のアンケート用紙と鉛筆及びアンケート回収箱を置き、展示観覧者が自由にアンケートに記入していただけるようにした。開館中毎日実施した。

入館者に対するアンケートは、学習交流スペースに机と椅子を置き、ご意見記入コーナーを設置した。机の上には、大人用と子ども用のご意見記入用紙と鉛筆及びご意見回収箱を置き、来館者が自由にご意見を記入していただけるようにした。開館中毎日実施した。

交流創造活動参加者に関するアンケートは、事業実施前に配布資料とともにアンケートを配布し、事業終了時に記入いただくことで収集した。

#### 3) 項目

アンケートは、基本展示用、各企画展示用、ご意見記入用、交流創造活動の4種類あり、それぞれ大人用と子ども用を用意した。

展示については、①興味を引く資料の有無とその内容、②改善点の有無とその内容、③展示から新たな考えを得たかとその内容、④展示の満足度、⑤展示を知った媒体、を聞いた。さらに、MieMuについても、①MieMuの来館回数、②MieMuを一言で表すと、③ご意見・ご要望、を聞いた。アンケート記入者の属性については、①性別、②年齢、③居住地、④今日を除いてミュージアムを訪れた回数、を聞いた(図1)。

ご意見記入用については、まずご意見・ご要望を聞き、アンケート記入者の属性及び、MieMuを知った媒体、MieMuの満足度を聞いた。

**1) 基本展示アンケート**

アンケートにご協力ください。アンケートのデータは、博物館運営に関する改善活動や研究以外の目的では使用いたしません。

**A ご覧になった展示についてお尋ねします。**

(1) ご覧になった展示に関して、次の質問について具体的なご意見などがありましたら、ご記入ください。また裏面の平面図にもお書きください。

- ・興味をひく資料、印象に残った展示コーナーがありましたか。  
①はい ②はい (内容: )
- ・改善すべき展示内容や展示方法がありましたか。  
①はい ②はい (内容: )
- ・展示を観て、何か新たな考えや刺激を得ることができましたか。  
①はい ②はい (内容: )

(2) ご覧になった展示に満足しましたか。○を1つおつけください。  
①はい ②どちらかというと「はい」 ③どちらかというと「はい」 ④はい

(3) この展示をなにご知りになりましたか。該当するものすべてに○をおつけください。  
①ポスター、②チラシ、③新聞、④テレビ、⑤雑誌、⑥「奥政だより」、  
⑦館の公式ホームページ、⑧そのほかのホームページ・ブログ、  
⑨館のTwitterやFacebook、⑩そのほかのTwitterやFacebook、  
⑪直接、人から聞いて、⑫その他 ( )

**B 三重県総合博物館 Mi e Mu についてお尋ねします。**

(1) 三重県総合博物館 Mi e Mu の展示を観るのは、今回が何回目ですか。○を1つおつけください。  
①はじめて、②2回目、③3回目、④4回目以上

(2) Mi e Mu をひとことで表すと、どんな言葉がふさわしいですか。  
三重県総合博物館 Mi e Mu は、\_\_\_\_\_です。

(3) Mi e Mu についてご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入してください。

**C あなたご自身 (回答者ご本人) のことをお尋ねします。もしよろしければ、ご回答ください。**

( ) 内の該当する項目に○を1つおつけください。また、\_\_\_\_\_にはご記入ください。

(1) 性別 ( ) (2) 年齢 \_\_\_\_\_歳

(3) 居住地 ( ①津市内: \_\_\_\_\_町 ②三重県内: \_\_\_\_\_市町 ③三重県外: \_\_\_\_\_都道府県 )

(4) 今日を除いて過去1年間で何回、「ミュージアム」を訪れましたか。  
( ①0回、②1回、③2回、④3回、⑤4回以上 )

\*「ミュージアム」とは、Mi e Mu などの博物館のほか、美術館、科学館、動物園、水族館、資料館などを指します。  
裏面もご協力ください。

アンケート用紙表

基本展示室で印象に残った展示と改善すべき展示の場所と内容を記入してください。  
※場所はおおよそでも構いませんし、内容だけの記入でも構いません。

※地図上の名前は大雑把なイメージです

ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙裏

#### 4) 傾向

##### ●展示アンケート

平成30年度の展示アンケート回答枚数は、基本展示587枚、企画展示1,719枚であった。なお、企画展示は企画展の他、ミニ企画展及び移動展示を合わせた数である。展示観覧者に対する回答率は、全体で2%であった。

##### 【アンケート回答者の属性】

【男女比】基本展示と企画展示の1年間の合計で、女性59.5%、男性40.2%であった。

	【満足度】	【居住地別】	【来館回数別】	【年齢層別】
基本展示	<p>満足 4% やや満足 23% やや不満 4% 不満 65%</p>	<p>津市 19% 松阪・紀勢 37% 北勢 1% 伊賀 6% 伊勢志摩 5% 東紀州 22% 県外 10%</p>	<p>初回 37% 2回 44% 3回 7% 4回以上 7%</p>	<p>4-12 12% 13-19 15% 20-34 54% 35-49 6% 50以上 12%</p>
貝	<p>満足 4% やや満足 25% やや不満 3% 不満 67%</p>	<p>津市 11% 松阪・紀勢 46% 北勢 1% 伊賀 4% 伊勢志摩 4% 東紀州 16% 県外 8%</p>	<p>初回 22% 2回 61% 3回 7% 4回以上 7%</p>	<p>4-12 13% 13-19 22% 20-34 51% 35-49 6% 50以上 8%</p>
おもちゃ	<p>満足 4% やや満足 23% やや不満 2% 不満 72%</p>	<p>津市 13% 松阪・紀勢 36% 北勢 7% 伊賀 3% 伊勢志摩 28% 東紀州 11% 県外 2%</p>	<p>初回 28% 2回 47% 3回 10% 4回以上 15%</p>	<p>4-12 16% 13-19 26% 20-34 42% 35-49 13% 50以上 3%</p>
武四郎	<p>満足 5% やや満足 21% やや不満 3% 不満 66%</p>	<p>津市 21% 松阪・紀勢 32% 北勢 0% 伊賀 5% 伊勢志摩 2% 東紀州 23% 県外 17%</p>	<p>初回 28% 2回 44% 3回 14% 4回以上 14%</p>	<p>4-12 17% 13-19 48% 20-34 11% 35-49 17% 50以上 7%</p>

	【満足度】	【居住地別】	【来館回数別】	【年齢層別】
くらし	<p>満足 76%</p> <p>やや満足 21%</p> <p>やや不満 2%</p> <p>不満 1%</p>	<p>津市 41%</p> <p>松阪・紀勢 11%</p> <p>北勢 9%</p> <p>伊賀 7%</p> <p>伊勢志摩 4%</p> <p>東紀州 0%</p> <p>県外 0%</p>	<p>初回 51%</p> <p>2回 21%</p> <p>3回 13%</p> <p>4回以上 13%</p>	<p>4-12 30%</p> <p>13-19 37%</p> <p>20-34 24%</p> <p>35-49 2%</p> <p>50以上 0%</p>
舞台ウラ	<p>満足 59%</p> <p>やや満足 31%</p> <p>やや不満 6%</p> <p>不満 4%</p>	<p>津市 58%</p> <p>松阪・紀勢 6%</p> <p>北勢 23%</p> <p>伊賀 1%</p> <p>伊勢志摩 6%</p> <p>東紀州 0%</p> <p>県外 0%</p>	<p>初回 62%</p> <p>2回 20%</p> <p>3回 11%</p> <p>4回以上 7%</p>	<p>4-12 23%</p> <p>13-19 37%</p> <p>20-34 15%</p> <p>35-49 15%</p> <p>50以上 0%</p>
紀北町※移動展示	<p>満足 72%</p> <p>やや満足 16%</p> <p>やや不満 0%</p> <p>不満 2%</p>	<p>津市 80%</p> <p>松阪・紀勢 14%</p> <p>北勢 3%</p> <p>伊賀 0%</p> <p>伊勢志摩 0%</p> <p>東紀州 0%</p> <p>県外 0%</p>	<p>初回 59%</p> <p>2回 24%</p> <p>3回 5%</p> <p>4回以上 12%</p>	<p>4-12 32%</p> <p>13-19 47%</p> <p>20-34 18%</p> <p>35-49 3%</p> <p>50以上 0%</p>

## Ⅲ 資料

### 1 条例・規則

#### 1.1 三重県総合博物館条例

三重県総合博物館条例

公布 平成二十五年六月二十八日

施行 平成二十六年四月 十九日

(設置)

**第一条** 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産を保全し、継承し、及び次代へ生かすとともに、地域社会を支える人づくり及び個性豊かで活力ある地域づくりに貢献するため、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第十八条の規定に基づき、三重県総合博物館（以下「博物館」という。）を津市に設置する。

(事業)

**第二条** 博物館においては、次の事業を行う。

- 一 博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び一般の利用に供すること。
- 二 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産についての調査研究を行うこと。
- 三 三重の自然並びに歴史及び文化に関する資産についての講演会、観察会、見学会等を行うこと。
- 四 公文書館法（昭和六十二年法律第百十五号）の趣旨にのっとり、県が保有していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を博物館資料として保存し、展示し、及び一般の利用に供するとともに、これに関連する調査研究を行うこと。
- 五 前各号に掲げるもののほか、三重県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事業を行うこと。

(指定管理者による管理)

**第三条** 博物館の管理は、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号。以下「法」という。）第二百四十四条の二第三項の規定により、法人その他の団体であつて、教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせる。

2 議会の議員、知事、副知事並びに法第百八十条の五第一項及び第二項に規定する委員会の委員（教育委員会にあつては、教育長及び委員）又は委員は、主として博物館の管理を行う指定管理者の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準ずべき者、支配人及び清算人（以下この項において「役員等」という。）たることができない。ただし、議会の議員以外の者が、県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している指定管理者の役員等になる場合は、この限りでない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(指定管理者が行う業務の範囲)

**第四条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 博物館の施設及び設備（以下「施設等」という。）の維持管理及び修繕に関する業務
- 二 前号に掲げるもののほか、博物館の管理に関する業務のうち、教育委員会が必要と認める業務

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(指定管理者の指定の申請)

**第五条** 指定管理者の指定を受けようとするものは、次に掲げる書類を添えて、教育委員会が別に定めるところにより、教育委員会に申請しなければならない。

- 一 博物館の事業計画書
  - 二 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特に必要なものとして別に定める書類
- 追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(指定管理者の指定)

**第六条** 教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準によりその申請を審査しなければならない。

- 一 事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
- 二 事業計画の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること。
- 三 事業計画の内容が、博物館の効用を最大限発揮できるものであり、県民サービスの向上を図ることができるものであること。
- 四 事業計画の内容が、施設等の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
- 五 指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有していること。

2 教育委員会は、前項の規定により審査した結果、博物館を最も効果的に管理することができるものと認めたものを、議会の議決を経て指定管理者として指定する。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(選定委員会)

**第七条** 教育委員会は、前条第一項の審査を適正に行うため、教育委員会の附属機関として、指定管理者の選定に関する委員会（以下この条において「選定委員会」という。）を置く。

2 選定委員会は、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- 一 審査基準及び配点表の作成に関する事項
- 二 指定管理者の指定を受けようとするものから提出される事業計画書等の審査に関する事項
- 三 その他指定管理者の選定を行うに当たって必要な事項

3 選定委員会は、委員五人以上十人以内で組織し、男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の十分の四未満とならないものとする。ただし、教育委員会がやむを得ない事情があると認めた場合は、この限りでない。

4 委員は、博物館の管理に関し優れた識見を有する者のうちから、教育委員会が任命する。

5 委員の任期は、任命の日から前条第二項の規定により指定管理者を指定する日までとする。

6 前各項に定めるもののほか、選定委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(指定等の告示)

**第八条** 教育委員会は、次に掲げる場合には、その旨を告示するものとする。

- 一 第六条第二項の規定により指定管理者を指定したとき。
- 二 法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(協定の締結)

**第九条** 教育委員会は、指定管理者と次に掲げる事項を定めた協定を締結するものとする。

- 一 博物館の管理に関する事項
- 二 次条に規定する事業報告書に関する事項
- 三 法第二百四十四条の二第十一項に規定する指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- 四 管理の業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- 五 県が支払うべき管理費用に関する事項



六 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(事業報告書の作成及び提出)

**第十条** 指定管理者は、毎年度終了後二月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。ただし、年度の途中において法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して二月以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

一 博物館の管理の業務の実施状況及び利用状況

二 博物館の管理の業務に係る経費の収支状況

三 前二号に掲げるもののほか、博物館の管理の業務の実態を把握するために必要な事項

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(業務状況の聴取等)

**第十一条** 教育委員会は、博物館の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、その管理の業務又は経理の状況に関し毎年度一回又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(教育委員会による管理)

**第十二条** 教育委員会は、法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき、又は指定管理者が天災その他の事由により管理の業務の全部若しくは一部を行うことが困難となった場合において必要があると認めるときは、管理の業務の全部又は一部を自ら行うものとする。

追加〔平成二九年条例三〇号〕

(休館日)

**第十三条** 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更し、又は別に休館日を定めることができる。

一 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に定める休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の最初の休日でない日）

二 十二月二十九日から翌年の一月三日までの日

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(開館時間等)

**第十四条** 博物館の開館時間（第三項において「開館時間」という。）は、午前九時から午後七時までとする。ただし、入館できる時間（第三項において「入館時間」という。）は、午後六時三十分までとする。

2 施設等を利用することができる時間（次項において「利用時間」という。）は、別表第一のとおりとする。

3 教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間、入館時間及び利用時間を変更することができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(指示)

**第十五条** 館長は、博物館資料又は施設等の保全、館内の秩序維持その他博物館の管理上必要があると認めるときは、展示された博物館資料の観覧者（第十七条の手續をした者をいう。以下「観覧者」という。）、博物館資料の利用者（第十八条の許可を受けた者をいう。第二十一条及び第二十三条において同じ。）、施設等の利用者（第十九条の許可を受けた者をいう。第二十一条及び第二十三条において同じ。）その他の関係者に対し必要な指示をすることができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(入館の制限)

**第十六条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その入館を拒否し、又は退館を命じることができる。

- 一 めいてい者等他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある者
- 二 博物館資料又は施設等を損傷するおそれのある者
- 三 前二号に掲げる者のほか、この条例若しくはこれに基づく教育委員会規則に違反し、又は前条の指示に従わなかった者

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(観覧の手続)

**第十七条** 博物館に入館し、展示された博物館資料を観覧しようとする者は、教育委員会規則の定めるところにより、観覧の手続をしなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(博物館資料の閲覧等の許可)

**第十八条** 博物館資料の閲覧、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(施設等の利用の許可)

**第十九条** 施設等を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(許可の条件等)

**第二十条** 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前二条の許可を与えないものとする。

- 一 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- 二 博物館資料又は施設等を損傷するおそれがあるとき。
- 三 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第二号に規定する暴力団をいう。次条第三号において同じ。）の利益になると認められるとき。
- 四 博物館の事業の実施に支障を来すおそれがあるとき。

2 教育委員会は、博物館資料に個人に関する情報その他の教育委員会規則で定める情報が記録されている場合には、第十八条の許可を与えないことができる。

3 教育委員会は、前二条の許可に博物館の管理上必要な条件を付けることができる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(許可の取消し)

**第二十一条** 教育委員会は、博物館資料の利用者又は施設等の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第十八条若しくは第十九条の許可を取り消し、又は博物館資料の閲覧、撮影等若しくは施設等の利用を中止させることができる。

- 一 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- 二 許可を受けた目的に反して博物館資料の閲覧、撮影等を行い、又は施設等を利用したとき。
- 三 暴力団の利益になると認められるとき。
- 四 前条第三項の規定により付けられた条件に違反したとき。
- 五 前各号に掲げるもののほか、この条例若しくはこれに基づく教育委員会規則に違反し、又は第十五条の指示に従わなかったとき。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(観覧料)

**第二十二條** 博物館に入館し、展示された博物館資料を観覧しようとする者は、別表第二に定める額の観覧料を納付しなければならない。

2 前項の観覧料は、前納しなければならない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕  
(使用料)

**第二十三條** 博物館資料の利用者又は施設等の利用者は、別表第三に定める額の使用料を納付しなければならない。

2 前項の使用料は、第十八条又は第十九条の許可の際に納付しなければならない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕  
(原状回復義務)

**第二十四條** 指定管理者は、指定の期間が満了したとき、又は法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、その管理を行わなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(損害賠償義務)

**第二十五條** 指定管理者は、故意又は過失により施設等を損壊し、又は滅失したときは、それによって生じた損害を県に賠償しなければならない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(秘密保持義務)

**第二十六條** 指定管理者の役員及び職員並びにこれらの者であった者は、博物館の管理の業務に関して知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益のために使用してはならない。

追加〔平成二九年条例三〇号〕  
(博物館協議会)

**第二十七條** 博物館法第二十条第一項の規定に基づき、博物館に三重県総合博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕  
(組織)

**第二十八條** 協議会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 前三号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

5 第一項の場合において、男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の十分の四未満とならないものとする。ただし、教育委員会がやむを得ない事情があると認めた場合は、この限りでない。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕  
(会長及び副会長)

**第二十九條** 協議会に、会長及び副会長各一人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(会議)

**第三十条** 協議会の会議（以下この条において「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(罰則)

**第三十一条** 次の各号のいずれかに該当する者は、五万円以下の過料に処する。

- 一 第十五条の指示に従わなかった者
- 二 第十六条の規定による入館の拒否又は退館の命令に従わなかった者
- 三 第十七条の手続をしないで入館し、展示された博物館資料を観覧した者
- 四 第十八条の許可を受けずに博物館資料の閲覧、撮影等を行った者
- 五 第十九条の許可を受けずに施設等を利用した者
- 六 第二十一条の規定による許可の取消し又は中止処分に従わなかった者

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

(他の条例との関係)

**第三十二条** この条例に定めるもののほか、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和三十九年三重県条例第十三号）に定める事項については、その定めるところによる。

一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号〕

(委任)

**第三十三条** この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、規則又は教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成二十六年五月十八日までの間において規則で定める日から施行する。（平成二十六年二月三重県規則第三号で、同二十六年四月十九日から施行）ただし、附則第三項の規定は公布の日から、附則第四項の規定は同年四月一日から施行する。

一部改正〔平成二六年条例五七号〕

(三重県立博物館条例の廃止)

- 2 三重県立博物館条例（昭和三十九年三重県条例第四十九号）は、廃止する。

(準備行為)

- 3 この条例の施行に関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

(観覧料の納付の特例)

- 4 平成二十六年四月一日から附則第一項本文に規定する規則で定める日の前日までの間において、知事は、別表第二に規定する観覧料であって企画展示及び特別企画展示に係るものに限り、第十二条の規定の例により納付させることができる。

追加〔平成二六年条例五七号〕

附 則（平成二十六年三月二十七日三重県条例第五十七号）

この条例は、三重県総合博物館条例の施行の日から施行する。ただし、附則第一項の改正規定及び附則に一項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成二十九年三月二十八日三重県条例第三十号）

- 1 この条例は、平成三十年四月一日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 この条例による改正後の三重県総合博物館条例（以下「新条例」という。）第三条第一項の規定による指定及びそれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、新条例の規定の例により行うことができる。

別表第一（第十四条関係）

区分	利用時間
基本展示室 企画展示室 交流展示室	午前九時から午後五時まで
交流活動室 こども体験展示室 実習室 資料閲覧室 三重の実物図鑑 レクチャールーム レファレンスカウンター	午前九時から午後七時まで

一部改正〔平成二九年条例三〇号〕

別表第二（第二十二条関係）

区分	観覧料			年間パスポート券による観覧
	基本展示		企画展示及び特別企画展示	
	個人	団体		
小学生、中学生、高校生及びこれらに準ずる者	—	—	展示等を行うのに要する費用を勘案してその都度知事が定める額	—
大学生及びこれに準ずる者	三〇〇円	二四〇円		一、〇二〇円
一般	五一〇円	四〇〇円		一、六四〇円

備考

- 一 基本展示の団体の欄に掲げる額は、観覧者が二十人以上の団体を構成している場合の当該構成員（団体の引率者を含む。）一人当たりの観覧料をいう。
- 二 特別企画展示とは、教育委員会が定める特別な企画による展示をいう。
- 三 年間パスポート券とは、交付を受けた日から起算して一年を経過する日までの間において、基本展示及び企画展示を観覧することができる券をいう。

一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号〕

別表第三（第二十三条関係）

区分	使用料
博物館資料	一回につき、一点五、一四〇円以下の範囲内において知事が定める額
交流展示室	一時間につき一、九四〇円
レクチャールーム	一時間につき一、七二〇円

備考 使用時間に一時間未満の端数があるときは、その端数は一時間とする。

一部改正〔平成二六年条例五七号・二九年三〇号〕

## 1.2 三重県総合博物館条例施行規則

三重県教育委員会規則第二号  
三重県総合博物館条例施行規則

公布：平成二十六年三月十七日  
施行：平成二十六年四月十九日

(趣旨)

**第一条** この規則は、三重県総合博物館条例（平成二十五年三重県条例第六十四号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(用語)

**第二条** この規則における用語の意義は、条例で使用する用語の例による。

(入館者の遵守事項)

**第三条** 博物館へ入館した者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 触ることのできる表示のある博物館資料を除き、博物館資料に触れないこと。
- 二 展示室、資料閲覧室で鉛筆以外のものを使用しないこと。
- 三 撮影できない表示のある博物館資料の撮影をしないこと。
- 四 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 五 その他、係員の指示に従うこと。

(博物館資料の閲覧等の許可の申請)

**第四条** 条例第十八条の規定により博物館資料の閲覧の許可を得ようとする者は、閲覧の形態に応じて、閲覧利用申請書（第一号様式その一からその三まで）をそれぞれ館長に提出しなければならない。

- 2 条例第十八条の規定により、博物館資料の撮影等の特別利用の許可を得ようとする者は、特別利用申請書（第二号様式）を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項を許可したときは、博物館資料特別利用許可書（第三号様式）を交付するものとする。
- 4 博物館資料の利用者は、善良なる管理者の注意をもって利用しなければならない。

(施設等利用の許可の申請)

**第五条** 条例第十九条の規定により施設等の利用の許可を得ようとする者は、施設等利用許可申請書（第四号様式）を館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、前項を許可したときは、施設等利用許可書（第五号様式）を交付するものとする。
- 3 施設等の利用期間は、三十日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、これを延長することができる。

(施設等の変更の禁止)

**第六条** 施設等の利用者は、博物館の施設等に変更を加え、又は特別の施設等を設けてはならない。ただし、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(利用の廃止又は中止)

**第七条** 施設等の利用者は、博物館の施設等の利用を廃止又は中止しようとするときは、施設等利用廃止（中止）届（第六号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

(利用者の遵守事項)

**第八条** 施設等の利用者は、次の各号に掲げる事項を守るとともに、善良なる管理者の注意をもって施設等を利用しなければならない。

- 一 営利行為を行わないこと。ただし、図録等の販売で館長の承認を受けたものは除く。
- 二 施設等の適正な管理及び火災防止に努めること。
- 三 その他、係員の指示に従うこと。



(資料の貸出)

**第九条** 博物館は、博物館資料を貸し出すことができない。ただし、当該博物館資料が学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるときは、博物館の運営に支障をきたさない範囲において、次の各号に掲げるものに対して貸し出すことができる。

- 一 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二条第一項の規定による博物館及び同法第二十九条の規定による博物館に相当する施設
  - 二 三重県内の官公署
  - 三 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第一条に規定する学校
  - 四 その他館長が相当と認めるもの
- 2 前項ただし書の規定により、博物館資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出許可申請書（第七号様式）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該博物館資料が博物館に寄託された資料（以下「寄託資料」という。）であるときは、当該寄託をした者（以下「寄託者」という。）の承諾書を添付しなければならない。
- 3 館長は、前項の許可をしたときは、資料貸出許可書（第八号様式）を交付するものとする。
- 4 第二項の許可を受けた者（以下「借受人」という。）は、当該貸出しに伴う一切の費用を負担しなければならない。
- 5 博物館資料の貸出期間は、三十日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。
- 6 借受人は、善良なる管理者の注意をもって博物館資料を利用しなければならない。

(弁償の義務)

**第十条** 入館者、施設等の利用者及び借受人が故意又は過失により、博物館資料若しくは施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、その修理又は補充に要する費用を負担しなければならない。

(資料の寄贈及び寄託)

**第十一条** 博物館に資料を寄贈及び寄託しようとする者は、資料寄贈（寄託）申請書（第九号様式）を館長に提出し、その承諾を受けなければならない。

- 2 館長は、前項の承諾をしたときは、資料受領書（第十号様式）を交付するものとする。
- 3 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。
- 4 博物館は、寄託資料が火災等やむを得ない事由により汚損し、破損し、又は亡失した場合には、その責めを負わない。
- 5 博物館が、寄託者の申出により、寄託資料の返還を行うときは、資料受領書と引き換えに行うものとする。

(歴史資料として重要な公文書の受入れ)

**第十二条** 博物館は、条例第二条第四号に掲げる県が保有していた歴史資料として重要な公文書等を受け入れるものとする。

(委任)

**第十三条** この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成二十六年四月十九日から施行する。  
(三重県立博物館条例施行規則の廃止)
- 2 三重県立博物館条例施行規則（昭和四十五年三重県教育委員会規則第十九号）は、廃止する。  
(三重県教育委員会教育長事務専決規則の一部改正)
- 3 三重県教育委員会教育長事務専決規則（昭和三十一年三重県教育委員会規則十五号）の一部を次のよう

に改正する。

別表中「博物館」を「総合博物館」に改める。

(三重県教育委員会事務局組織規則の一部改正)

4 三重県教育委員会事務局組織規則（昭和四十三年三重県教育委員会規則六号）の一部を次のように改正する。

第十六条第一項第十二号中「博物館」を「総合博物館」に改める。

(知事の補助職員等に対する教育委員会の権限の一部委任等に関する規則の一部改正)

5 知事の補助職員等に対する教育委員会の権限の一部委任等に関する規則（平成二十年三重県教育委員会規則第二号）の一部を次のように改正する。

第二条第二項中「三重県立博物館」を「三重県総合博物館」に改め、「三重県立博物館条例（昭和三十九年三重県条例第四十九号）及び三重県立博物館条例施行規則（昭和四十五年三重県教育委員会規則第十九号）の改正及び廃止に関する事務」を「次に掲げる事務」に改め、「三重県立博物館条例第五条及び第七条」を「三重県総合博物館条例（平成二十五年三重県条例第六十四号）第五条及び第六条並びに三重県総合博物館条例施行規則（平成二十六年三重県教育委員会規則第二号）第四条から第九条及び第十一条」に改め、同項の次に次の各号を加える。

一 三重県総合博物館条例及び三重県総合博物館条例施行規則の改正及び廃止に関すること。

二 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十一条及び三重県総合博物館条例第十五条第二項の規定に基づく博物館協議会委員の任免及び委嘱又は解嘱に関すること。

附 則（平成三十年二月二十七日三重県教育委員会規則第二号）

この規則は、平成三十年四月一日から施行する。

施行規則各種申請様式

第1号様式その1 (第4条関係)

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(当日閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
閲覧希望日 (予約して 閲覧したい 方ほど記入 ください)	第一希望日	年 月 日	
	第二希望日	年 月 日	
	第三希望日	年 月 日	
	その他		
撮影の有無	有 / 無	※下記をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※三脚・フラッシュ等の機材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担当	
備考	

第1号様式その2 (第4条関係)

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(予約閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
閲覧希望日	第一希望日	年 月 日	
	第二希望日	年 月 日	
	第三希望日	年 月 日	
	その他		
撮影の有無	有 / 無	※下記をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※三脚・フラッシュ等の機材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担当	
備考	

第1号様式その3 (第4条関係)

三重県総合博物館 資料閲覧利用申請書  
(県が保有していた歴史資料として重要な公文書等 閲覧用)

申請者記入欄

申請日	年 月 日		
申請者	利用証番号	氏名	
	住所		
	電話	電話(携帯)	
	E-mail		
撮影の有無	有 / 無	※下記(3)をご覧ください。	

閲覧申請資料

No.	閲覧	分類名 資料番号	資料名等	出	納
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(1) 文書に含まれる個人情報等、公開できない情報についての内容審査のため、閲覧までに2週間をゆとりの期間を要します。  
(2) 内容審査が終わり次第、博物館から閲覧日程について連絡いたします。  
(3) 三脚・フラッシュ等の機材を用いた撮影、印刷物・WEB等への掲載については、別途「特別利用」の申請が必要となります。

博物館記入欄

受付日	年 月 日
閲覧日	年 月 日
担当	
備考	

第2号様式 (第4条関係)

三重県総合博物館特別利用申請書

申請者 住所 年 月 日  
団体名  
代表者氏名 印  
電話

三重県総合博物館館長 宛て

三重県総合博物館条例施行規則第4条の規定に基づき、下記の利用を申請いたします。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 教育活動のための利用 (3) 出版物等への掲載のための利用 (4) テレビ放送等への利用 (5) その他( )
内容	(1) 閲覧(実測・拓本等) (2) 画像データの利用 (3) 複製・複写(複写) (4) 撮影 (5) 転載(転載元: ) (6) その他( )
利用期間 (発行予定日・放送予定日・時間) ～ 年 月 日 ( ) : ～ 年 月 日 ( ) :	【利用期間・発行予定日・放送予定日・時間】
利用場所 (出版物・放送等 では掲載紙・番組 名など)	
利用資料	資料番号 資料名 数量 備考
担当者	電話
備考	

● 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守します。  
(1) 善良なる管理者の注意をもって利用します。  
(2) 施設、備品等の汚損、破損及び丢失防止に注意します。  
(3) 利用後においては、現状に復し、博物館職員の見直しを要します。  
(4) 利用時間を遵守します。  
(5) 他の利用者の迷惑とならないように配慮します。  
(6) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しません。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去します。  
(7) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従います。  
● 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または丢失したときは、その修理または補充に要する費用を負担いたします。  
● 資料等の利用により実施した出版物、印刷物等については2部寄贈いたします。

第3号様式（第4条関係）

第 年 月 日 号

三重県総合博物館資料特別利用許可書

（申請者） 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった資料の利用は、下記のとおり許可します。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 教育活動のための利用 (3) 出版物等への掲載のための利用 (4) テレビ放送等への利用 (5) その他( )			
内容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 画像データの利用 (3) 複製・複写(複写) (4) 撮影 (5) 転載(転載元: ) (6) その他( )			
利用期間 (発行予定日・放送予定日・時間)	【利用期間・発行予定日・放送予定日・時間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :			
利用場所 (出版物・放送等では掲載紙・番組名など)				
利用資料	資料番号	資料名	数量	備考
担当者	電話			
備考				

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守すること。
  - (1) 善良なる管理者の注意をもって利用すること。
  - (2) 施設、備品等の汚損、破損及び亡失防止に注意すること。
  - (3) 利用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けること。
  - (4) 利用時間を遵守すること。
  - (5) 他の利用者の迷惑とならないように配慮すること。
  - (6) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しないこと。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去すること。
  - (7) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従うこと。
- 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または亡失したときは、その修理または補充に要する費用を負担すること。
- 資料等の利用により実施した出版物、印刷物等については2部送付すること。

第4号様式（第5条関係）

年 月 日

三重県総合博物館施設等利用許可申請書

三重県総合博物館長 宛て

申請者 住所  
団体名  
代表者氏名  
電話 印

三重県総合博物館条例施行規則第5条の規定に基づき、下記の利用を申請いたします。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで			
利用の概略	利用の目的			
	会場責任者氏名			
	観覧料等の徴収	有 / 無	円	
	図録等の販売	有 / 無	円	
	設備等の設置	有 / 無		
	利用者数			
備考				

- (1) 展覧会等で施設を使用するときは、展示資料の一覧を添付すること。
- (2) 設備等を設置するときは、概要を確認できる図面を添付すること。

第5号様式（第5条関係）

第 年 月 日 号

三重県総合博物館施設等利用許可書

（申請者） 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった施設等の利用は、下記のとおり許可します。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで			
利用の概略	利用の目的			
	会場責任者氏名			
	観覧料等の徴収	有 / 無	円	
	図録等の販売	有 / 無	円	
	設備等の設置	有 / 無		
	利用者数			
備考				
利用料	円			

第6号様式（第7条関係）

年 月 日

三重県総合博物館施設等利用廃止（中止）届

三重県総合博物館長 宛て

住所  
団体名  
代表者氏名  
電話 印

三重県総合博物館条例施行規則第7条の規定に基づき、下記の事由により博物館の施設等の利用を廃止（中止）したいので届け出ます。

利用施設				
利用設備	設備・機械等	点数	設備・機械等	点数
利用日時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで			
廃止（中止）事由及び期日	年 月 日 時から 年 月 日 時まで 中止・廃止 (事由)			
備考				

第7号様式（第9条関係）

三重県総合博物館資料貸出許可申請書  
三重県総合博物館長 宛て

申請者 住所  
団体名  
代表者氏名 印  
電 話

三重県総合博物館条例施行規則第9条の規定に基づき、下記について申請いたします。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 展示活動のための利用 (3) その他( )
内 容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 展示 (3) 複製・複写(複写) (4) 撮影 (5) その他( )
貸出期間 (展示の場合は、 展示期間)	【貸出期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) : 【展示期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :
利用場所 (保管・展示場 所)	
貸出資料	資料番号 資料名 数量 備考
取扱責任者	電話
輸送方法	
備 考	

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守します。
  - (1) 資料等について善良なる管理者の注意をもって利用します。
  - (2) 施設、備品等の汚損、破損及び丢失防止に注意します。
  - (3) 使用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けます。
  - (4) 貸出期間を遵守します。
  - (5) 利用者は、申請事項以外の目的、内容に資料等を使用しません。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去します。
  - (6) その他、利用に際しては博物館職員の指示に従います。
- 故意または過失により、資料等もしくは施設等を汚損、破損または丢失したときは、その修理または補充に要する費用を負担いたします。
- 資料等の利用により作成した図録・報告書等の出版物、印刷物等については2部寄贈いたします。
- 展覧会等で利用する場合、展覧会開催要項、展示会場、保管場所、警備体制、消防計画、職員体制、公開承認施設資格の有無等の資料を添付いたします。

第8号様式（第9条関係）

三重県総合博物館資料貸出許可書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった博物館資料の貸出は、下記の条件の下に許可します。

利用目的	(1) 学術上の調査研究のための利用 (2) 展示活動のための利用 (3) その他( )
内 容	(1) 複製(実測・拓本等) (2) 展示 (3) 複製・複写(複写) (4) 撮影 (5) その他( )
貸出期間 (展示の場合は、 展示期間)	【貸出期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) : 【展示期間】 年 月 日( ) : ~ 年 月 日( ) :
利用場所 (保管・展示場 所)	
貸出資料	資料番号 資料名 数量 備考
取扱責任者	電話
輸送方法	
備 考	

- 利用者は次の各号に定める事項を必ず遵守すること。
  - (1) 貸出を受けた者(以下「借受人」という)は、貸出を受けた資料(以下「貸出資料」という)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。
  - (2) 貸出に伴う一切の費用は、借受人が負担すること。
  - (3) 借受人は貸出資料を故意又は過失により、汚損し、破損し、又は丢失したときは、その修理又は補充に要する費用を負担すること。
  - (4) 借受人は、貸出資料を本書記載事項以外の目的、内容に使用しないこと。デジタルデータの利用の場合は、利用終了後はデータを消去すること。
  - (5) 使用後においては、現状に復し、博物館職員の点検を受けること。
  - (6) 貸出期間を遵守すること。
  - (7) その他、利用に際しては当博物館職員の指示に従うこと。
  - (8) 資料等の利用により作成した図録・報告書等の出版物、印刷物等については2部寄贈すること。

第9号様式（第11条関係）

三重県総合博物館資料寄贈（寄託）申請書  
三重県総合博物館長 宛て

申請者 住所  
団体名  
代表者氏名 印  
電 話

三重県総合博物館条例施行規則第11条の規定に基づき、下記のとおり、資料を寄贈(寄託)したいので申請します。

資 料 名	数 量	形 状・寸 法 等
備 考		
寄託の場合、寄託期間 年 月 日から 年 月 日まで		

第10号様式（第11条関係）

三重県総合博物館資料受領書

(申請者) 様  
三重県総合博物館長

年 月 日付で申請のあった資料の寄贈(寄託)は、下記のとおり、受領しました。

資 料 名	数 量	形 状・寸 法 等
備 考		
寄託の場合、寄託期間 年 月 日から 年 月 日まで		

### 1.3 三重県総合博物館協議会評価部会設置要綱

#### 三重県総合博物館協議会評価部会設置要綱

平成二十六年四月十九日

(設置)

第1条 三重県総合博物館協議会(以下「協議会」という。)に、三重県総合博物館(以下「博物館」という。)の活動と運営に対して評価を実施するための三重県総合博物館協議会評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 部会は、博物館の前年度の活動と運営の成果に対して、調査審議して評価を下し、その結果を協議会に報告する。

(組織)

第3条 部会は、協議会委員2名及びその他の有識者3名で構成する。

2 部会委員のうち、協議会委員については互選で選出し、その他の有識者については協議会の了承を得て、館長が委嘱する。

3 部会委員の任期は、協議会委員と同じとする。

4 部会委員は、再任されることができる。

5 部会に部会長及び副部会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

6 部会長は、部会の会務を総理する。

7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理し、部会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第4条 会議は、部会長が招集し、議長となる。

2 部会長は、必要があると認めるときは、会議に部会委員以外の者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

3 会議は、非公開とする。

(庶務)

第5条 部会の庶務は、博物館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附則

この要綱は、平成26年 9月 5日から施行する。



## 1.4 観覧料免除要綱

三重県立美術館、斎宮歴史博物館及び三重県総合博物館観覧料減免要綱

平成26年3月28日

(趣旨)

**第1条** この要綱は、三重県公債権の徴収に関する条例（昭和39年三重県条例第13号）第3条の規定に基づき三重県立美術館、斎宮歴史博物館及び三重県総合博物館（以下「博物館等」という。）の観覧料の減免について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この要綱において「観覧料」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 三重県立美術館条例（昭和57年三重県条例第1号。次条第1項第1号において「美術館条例」という。）第22条に規定する観覧料
- (2) 斎宮歴史博物館条例（平成元年三重県条例第6号。次条第1項第1号において「斎宮条例」という。）第11条に規定する観覧料
- (3) 三重県総合博物館条例（平成25年三重県条例第64号。以下「博物館条例」という。）第22条に規定する観覧料

(減免の対象)

**第3条** 観覧料の免除を受けることのできる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、教職員に引率されて、美術館条例別表第1に掲げる企画展、斎宮条例別表第1に掲げる特別展、企画展その他特別な催物並びに博物館条例別表第2に掲げる企画展示及び特別企画展示を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒
  - (2) 教育課程に基づく教育活動として観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒を引率する者
  - (3) 県内に設置されている児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条に規定する児童福祉施設の在籍者で当該施設の職員に引率されて観覧する児童及び当該児童の引率者
  - (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
  - (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
  - (6) 知的障がい者と判定された者に対して公的機関が発行する療育手帳又は療育手帳に代わる証明書の交付を受けている者
  - (7) 前各号に該当する者のうち介護を要する者の介護を行う者。ただし、原則として対象者1人につき1人に限る。
- 2 前項に定めるもののほか、知事は、特に必要と認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(減免の手続)

**第4条** 前条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、博物館等観覧料免除申請書兼承認書（様式第1号。以下「申請書」という。）に必要な事項を記載して博物館等の館長に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、同項第4号から第7号までに掲げる者が観覧料の免除を受けようとする場合には、同号に掲げる者であることを証する書類又は手帳の提示等をもって申請書の提出に代えることができる。

2 博物館等の館長は、申請書に基づく承認をしたときは、当該申請書にその旨を記して申請者に交付する

ものとする。

3 前条第2項の規定による観覧料の減免に関し必要な事項は、知事が別に定める。

(免除の手続の特例)

**第5条** 博物館等の館長は、前条第1項の規定による申請書の提出については、博物館等の館長が別に定めるところにより、博物館等の館長の使用に係る電子計算機(入出力装置を含む。以下この条において同じ。)と、申請をしようとするものの使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用して行わせることができる。

2 前項の規定により行われた提出は、同項の電子計算機に備えられたファイルへの記録がされた時に、博物館等の館長に到達したものとみなす。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。ただし、三重県総合博物館に係る規定は、博物館条例の施行の日から施行する。

(三重県立博物館、三重県立美術館及び斎宮歴史博物館観覧料免除要綱の廃止)

2 三重県立博物館、三重県立美術館及び斎宮歴史博物館観覧料免除要綱(平成20年三重県告示第199号。次項において「旧告示」という。)は、廃止する。

(経過措置)

3 この告示の施行前に旧告示の相当規定による免除についてなされた手続は、この告示に規定する免除についてなされた手続とみなす。

附 則(平成29年3月17日三重県告示第160号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月16日三重県告示第179号)

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

様式第1号(第4条関係)

博物館等観覧料免除申請書兼承認書

年 月 日

宛て

団体名  
代表者名  
住 所

下記のとおり観覧料の免除を受けたいので申請します。

記

博物館等の名称	
免除申請の理由	
在 館 時 間	年 月 日( ) 時から 時まで
入 館 人 員	
引 率 代 表 者 名	電話番号
備 考	

(注意) インターネットやファックスでも受け付けます。

上記の申請に対して、承認します。

年 月 日

館 長

## 2 事業成果一覧

### ● 入館者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
入館者数(人)	14,772	14,878	18,883	19,907	34,151	20,594	15,716	20,910	8,417	11,932	12,669	13,914	206,743
1日平均(人)	568.2	572.2	726.3	765.7	1264.9	792.1	604.5	804.2	350.7	497.2	527.9	515.3	671.2

### ● 展示観覧者数

#### (1) 基本展示観覧者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
開館日数(日)	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308	
有料観覧者	基本展示単独券利用	535	494	430	558	628	510	373	334	333	148	280	950	5,573
	セット券利用	379	878	355	1,862	2,277	542	616	133	173	643	532	0	8,390
	年間パスポート利用	257	237	195	376	462	213	171	93	112	166	142	356	2,780
	(小計)(人)	1,171	1,609	980	2,796	3,367	1,265	1,160	560	618	957	954	1,306	16,743
無料観覧者	高校生以下	1,487	1,373	2,560	2,724	5,401	2,204	845	1,838	658	1,088	1,130	1,125	22,433
	学校利用	651	659	999	164	304	1,306	2,324	1,753	213	792	691	198	10,054
	視察/招待	163	173	91	127	346	162	328	157	71	132	168	142	2,060
	障がい者及び付添	188	274	147	498	655	294	346	128	112	220	172	150	3,184
	キャンパスメンバーズ	109	193	74	172	137	66	55	310	63	85	98	31	1,393
	その他	334	0	1,994	0	0	1,874	394	1,941	186	329	649	0	7,701
(小計)(人)	2,932	2,672	5,865	3,685	6,843	5,906	4,292	6,127	1,303	2,646	2,908	1,646	46,825	
合計(人)	4,103	4,281	6,845	6,481	10,210	7,171	5,452	6,687	1,921	3,603	3,862	2,952	63,568	
1日平均(人)	157.8	164.7	263.3	249.3	378.1	275.8	209.7	257.2	80.0	150.1	160.9	109.3	206.4	

#### (2) 企画展示観覧者数

展示名	第19回企画展 知ってる貝！見てみる貝！貝のヒミツ	第20回企画展 おもちゃ大好き！	第21回企画展 松浦武四郎	第22回企画展 くらしの道具	合計	
開催期間	H30.4.14～H30.6.17	H30.7.7～H30.9.2	H30.9.15～H30.11.11	H30.12.15～H31.2.17	—	
開催日数(日)	56	50	50	51	207	
有料観覧者	企画展示単独券利用	1,088	3,694	2,450	1,060	8,292
	セット券利用	1,612	4,334	1,096	1,348	8,390
	年間パスポート利用	1,396	2,453	1,146	835	5,830
	(小計)(人)	4,096	10,481	4,692	3,243	22,512
無料観覧者	高校生以下	4,150	12,927	1,548	2,595	21,220
	学校利用	2,038	428	4,238	1,344	8,048
	視察/招待	742	1,208	1,282	740	3,972
	障がい者及び付添	617	1,159	756	442	2,974
	キャンパスメンバーズ	376	294	422	218	1,310
	その他	0	0	117	0	117
(小計)(人)	7,923	16,016	8,363	5,339	37,641	
合計(人)	12,019	26,497	13,055	8,582	60,153	
1日平均(人)	214.6	529.9	261.1	168.3	290.6	

(3) 交流展示・トピック展示観覧者数

展示名	海上保安制度創設 70 周年・ 灯台 150 周年	博物館の舞台ウラ	合計
開催期間	H30. 11. 17 ~ H30. 12. 2	H31. 3. 2 ~ H31. 3. 31 (会期は H31. 4. 5 まで)	
開催日数 (日)	14	26	40
観覧者数 (無料) (人)	3, 128	2, 860	5, 988
1 日平均 (人)	223. 4	110. 0	149. 7

● こども体験展示室利用者数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開館日数 (日)	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
利用者数 (人)	5, 113	4, 856	5, 473	7, 739	12, 658	5, 657	3, 565	3, 884	3, 387	3, 584	4, 019	5, 240	65, 175
1 日平均 (人)	196. 7	186. 8	210. 5	297. 7	468. 8	217. 6	137. 1	149. 4	141. 1	149. 3	167. 5	194. 1	211. 6

● 資料閲覧室利用者数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開館日数 (日)	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
入室者数 (人)	127	157	188	181	356	305	184	253	132	153	171	183	2, 390
1 日平均 (人)	4. 9	6. 0	7. 2	7. 0	13. 2	11. 7	7. 1	9. 7	5. 5	6. 4	7. 1	6. 8	7. 8
閲覧者数 (人)	51	58	84	80	175	81	75	105	49	38	65	55	916
1 日平均 (人)	2. 0	2. 2	3. 2	3. 1	6. 5	3. 1	2. 9	4. 0	2. 0	1. 6	2. 7	2. 0	3. 0

平成30年度MieMuの活動と運営の各戦略・戦術

計画期間(3年):2017(平成29)年度~2019(令和元)年度

三重県総合博物館(MieMu)が、長期にわさず(ビジョン)の実現に向けて、当面3年間(計画期間)に戦略的に取り組むための計画とそのネジメンツのしくみを、以下のとおりとしています。

三重は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に長く水深2,000mの深瀬から標高1,700m近頃の山岳まで多様な自然環境をもち、産業帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の橋頭のような自然を有している。この自然を背景に、伊勢、伊弉、志摩国と紀伊半島の一部から成り立ち三重は、それぞれの地域で特産ある(ら)や歴史が育まれてきた。また、三重は古くから陸海空の交通の要衝にあり、朝に近く、暮に静かなる歴史の宝庫を有している。三重は古くから陸海空の交通の要衝にあり、朝に近く、暮に静かなる歴史の宝庫を有している。三重は古くから陸海空の交通の要衝にあり、朝に近く、暮に静かなる歴史の宝庫を有している。

戦略目標	達成度	戦略を評価するための指標		評価結果		戦術	戦術を評価するための指標		評価結果	
		アウトカム(成果)	アウトカム(成果) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	外部評価	内部評価		外部評価	内部評価		
1. 市民の関心を高め、市民の関与を促進する(展示)	4	市民の関心を高めるための展示(展示)	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。
2. 市民の関心を高め、市民の関与を促進する(展示)	4	市民の関心を高めるための展示(展示)	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。
3. 市民の関心を高め、市民の関与を促進する(展示)	4	市民の関心を高めるための展示(展示)	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。
4. 市民の関心を高め、市民の関与を促進する(展示)	4	市民の関心を高めるための展示(展示)	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。	市民の関心を高めるための展示(展示) ※アウトカム指標を削除し、7アウトカムのみで評価したい。



達成度	戦略目標	戦略を評価するための指標	外部評価	内部評価	外部評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果
3	三重に即する資料や博物館資料を、学芸員が活用し、その活用を促進する(特に、総合博物館の活用)。	アウトカム(成果) ※アウトカムの評価を目的とし、アウトカムのアウトプットを評価しない。	各戦略の内部評価概要	外部評価	評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果
4	5. 三重に即する資料や博物館資料を、学芸員が活用し、その活用を促進する(特に、総合博物館の活用)。	アウトカム(成果) ※アウトカムの評価を目的とし、アウトカムのアウトプットを評価しない。	各戦略の内部評価概要	外部評価	評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果
5	6. 三重に即する資料や博物館資料を、学芸員が活用し、その活用を促進する(特に、総合博物館の活用)。	アウトカム(成果) ※アウトカムの評価を目的とし、アウトカムのアウトプットを評価しない。	各戦略の内部評価概要	外部評価	評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果
6	7. 三重に即する資料や博物館資料を、学芸員が活用し、その活用を促進する(特に、総合博物館の活用)。	アウトカム(成果) ※アウトカムの評価を目的とし、アウトカムのアウトプットを評価しない。	各戦略の内部評価概要	外部評価	評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果
7	8. 三重に即する資料や博物館資料を、学芸員が活用し、その活用を促進する(特に、総合博物館の活用)。	アウトカム(成果) ※アウトカムの評価を目的とし、アウトカムのアウトプットを評価しない。	各戦略の内部評価概要	外部評価	評価結果	戦略	達成度	アウトプット(結果)	アウトプット(成果)	戦略を評価するための指標	内部評価	外部評価結果



○マネジメントのしくみ

評価項目	4月	6月	8月	7月
1. 自己点検評価				
2. 計画中期レビュー				
3. 評価結果(年度中期)				
4. 改善計画				
5. 評価結果(年度中期)				
6. 改善計画				
7. 評価結果(年度中期)				
8. 改善計画				
9. 評価結果(年度中期)				
10. 改善計画				

【達成度】※4段階評価: 1. 達成できていない(20点以下)、2. どちらかという達成度(21~49点)、3. どちらかという達成度(50~79点)、4. 達成できた(80点以上)、x. 評価できず

○戦略外の評価項目

○用語

- ・戦略目標: 計画期間中、重点的に目的を持って取り組むこと
- ・中期目標: 戦略目標達成のために、具体的に取り組むこと
- 評価体制: 内閣府推進委員会(小川、海川、星野、北村、中村)
- ・内閣府: 博物館推進委員会(長井、菅野、山下、亀山、百面)
- ・評価結果を報告、意見聴取→博物館協議会



三重県総合博物館 年報 通巻5号（平成30年度）

Mie Prefectural Museum Annual Report No.5

令和2年9月 発行

編集・発行 三重県総合博物館（MieMu）

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 3060

電話 059 - 228 - 2283

FAX 059 - 229 - 8310

印刷 株式会社アイブレーション